

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

六年次報告書

(調査開始 ～ 平成 15 年 3 月 31 日)

平成 15 年 12 月

H R D 共同調査協議会

アストラゼネカ株式会社

アボットジャパン株式会社

キッセイ薬品工業株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

セローノ・ジャパン株式会社

大正製薬株式会社 (大正富山医薬品株式会社)

田辺製薬株式会社

中外製薬株式会社

日本たばこ産業株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

萬有製薬株式会社

ファイザー株式会社

ブリストル製薬有限公司 (ブリストル・マイヤーズ株式会社)

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

六年次報告書

(調査開始 ～ 平成 15 年 3 月 31 日)

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の有効性・安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、六年次(調査開始～平成 15 年 3 月 31 日)までの結果をまとめた小冊子を作成いたしました。

1. 調査方法

本調査は、契約時に投薬中の、あるいは調査期間中に投薬を開始した症例について登録を行ない、患者背景、薬剤の投与状況、併用療法、患者の転帰、有害事象(副作用、臨床検査値の異常変動、新たに発現した日和見感染症等を含む)、有害事象と疾患や薬剤との関連性、臨床経過に関するコメント、臨床経過及び臨床検査値の推移等の項目について調査開始から平成 15 年 3 月 31 日の期間継続的に調査した。

2. 調査対象症例

本調査は、調査にご協力頂いた施設(平成 12 年 4 月 1 日より特定の 30 施設)において、HIV 感染症及び日和見感染症治療薬を含む下記再審査品目の HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)が処方される全ての症例を対象とした。併用された HIV 感染症治療薬に関しては、治験期間も含め全ての投与期間を調査対象とした。

3. 調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同調査使用成績に合意している 13 社の薬剤

(2003 年 3 月現在再審査中の市販薬剤)

商品名	薬剤名(略号)	再審査期間
ハビツ錠	ザルシタビン(ddC)	1996 年 4 月～2006 年 4 月
エビル錠	ラミブジン(3TC)	1997 年 2 月～2007 年 2 月
クキシバンカプセル	硫酸インジナビル	1997 年 3 月～2007 年 3 月
点滴静注用ホスガビル	ホスカルネットナトリウム 水和物	1997 年 3 月～2007 年 3 月
ゼリットカプセル	サニルブジン(d4T)	1997 年 7 月～2007 年 7 月
デノシンカプセル	ガンシクロビル	1997 年 7 月～2007 年 7 月
インビラーゼカプセル	メシル酸サキナビル	1997 年 9 月～2007 年 9 月
ノービアカプセル・リキッド・ソフトカプセル	リナビル	1997 年 11 月～2007 年 11 月
ピラセブ錠	メシル酸ネルフィナビル	1998 年 3 月～2008 年 3 月
クラリス錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン	1998 年 9 月～2008 年 9 月
クラリシッド錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン	1998 年 9 月～2008 年 9 月
ビラミューン錠	ネビラピン	1998 年 11 月～2008 年 11 月
セロステム注 5mg	ゾマトロビン(遺伝子組換え)	1999 年 3 月～2009 年 3 月
コンビビル錠	ジドブジン(AZT)・ラミブジン(3TC)	1999 年 6 月～2007 年 2 月
ザイアジェン錠	硫酸アバガビル	1999 年 9 月～2009 年 9 月
ストックリンカプセル 200	エファビレンツ	1999 年 9 月～2009 年 9 月
ブローゼカプセル	アンブレナビル	1999 年 9 月～2009 年 9 月
レスクリプター錠	メシル酸デラビルジン	2000 年 2 月～2010 年 2 月
フォートベイスカプセル	サキナビル	2000 年 4 月～2007 年 9 月
カレトラソフトカプセル・リキッド	ロビナビル・リナビル	2000 年 12 月～2010 年 12 月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001 年 12 月～2011 年 12 月

4．解析対象症例

本調査の解析は、平成 15 年 7 月 31 日までに調査票を回収させて頂き、かつ情報提供の承諾を頂いている症例(2,540 例)の内、適応外の患者(HIV 感染症以外の患者)でデノシンカプセルまたはホスカビルを使用していない患者或いはクラリスロマイシンまたはジスロマックを使用していない患者を解析から除外(62 例)した。解析対象は 2,478 例であった。その内訳は HIV 感染症患者が 2,460 例、CMV 感染症患者(デノシンカプセル、ホスカビル使用者)が 120 例、MAC 感染症患者(クラリスロマイシン、ジスロマック 600mg 使用者)が 311 例、重複している患者が 413 例であった。

回収調査票数	: 6,486 例
患者数	: 2,540 例
解析対象患者数	: 2,478 例
解析除外患者数	: 62 例
HIV 感染症患者数	: 2,460 例
CMV 感染症患者数	: 120 例
MAC 感染症患者数	: 311 例

5．解析結果

本調査の六年次までの症例背景を表 1 に示す。

本調査では、HIV 感染症治療薬がどのような使われ方をしているかを見るために、使用された薬剤の組合せの延べ症例数(薬剤の切り替えなどで同一症例の中で異なる組合せがある場合、別症例として集計)及び平均併用日数の集計を行った(図 1)。

その結果を表 2-0～2-6 に示す。使用頻度が最も高かった薬剤の組合せは、2 剤併用では一年次(表 2-1)、二年次(表 2-2)、三年次(表 2-3)、四年次(表 2-4)及び六年次までの全期間(表 2-0)とも、レトロビル、エビピルの組合せ、五年次(表 2-5)及び六年次(表 2-6)が、コンビビル、ストックリンの組合せ、3 剤併用では一年次及び二年次がレトロビル、エビピル、クリキシバンの組合せ、三年次、四年次、五年次及び全期間が、エビピル、ゼリット、ピラセプトの組合せ、六年次が、エビピル、ゼリット、ストックリンの組合せ、4 剤併用では二年次、三年次及び全期間が、エビピル、ゼリット、インビラーゼ、ノービアの組合せ、五年次が、エビピル、ゼリット、クリキシバン、ノービアの組合せ、四年次及び六年次が、レトロビル、エビピル、クリキシバン、ノービアの組合せであった。

次に、六年次において使用頻度の高い上位 20 の組合せについて、副作用の発現状況及び安全性に影響を与えると考えられる要因(性別、年齢、人種、併用薬有無、血液凝固因子有無、併用療法有無、合併症有無、肝障害、肝炎、血友病、血友病分類、既往歴有無、アレルギー - 有無)について、集計解析を行った(表 3～42)。なお、副作用用語については ICH 国際医薬用語集(MedDRA Ver6.1)にて集計解析を行った。

さらに、各組合せごとの CD4 陽性リンパ球数、血漿中 HIV-RNA コピー数について集計及びグラフ化を行った(表図 1～20)。

また、CMV 網膜炎治療薬については使用された症例数 120 例に対して、MAC 感染症治療薬については使用された症例数 311 例に対して、安全性に影響を与えると考えられる要因別の副作用発現状況についてのみ集計を行った(表 44、46)。

今回集計を行う薬剤の組合せ

- 組合№1. エピビル+ゼリット+ストックリン
- 組合№2. エピビル+ゼリット+ピラセプト
- 組合№3. レトロビル+エピビル+ピラセプト
- 組合№4. レトロビル+エピビル+ストックリン
- 組合№5. コンビビル+ストックリン
- 組合№6. レトロビル+エピビル
- 組合№7. エピビル+ゼリット+カレトラ
- 組合№8. レトロビル+エピビル+クリキシバン
- 組合№9. レトロビル+エピビル+カレトラ
- 組合№10. ヴァイデックス+ゼリット+ストックリン
- 組合№11. コンビビル+ピラセプト
- 組合№12. ヴァイデックス+ゼリット+カレトラ
- 組合№13. エピビル+ゼリット+ピラミューン
- 組合№14. コンビビル+カレトラ
- 組合№15. レトロビル+エピビル+クリキシバン+ノービア
- 組合№16. レトロビル+エピビル+ピラミューン
- 組合№17. ヴァイデックス+ゼリット+ピラセプト
- 組合№18. レトロビル+ヴァイデックス+ストックリン
- 組合№19. エピビル+ゼリット
- 組合№21. コンビビル+ピラミューン

注)ジスロマック及びクラリスロマイシンの単独使用は、除外した。

6.まとめ

HIV 感染症患者 2,460 例について、薬剤の組合せごとに集計解析を行った。六年次までの調査期間において、承認時期が遅い薬剤もあるため、使用実態(薬剤の組合せ)に偏りが見られた。

集計解析した 20 組の組合せの内、組合せによっては患者背景のいくつかの要因について副作用発現症例率に有意差が認められた。有意差が認められた要因は、性別、年齢、人種、抗 HIV 薬以外の併用薬、併用療法、合併症、肝障害、血友病分類、既往歴及びアレルギー(特異体質)であったが、交絡因子が多く原因については不明である。

また、CD4 陽性リンパ球数については、各組合せ毎で、投与前値 200 未満、及び 200 以上～500 未満、500 以上の全ての水準において投与期間に伴い維持または増加の傾向を示した。血漿中 HIV-RNA コピー数については、多くの組合せにおいて、投与前値 5×10^3 以上で投与初期からの減少効果が大きく、その後低いレベルを維持していることが確認された。3 剤併用の組合せの中、0 ヶ月時の検査値が 50 症例以上と併用例が多いエビビル+ゼリット+ストックリン、エビビル+ゼリット+ビラセプト、レトロビル+エビビル+ビラセプト、レトロビル+エビビル+クリキシリン、ヴァイデックス+ゼリット+ビラセプトは、CD4 陽性リンパ球数の増加、血漿中 HIV-RNA コピー数の減少及び検出限界以下症例の増加傾向から、3 剤併用における治療効果は顕著であり、効果も持続性がみられている。他の組合せにおいては測定症例数が少ないこともあり効果を比較することは困難であると考えられた。

CMV 網膜炎治療薬および MAC 感染症治療薬については、六年次までの使用症例数がそれぞれ 120 例、311 例と少なかったが、これは国内における相次ぐ抗 HIV 薬の承認により、日和見感染症の発現が抑えられていることを反映していると推測される。

図表説明

表 1. HIV 感染症患者背景

表 1a. 生存・死亡者内訳

図 1. 併用期間の考え方

表 2-0. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:調査開始 ~ 2003 年 3 月 31 日)

表 2-1. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:調査開始 ~ 1997 年 10 月 31 日)

表 2-2. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:1997 年 11 月 1 日 ~ 1998 年 10 月 31 日)

表 2-3. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:1998 年 11 月 1 日 ~ 2000 年 3 月 31 日)

表 2-4. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:2000 年 4 月 1 日 ~ 2001 年 3 月 31 日)

表 2-5. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:2001 年 4 月 1 日 ~ 2002 年 3 月 31 日)

表 2-6. HIV 感染症治療薬 使用実態表

(投与期間:2002 年 4 月 1 日 ~ 2003 年 3 月 31 日)

表 3. 組合№1 エピビル+ゼリット+ストックリン

表 4. 組合№1 エピビル+ゼリット+ストックリン

表 5. 組合№2 エピビル+ゼリット+ピラセプト

表 6. 組合№2 エピビル+ゼリット+ピラセプト

表 7. 組合№3 レトロビル+エピビル+ピラセプト

表 8. 組合№3 レトロビル+エピビル+ピラセプト

表 9. 組合№4 レトロビル+エピビル+ストックリン

表 10. 組合№4 レトロビル+エピビル+ストックリン

表 11. 組合№5 コンビビル+ストックリン

表 12. 組合№5 コンビビル+ストックリン

表 13. 組合№6 レトロビル+エピビル

表 14. 組合№6 レトロビル+エピビル

表 15. 組合№7 エピビル+ゼリット+カレトラ

表 16. 組合№7 エピビル+ゼリット+カレトラ

表 17. 組合№8 レトロビル+エピビル+クリキシバン

表 18. 組合№8 レトロビル+エピビル+クリキシバン

表 19. 組合№9 レトロビル+エピビル+カレトラ

表 20. 組合№9 レトロビル+エピビル+カレトラ

表 21. 組合№10 ヴァイデックス+ゼリット+ストックリン

表 22. 組合№10 ヴァイデックス+ゼリット+ストックリン

表 23. 組合№11 コンビビル+ピラセプト

表 24. 組合№11 コンビビル+ピラセプト

表 25. 組合№12 ヴァイデックス+ゼリット+カレトラ

表 26. 組合№12 ヴァイデックス+ゼリット+カレトラ

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

患者背景別副作用発現症例

副作用・感染症の発現状況一覧表

表 27.	組合№13 エピビル+ゼリット+ピラミューン	患者背景別副作用発現症例
表 28.	組合№13 エピビル+ゼリット+ピラミューン	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 29.	組合№14 コンビビル+カレトラ	患者背景別副作用発現症例
表 30.	組合№14 コンビビル+カレトラ	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 31.	組合№15 レトロビル+エピビル+クリキシバン+ノーピア	患者背景別副作用発現症例
表 32.	組合№15 レトロビル+エピビル+クリキシバン+ノーピア	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 33.	組合№16 レトロビル+エピビル+ピラミューン	患者背景別副作用発現症例
表 34.	組合№16 レトロビル+エピビル+ピラミューン	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 35.	組合№17 ヴァイデックス+ゼリット+ピラセプト	患者背景別副作用発現症例
表 36.	組合№17 ヴァイデックス+ゼリット+ピラセプト	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 37.	組合№18 レトロビル+ヴァイデックス+ストックリン	患者背景別副作用発現症例
表 38.	組合№18 レトロビル+ヴァイデックス+ストックリン	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 39.	組合№19 エピビル+ゼリット	患者背景別副作用発現症例
表 40.	組合№19 エピビル+ゼリット	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 41.	組合№21 コンビビル+ピラミューン	患者背景別副作用発現症例
表 42.	組合№21 コンビビル+ピラミューン	副作用・感染症の発現状況一覧表
表 43.	患者背景要因(CMV 感染症治療薬)	
表 44.	CMV 感染症治療薬	患者背景別副作用発現症例
表 45.	患者背景要因(MAC 感染症治療薬)	
表 46.	MAC 感染症治療薬	患者背景別副作用発現症例
表 47.	薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表	
図表 1～20	組合せ別(平均値)	CD4 陽性リンパ球数(表上段) 血漿中 HIV-RNA コピー数(表下段) 血漿中 HIV-RNA コピー数グラフ 評価及び考察*

投与開始時点をも 0 ヶ月として、それ以後 3 ヶ月ごとに平均値・標準偏差を算出した。

(投与後月数は前後 ± 30 日以内での検査値を平均する)

投与開始(直前)時点での検査値がある症例を対象とし、以降の推移を示した。

CD4、HIV-RNA コピー数について値を 3 つの層に分けて、主たる層については、治療経験者・治療未経験者**に分けて平均値・標準偏差を求めた。

HIV-RNA コピー数については、検出限界以下(< 400)について投与後月数ごとの比率を示した。

* :評価及び考察は、患者背景(年齢、既往歴、前治療歴等)及び副作用発現傾向等の要因を除いた相対的なものであり、投与開始症例数(0 ヶ月時)が 20 症例以上の併用例について評価した。

** :「治療経験者」「治療未経験者」

治療経験者とは、本調査開始時に、既に HIV 感染症治療薬が投与されていた患者であり、治療未経験者は、本調査開始時に初めて、HIV 感染症治療薬が投与された患者を示す。

ただし、治療未経験者は、治療歴が明確に把握できないため等の理由で必ずしも正確ではない症例も含まれる。

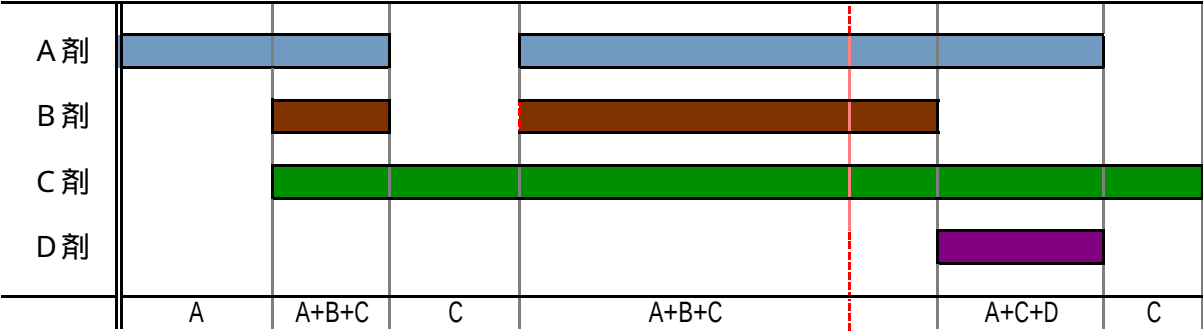
表 1 . HIV感染症患者背景

患者背景		症例数	分布(%)
総症例		2460	100.00
性別	男	2170	88.21
	女	290	11.79
年齢	14歳	34	1.38
	15歳 64歳	2383	96.87
	65歳	43	1.75
人種	日本人	2218	90.16
	その他	241	9.80
	不明・未記載	1	0.04
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	426	17.32
	有	2034	82.68
併用療法有無	無	2010	81.71
	有	448	18.21
	不明・未記載	2	0.08
合併症有無	無	763	31.02
	有	1692	68.78
	不明・未記載	5	0.20
合併症肝障害	無	1686	68.54
	有	769	31.26
	肝炎	664	26.99
	不明・未記載	5	0.20
血友病	無	1908	77.56
	有	547	22.24
	A	415	16.87
	B	130	5.28
	不明・未記載	2	0.08
	不明・未記載	5	0.20
既往歴有無	無	1158	47.07
	有	1264	51.38
	不明・未記載	38	1.54
アレルギー(特異体質) の有無	無	1872	76.10
	有	494	20.08
	不明・未記載	94	3.82

表 1 a . 生存・死亡者内訳

	AIDS患者 (投与後AIDS発症)	HIV感染者	計
計	763 (24)	1697	2460
生存者	687 (20)	1658	2345
死亡者	76 (4)	39	115

図 1 併用期間の考え方



副作用発生（B剤と関連あり）

上図においての組合せ

		副作用発現 症例数	副作用発現 症例数
A	→	1例	無
C	→	1例	無
C	→	1例	無
A+B+C	→	1例	無
A+B+C	→	1例	1例
A+C+D	→	1例	無

併用期間 || → 初回併用開始日
→ 併用開始日

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化ッ ト	エビビ ル	ゼリット	コンビ ル	ザイ エン	ビラミ ン	ストック リン	レスクリ ブター	クリキ ン	インビ ラゼ	ノビ ア	ビラセ プト	プロ セ	フォート バ イス	カトラ	デノ ジ cap	ホスガ ル	クラリス ロマイ ン	ジスロ マック	セロステ イム				
1	691	■			■										■									2	304.9	2	2317
2	623				■	■																		3	642.1	2	1951
3	608	■			■							■												3	439.4	2	2121
4	601	■																						1	421.7	2	3129
5	509	■			■										■									3	513.4	2	2091
6	317				■	■				■														3	338.3	2	1181
7	263	■	■																					2	425.5	2	3044
8	234	■		■																				2	302.5	2	2555
9	206				■	■						■												3	421.5	3	2122
10	198				■	■																		2	190.5	2	2058
11	189		■																					1	388.4	3	1690
12	152																				■			1	45.6	2	293
13	125	■			■					■														3	303.5	2	1096
14	121						■			■														2	351.2	2	1029
15	119		■			■									■									3	481.4	2	1705
16	98	■			■								■											3	310.6	2	2124
17	83		■			■				■														3	274.4	6	1088
18	82				■	■							■											4	348.5	3	1720
19	80				■	■									■						■			4	220.5	2	873
20	73	■		■								■												3	449.9	6	2042
21	73		■			■						■												2	172.2	2	1131
22	71	■										■												2	186.2	2	931
23	68					■																		1	197.4	3	536
24	66			■																				1	178.3	5	1329
25	63				■	■			■															3	400.4	6	1589
26	63	■			■									■										3	302.9	2	1852
27	56				■																			1	106.2	2	679
28	54				■	■						■		■										4	276.9	5	1198
29	53	■			■							■									■			4	190.5	2	1917
30	52	■			■							■		■										4	445.3	2	1228
31	49	■	■									■												3	393.3	2	1885
32	48				■							■												2	136.6	3	1730
33	44						■								■			■						2	438.5	6	1082
34	42				■	■												■						3	194.3	2	727
35	41	■			■										■						■			4	102.7	3	538
36	39		■			■												■						3	217.7	4	719
37	38											■												1	111.6	2	572
38	37		■			■							■	■										4	440.2	6	1470
39	36				■	■							■											3	240.2	3	1066
40	35	■		■											■									3	491.7	5	1612
41	35				■	■								■	■									3	341.3	4	1524
42	33	■	■							■					■									3	581.8	10	1973
43	32	■	■																					3	240.9	28	878
44	31	■			■																■			3	74.8	2	757
45	29		■			■						■												3	300.0	3	1588
46	29				■	■						■									■			4	129.0	2	421
47	28						■											■						2	243.6	7	665
48	27	■			■				■															3	276.5	2	1155
49	27	■			■										■			■						3	192.4	3	705
50	26				■										■									2	187.6	2	914
51	26				■	■				■			■								■			4	136.7	4	574
52	25	■		■									■											3	280.2	2	945
53	23			■								■												2	213.8	4	706
54	23																			■				1	32.4	4	302

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No 組合	数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化ッ ト	エビビ ル	ゼリット	コンビ ビ ル	ザイ ジェン	ビ ラミ ュー ン	ストック リン	レスクリ プター	クリキ ハ ン	インビ ラ ゼ	ノビ ア	ビ ラセ プト	プ ロー ゼ	フォート ハ イス	カトラ	デ ノジ cap	ホスガ ル	クラリス ロマ イソ	ジ スロ マッ ク	セロステ イム				
55	22		■			■								■										3	265.6	2	1481
56	22		■									■												2	240.1	2	755
57	21					■									■									2	286.2	2	2052
58	21				■	■															■			3	80.0	2	667
59	20	■			■								■	■										4	287.0	7	1224
60	19			■									■											2	162.4	4	478
61	19																					■		1	25.7	3	95
62	18	■		■										■										3	295.3	4	1499
63	18			■			■	■																2	228.3	5	695
64	18			■		■																		2	171.4	14	1023
65	17				■								■											2	208.0	7	815
66	16	■	■										■											3	289.2	35	689
67	16	■													■									2	276.2	6	1043
68	16		■			■			■															3	263.3	4	978
69	16						■		■															2	242.8	10	1083
70	16	■		■																	■			3	41.0	5	113
71	15					■						■												2	168.7	8	660
72	14	■											■											2	209.7	9	777
73	14						■					■												2	201.1	45	636
74	14				■	■						■							■					4	147.6	3	390
75	14				■	■												■			■			4	79.8	4	312
76	13	■												■										2	283.5	6	1778
77	13				■	■		■																3	265.7	8	749
78	13				■			■		■														3	244.8	10	596
79	13	■	■		■																			3	213.9	7	976
80	13													■										1	134.2	2	364
81	13	■																			■			2	47.1	8	196
82	12					■		■		■														3	412.5	4	902
83	12		■			■				■								■						4	275.4	18	823
84	12		■			■						■		■										4	187.0	22	565
85	12	■	■															■						3	149.0	25	410
86	12																		■	■				2	21.6	6	63
87	11	■	■											■		■								3	845.5	92	1883
88	11							■		■														4	339.5	7	985
89	11				■	■								■			■							4	249.7	19	650
90	11				■	■				■									■					4	235.3	56	720
91	11									■								■						2	227.1	3	839
92	11				■	■				■												■		4	139.5	7	512
93	11				■	■							■	■							■			5	100.9	5	314
94	11														■									1	100.4	5	736
95	11				■	■									■				■					4	80.8	8	304
96	11	■	■					■													■			3	61.0	2	454
97	10	■			■			■																3	252.0	18	656
98	10				■	■									■							■		4	165.1	3	603
99	10				■									■										2	113.7	4	516
100	10																	■						1	65.5	4	365
101	9							■		■						■								3	368.0	9	1148
102	9					■							■	■										3	189.4	16	372
103	9	■			■					■											■			4	131.1	4	453
104	9							■		■								■						3	124.3	12	327
105	9	■			■	■									■									4	119.4	2	366
106	9			■									■								■			2	90.2	8	173
107	9												■											1	35.2	2	122
108	9				■	■						■										■		4	20.3	3	84

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No 組合	数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少 セロステム	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハイ ット	エビ ル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ン	ストック リン	レスクリ プター	クリキ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラセ プト	プロ セ 	フォート ヘ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ッ ク					
109	8	■	■									■	■	■										4	465.8	70	1497
110	8						■					■		■										3	316.4	25	804
111	8				■	■						■		■							■			5	308.0	4	623
112	8		■			■							■											3	306.1	10	1457
113	8		■			■																		4	295.4	6	727
114	8		■																					3	211.8	6	532
115	8		■																		■			2	179.0	14	541
116	8		■			■																		3	174.5	3	545
117	8				■							■												3	139.8	10	546
118	8												■	■										2	96.4	2	287
119	8	■			■								■								■			4	70.0	7	442
120	7		■			■								■			■							4	319.9	23	657
121	7						■																	1	302.4	2	1013
122	7		■																					3	214.1	56	509
123	7		■																					3	187.0	7	561
124	7																							2	181.1	4	574
125	7					■								■										2	176.6	14	422
126	7	■			■							■									■			4	142.6	7	569
127	7				■									■										2	137.9	65	293
128	7				■	■																	■	4	121.0	11	438
129	7	■			■											■			■					4	80.1	3	229
130	7				■	■							■	■					■					5	44.7	6	129
131	7				■	■															■			4	34.1	5	69
132	7	■			■							■								■				4	31.6	2	50
133	7				■	■						■								■				4	25.4	2	99
134	7				■	■						■							■		■			5	17.7	5	58
135	6		■											■										2	486.7	13	1758
136	6		■			■							■	■										5	381.8	101	973
137	6		■		■																			3	294.2	109	581
138	6		■																					2	289.5	6	684
139	6	■			■							■							■					4	282.2	17	857
140	6		■			■							■	■							■			5	164.8	28	392
141	6				■	■									■								■	4	148.3	11	409
142	6		■										■	■										3	135.3	36	300
143	6	■			■										■						■			4	122.8	3	346
144	6	■			■													■						3	86.5	28	168
145	6				■								■	■										3	65.8	2	265
146	6		■		■																			2	45.8	22	64
147	6				■							■									■			3	44.0	3	143
148	6																							1	41.0	3	128
149	5				■										■									2	307.8	83	987
150	5				■	■							■	■								■		5	189.2	2	794
151	5		■			■							■		■									4	164.8	28	396
152	5		■			■										■								3	128.0	14	419
153	5	■	■					■																3	95.4	23	349
154	5	■			■	■																		3	93.2	2	276
155	5					■															■			2	86.4	13	347
156	5	■			■																			3	85.4	3	261
157	5						■			■						■								3	80.8	7	239
158	5	■						■								■								3	80.8	21	153
159	5									■														1	61.4	2	278
160	5				■	■		■								■								4	41.0	9	120
161	5				■								■								■			3	39.2	7	109
162	5				■					■														2	37.8	8	117

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少 セロステイルム	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ビル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ン	ストック リン	レスクリ ブ ター	クリキ ン	イン ビ ラー ゼ	ノ ビ ア	ビ ラセ プト	プ ロー セ	フォ ート ハ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イン ソ	ジ ス ロ マ ック					
163	5	■	■		■							■												4	26.6	5	61
164	5				■	■				■										■				4	16.0	6	24
165	4				■	■							■		■									4	828.5	27	1699
166	4			■		■									■									3	502.0	7	1074
167	4	■	■							■								■						4	399.0	27	692
168	4	■			■									■							■			4	389.3	8	1472
169	4				■	■		■		■														4	321.8	85	559
170	4					■		■										■						3	319.0	141	532
171	4		■	■																				2	291.5	10	668
172	4	■	■	■																				3	226.5	46	318
173	4		■		■									■							■			4	220.8	28	532
174	4					■				■								■						3	149.0	10	235
175	4	■			■									■			■							4	138.8	31	276
176	4		■		■									■			■							4	131.0	5	336
177	4	■			■							■							■		■			5	73.5	9	200
178	4					■			■						■									3	61.3	6	146
179	4	■	■															■			■			4	52.3	14	86
180	4		■			■													■					3	33.5	21	45
181	4				■	■						■								■		■		5	32.3	8	50
182	4						■											■			■			3	30.8	8	75
183	4																		■		■			2	28.3	4	52
184	4	■			■										■					■				4	27.3	11	47
185	4					■							■											2	26.8	2	42
186	4				■	■									■					■				4	26.8	8	44
187	4						■							■			■							3	25.3	3	49
188	4												■								■			2	20.0	2	61
189	3	■			■							■										■		4	725.7	15	2084
190	3	■			■												■							3	707.7	300	1324
191	3	■		■										■										4	679.3	2	1910
192	3		■			■				■				■										5	654.3	258	999
193	3					■		■							■									3	587.3	105	840
194	3			■		■						■												3	568.3	210	935
195	3				■	■										■								3	513.3	55	866
196	3		■												■									2	501.3	3	1287
197	3				■	■				■			■	■										5	500.0	14	795
198	3		■		■								■	■	■									3	477.7	288	708
199	3							■		■			■	■										4	356.3	208	498
200	3							■	■							■								3	351.0	5	777
201	3				■	■				■									■		■			5	350.3	324	367
202	3		■			■									■						■			4	340.7	147	636
203	3				■							■							■		■			4	336.0	3	914
204	3				■			■		■								■						4	313.3	266	363
205	3	■		■						■														3	298.3	137	602
206	3				■			■	■															3	292.3	24	693
207	3					■												■						2	265.3	24	662
208	3	■				■																		2	264.0	70	596
209	3				■	■									■				■		■			5	247.0	154	413
210	3				■													■						2	246.0	27	561
211	3				■	■		■							■									4	219.7	109	312
212	3			■		■			■															3	183.0	18	445
213	3		■							■			■	■										4	176.7	8	452
214	3						■			■											■			3	151.3	42	208
215	3		■			■												■			■			4	147.7	46	347
216	3		■					■		■								■						4	147.0	13	235

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ビル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ン	ストック リン	レスクリ ブ ター	クリキ ン	イン ビ ラー ゼ	ノ ビ ア	ビ ラセ プト	ア ロ セ	フォ ート ヘ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ッ ク	セ ロ ス ティ ム				
217	3				■	■							■						■					4	128.0	89	203
218	3		■			■		■																3	125.7	3	256
219	3				■					■								■						3	118.0	43	238
220	3		■							■														2	115.3	2	339
221	3				■			■							■									3	115.0	26	196
222	3	■											■	■										3	101.7	2	289
223	3					■				■														2	80.7	14	172
224	3			■	■																			2	72.0	35	126
225	3				■	■			■												■			4	67.7	7	98
226	3			■		■							■											3	67.7	58	74
227	3		■		■	■									■									4	63.7	36	84
228	3				■	■																■		3	61.7	3	178
229	3	■								■														2	59.7	10	138
230	3	■			■										■								■	4	55.7	7	93
231	3			■	■	■						■												4	52.3	36	76
232	3								■									■						2	45.7	13	96
233	3	■	■			■																		3	43.7	13	99
234	3					■			■									■						3	42.3	12	88
235	3														■						■			2	37.0	10	66
236	3				■	■													■					3	32.0	14	66
237	3						■			■									■					3	31.3	20	50
238	3					■									■						■			3	31.3	8	68
239	3									■				■					■			■		2	14.0	2	35
240	3				■	■							■	■						■				5	14.0	4	25
241	3				■	■								■							■			4	10.7	8	15
242	3												■							■				2	7.7	4	14
243	2							■		■		■		■										4	783.0	359	1207
244	2			■	■							■												3	684.5	641	728
245	2		■			■				■					■									4	672.5	546	799
246	2				■	■								■	■									4	568.5	28	1109
247	2	■	■									■		■	■									4	517.5	396	639
248	2					■		■		■					■									4	457.0	232	682
249	2					■				■			■	■	■						■			5	450.5	40	861
250	2		■			■									■							■		4	427.0	56	798
251	2				■	■							■								■			4	423.5	8	839
252	2							■	■					■	■									2	397.0	148	646
253	2					■								■	■									3	374.0	76	672
254	2				■	■							■	■	■									5	374.0	15	733
255	2		■			■				■						■								4	351.5	204	499
256	2		■							■					■									3	344.5	291	398
257	2				■	■											■							3	279.0	2	556
258	2				■	■								■			■				■			5	248.0	153	343
259	2			■		■				■														3	247.0	28	466
260	2		■							■			■	■							■			5	232.5	100	365
261	2									■			■	■										3	228.0	183	273
262	2	■			■			■										■						4	225.0	28	422
263	2						■			■												■		3	219.0	160	278
264	2	■			■					■												■		4	216.0	117	315
265	2				■	■				■									■			■		5	212.5	147	278
266	2				■							■							■					3	198.5	136	261
267	2			■		■							■								■			4	188.0	7	369
268	2		■			■							■								■			4	185.5	182	189
269	2		■			■			■						■									4	175.5	116	235
270	2	■				■						■												3	172.0	126	218

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No 組合	数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少 セロステイム	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトビ ^ル	ウ ^{アイ} デ ^{ックス}	ハイ ^ッ ト [・]	エビ ^ル	ゼ ^リ ット	コンビ ^ル	ザ ^イ ジ ^{エン}	ビ ^ラ ミュー ン	ストックリン	レスクリ ^プ ター	クリキ ^ハ ン	イン ^ビ ラー ^ゼ	ノ ^ビ ア	ビ ^ラ セ ^プ ト	プ ^ロ セ [・]	フォート ^ヘ イス	カトラ	デ ^ノ ジ cap	ホス ^カ ビ ^ル	クラリス ^ロ マイ ^ソ	ジ ^ス ロ ^マ ッ ク					
271	2	■	■						■														■	4	141.5	29	254
272	2		■		■	■											■							4	131.5	22	241
273	2						■					■												2	126.0	5	247
274	2	■						■	■															3	112.5	45	180
275	2	■	■									■	■							■				5	108.5	5	212
276	2	■			■	■					■										■			4	106.5	57	156
277	2							■		■				■						■				4	99.0	46	152
278	2		■					■		■			■											5	94.0	2	186
279	2	■	■							■					■									4	87.5	13	162
280	2		■		■									■										3	85.5	60	111
281	2		■					■																3	83.0	5	161
282	2	■	■						■													■		4	82.5	4	161
283	2	■			■																■			4	82.0	3	161
284	2				■		■												■					4	81.0	54	108
285	2		■			■		■												■				4	78.0	30	126
286	2		■			■		■	■							■								5	77.5	56	99
287	2		■			■						■												4	77.0	15	139
288	2		■			■															■			3	69.0	27	111
289	2		■		■							■												3	66.0	55	77
290	2	■			■								■		■									4	65.0	49	81
291	2		■			■									■				■					4	61.5	60	63
292	2				■	■													■		■			5	61.0	38	84
293	2	■			■															■				3	59.0	14	104
294	2																					■		2	56.5	35	78
295	2				■	■							■									■		4	56.5	7	106
296	2	■		■									■						■					4	55.5	13	98
297	2		■					■							■									3	53.0	22	84
298	2		■		■	■			■															4	53.0	29	77
299	2				■			■																2	50.0	30	70
300	2	■		■									■								■			4	48.0	21	75
301	2					■						■		■				■						4	45.0	20	70
302	2				■	■																■		3	44.5	34	55
303	2				■	■		■											■					4	40.5	24	57
304	2	■			■								■						■					4	39.5	9	70
305	2	■	■											■										4	37.5	13	62
306	2						■					■		■						■				4	36.0	9	63
307	2				■	■						■							■					5	36.0	3	69
308	2				■	■														■				5	35.0	28	42
309	2	■						■											■					3	34.0	27	41
310	2					■			■			■												4	32.0	3	61
311	2											■									■			2	29.5	8	51
312	2				■	■						■		■								■		5	28.5	11	46
313	2	■										■								■				3	28.0	14	42
314	2	■			■																■			3	26.0	2	50
315	2				■	■							■			■		■						5	25.0	24	26
316	2		■			■							■	■				■						5	21.5	19	24
317	2				■	■													■					3	20.5	11	30
318	2		■			■			■							■					■			5	20.0	14	26
319	2						■			■														3	18.0	10	26
320	2		■												■			■						4	18.0	3	33
321	2					■		■																4	17.0	15	19
322	2	■	■			■															■			4	17.0	7	27
323	2				■															■				2	14.5	7	22
324	2																					■		1	12.5	7	18

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No	組合 数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少 セロステイルム	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ビル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ジ ン	ビ ラミ ン	ストック リン	レスクリ ブ ター	クリキ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラセ プト	ア ロ セ	フォ ート ハ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ッ ク					
325	2	■																	■					2	12.0	7	17
326	2				■					■												■		3	10.5	7	14
327	2				■			■																2	10.5	7	14
328	2				■																	■		2	10.0	10	10
329	2				■	■						■								■	■			5	10.0	4	16
330	2				■									■							■			3	8.5	3	14
331	2	■										■								■				3	8.5	5	12
332	2		■			■								■							■			4	6.5	4	9
333	2		■	■		■									■									4	6.5	3	10
334	2	■			■					■		■												4	6.5	4	9
335	2					■				■					■									3	6.0	2	10
336	2		■					■	■									■						4	5.5	3	8
337	2							■																1	4.0	2	6
338	2					■						■									■			3	3.5	2	5
339	2					■				■								■				■		4	3.0	3	3
340	2		■		■									■			■					■		5	3.0	3	3
341	2		■									■									■			3	2.5	2	3
342	2							■								■								2	2.0	2	2
343	1		■			■						■									■			4	1433.0	1433	1433
344	1		■				■	■		■														4	1403.0	1403	1403
345	1						■	■	■															3	1148.0	1148	1148
346	1	■	■										■		■									4	1041.0	1041	1041
347	1					■				■			■	■	■							■		5	958.0	958	958
348	1				■	■				■					■									4	942.0	942	942
349	1	■	■	■	■							■												5	913.0	913	913
350	1							■		■											■			5	894.0	894	894
351	1					■			■				■	■	■									5	837.0	837	837
352	1		■		■										■						■			4	809.0	809	809
353	1		■		■				■					■			■							5	790.0	790	790
354	1						■	■										■						3	747.0	747	747
355	1				■	■		■		■					■									5	718.0	718	718
356	1		■			■								■			■				■			5	668.0	668	668
357	1	■			■			■		■														4	651.0	651	651
358	1		■			■		■		■					■			■						4	643.0	643	643
359	1		■			■		■		■					■									5	614.0	614	614
360	1					■							■		■									3	609.0	609	609
361	1				■			■		■				■		■								5	607.0	607	607
362	1			■		■						■		■										4	574.0	574	574
363	1							■	■						■									3	568.0	568	568
364	1		■		■			■		■				■		■								6	567.0	567	567
365	1					■		■		■		■		■										5	566.0	566	566
366	1		■		■							■		■										4	560.0	560	560
367	1					■				■		■		■										4	557.0	557	557
368	1									■		■		■										3	544.0	544	544
369	1		■							■						■								3	523.0	523	523
370	1		■							■		■		■							■			4	518.0	518	518
371	1		■			■									■							■		4	515.0	515	515
372	1		■						■	■				■		■			■					3	504.0	504	504
373	1				■	■				■						■								5	503.0	503	503
374	1					■							■	■							■			4	501.0	501	501
375	1		■			■		■						■			■							5	485.0	485	485
376	1	■							■	■						■								3	483.0	483	483
377	1							■		■														2	442.0	442	442
378	1		■	■								■												3	429.0	429	429

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No 組合	数 症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ビル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ュー ン	スト ック リン	レス クリ プ ター	クリ シ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラ セ ブ ト	プ ロ セ 	フォ ート ハ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ッ ク	セ ロ ス ティ ム				
379	1	■			■								■	■							■			5	421.0	421	421
380	1	■		■											■						■			4	417.0	417	417
381	1		■				■											■						3	411.0	411	411
382	1				■	■								■					■		■			5	391.0	391	391
383	1		■			■	■											■						4	365.0	365	365
384	1	■					■								■									3	365.0	365	365
385	1	■			■							■			■									4	365.0	365	365
386	1						■										■	■						3	363.0	363	363
387	1						■	■		■														3	360.0	360	360
388	1				■	■							■	■					■		■			6	357.0	357	357
389	1						■			■					■									3	347.0	347	347
390	1						■					■									■			3	333.0	333	333
391	1		■		■			■										■						4	322.0	322	322
392	1							■	■									■						3	319.0	319	319
393	1		■			■		■		■					■								■	6	315.0	315	315
394	1		■										■											2	307.0	307	307
395	1		■			■												■				■		4	300.0	300	300
396	1				■								■								■			3	285.0	285	285
397	1	■							■			■												3	285.0	285	285
398	1							■		■				■		■						■		5	278.0	278	278
399	1	■	■						■			■			■				■			■		5	271.0	271	271
400	1					■			■			■												3	266.0	266	266
401	1		■			■																■		3	265.0	265	265
402	1				■	■									■						■	■		5	263.0	263	263
403	1		■		■	■			■									■						5	261.0	261	261
404	1	■		■								■							■		■			5	248.0	248	248
405	1		■			■		■		■			■		■									6	245.0	245	245
406	1	■	■		■											■								4	244.0	244	244
407	1					■	■								■									3	237.0	237	237
408	1				■					■					■			■			■			5	237.0	237	237
409	1					■		■						■			■							4	232.0	232	232
410	1						■					■							■					3	231.0	231	231
411	1			■						■		■		■										4	211.0	211	211
412	1				■			■		■								■				■		5	208.0	208	208
413	1				■			■										■						3	205.0	205	205
414	1			■	■										■									3	201.0	201	201
415	1				■	■							■						■					5	196.0	196	196
416	1			■	■	■																		3	196.0	196	196
417	1	■			■									■			■				■			5	195.0	195	195
418	1			■	■	■						■			■									5	192.0	192	192
419	1						■								■						■			3	189.0	189	189
420	1				■	■				■			■	■	■						■			7	189.0	189	189
421	1				■	■			■														■	4	187.0	187	187
422	1			■									■	■										3	184.0	184	184
423	1			■				■	■												■			4	183.0	183	183
424	1		■			■			■												■			4	182.0	182	182
425	1							■	■					■		■								4	174.0	174	174
426	1	■		■	■	■						■			■									6	173.0	173	173
427	1		■					■	■	■								■						5	170.0	170	170
428	1	■	■		■				■	■			■											4	170.0	170	170
429	1				■	■			■									■			■			5	166.0	166	166
430	1									■			■	■							■			4	165.0	165	165
431	1		■			■				■											■			4	161.0	161	161
432	1	■			■			■				■		■										5	160.0	160	160

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトロビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ル	ゼ リット	コン ビ ル	ザ イ ジ ン	ビ ラミ ン	ストック リン	レスクリ ブ ター	クリキ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラセ プト	プ ロ セ 	フォ ート ハ イス	カ トラ	デ ノ ジ ン cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ツ ク	セ ロ ス ティ ム				
433	1							■		■					■				■					4	159.0	159	159
434	1		■					■																4	157.0	157	157
435	1				■					■					■			■						2	153.0	153	153
436	1	■			■										■				■				■	5	149.0	149	149
437	1					■		■		■		■		■							■			6	147.0	147	147
438	1									■						■		■						3	139.0	139	139
439	1	■				■							■											3	139.0	139	139
440	1				■	■							■					■						4	136.0	136	136
441	1		■	■		■																		3	132.0	132	132
442	1				■	■											■			■				5	129.0	129	129
443	1						■			■		■		■										4	128.0	128	128
444	1		■				■	■																3	128.0	128	128
445	1	■	■													■								3	125.0	125	125
446	1						■								■							■		3	124.0	124	124
447	1				■	■				■										■		■		5	123.0	123	123
448	1	■		■	■								■											4	123.0	123	123
449	1			■		■							■	■										4	121.0	121	121
450	1																	■			■			2	119.0	119	119
451	1		■			■		■		■			■		■							■		7	117.0	117	117
452	1					■		■										■			■			4	116.0	116	116
453	1									■						■		■					■	4	113.0	113	113
454	1	■	■											■							■			4	113.0	113	113
455	1				■	■								■			■					■		5	112.0	112	112
456	1	■	■		■	■													■					4	110.0	110	110
457	1		■			■						■							■					4	108.0	108	108
458	1	■		■													■							3	107.0	107	107
459	1				■			■		■									■					4	104.0	104	104
460	1						■			■												■		3	98.0	98	98
461	1			■								■							■		■			4	97.0	97	97
462	1		■			■							■	■				■						5	97.0	97	97
463	1	■						■	■					■										3	97.0	97	97
464	1				■	■						■		■					■		■			6	96.0	96	96
465	1					■				■				■		■								4	91.0	91	91
466	1				■	■		■	■				■	■										5	90.0	90	90
467	1				■	■				■		■		■							■			6	89.0	89	89
468	1												■						■					2	84.0	84	84
469	1		■									■							■					3	84.0	84	84
470	1		■					■		■								■			■			5	84.0	84	84
471	1		■			■									■					■				4	84.0	84	84
472	1	■	■	■	■									■	■									4	84.0	84	84
473	1	■			■								■	■	■									5	83.0	83	83
474	1	■	■							■									■					4	83.0	83	83
475	1		■	■		■			■						■									5	81.0	81	81
476	1		■			■				■				■			■				■			6	76.0	76	76
477	1		■	■								■			■				■					4	76.0	76	76
478	1	■		■															■					3	75.0	75	75
479	1											■		■										2	73.0	73	73
480	1				■	■												■			■			5	73.0	73	73
481	1					■										■								2	71.0	71	71
482	1						■							■	■									3	70.0	70	70
483	1	■			■								■	■								■		5	70.0	70	70
484	1	■	■									■									■			4	70.0	70	70
485	1	■	■							■			■	■										5	70.0	70	70
486	1							■	■					■										3	68.0	68	68

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトビ [®] ル	ウ [®] アイ デックス	ハ化 [®] ッ ト	エビ [®] ビ [®] ル	ゼ [®] リット	コンビ [®] ビ [®] ル	ザ [®] イ ジ [®] エン	ビ [®] ラミュー ン	ストックリン	レスクリ [®] ブ ター	クリキ [®] ハ [®] ン	インビ [®] ラ [®] ゼ	ノ [®] ビ [®] ア	ビ [®] ラセ [®] ブ ト	プ [®] ロー [®] ゼ	フォート [®] ハ [®] イス	カトラ	デ [®] ノ [®] ジ [®] ン cap	ホス [®] カ [®] ビ [®] ル	クラ [®] リス [®] ロ [®] マ イ [®] ジ [®] ン	ジ [®] ス [®] ロ [®] マ [®] ツ [®] ク	セ [®] ロ [®] ス [®] ティ [®] ム				
487	1			■		■						■							■					4	68.0	68	68
488	1	■	■							■											■			4	68.0	68	68
489	1							■	■							■							■	4	67.0	67	67
490	1						■			■					■						■			4	67.0	67	67
491	1	■	■											■			■							4	67.0	67	67
492	1		■									■		■										3	66.0	66	66
493	1		■		■	■							■	■										5	65.0	65	65
494	1		■		■			■		■				■		■			■		■			8	64.0	64	64
495	1		■		■			■		■				■		■			■			■		8	63.0	63	63
496	1				■	■													■		■			4	62.0	62	62
497	1		■			■				■													■	4	61.0	61	61
498	1		■		■								■	■		■					■			6	60.0	60	60
499	1		■				■																	2	59.0	59	59
500	1	■			■			■							■									4	59.0	59	59
501	1		■			■									■			■						4	56.0	56	56
502	1	■	■		■	■									■									5	54.0	54	54
503	1						■			■								■					■	4	53.0	53	53
504	1				■	■							■	■									■	5	53.0	53	53
505	1		■			■		■								■								4	52.0	52	52
506	1			■		■															■			3	51.0	51	51
507	1	■		■		■						■									■			5	51.0	51	51
508	1	■	■			■							■									■		5	49.0	49	49
509	1				■			■		■								■					■	5	48.0	48	48
510	1		■		■	■									■					■				5	45.0	45	45
511	1				■										■						■			3	44.0	44	44
512	1					■		■					■	■										4	43.0	43	43
513	1				■	■				■								■						4	43.0	43	43
514	1											■		■							■			3	42.0	42	42
515	1	■	■									■							■					3	42.0	42	42
516	1				■	■						■			■									4	41.0	41	41
517	1	■			■									■								■		4	40.0	40	40
518	1				■	■		■		■		■	■	■										7	39.0	39	39
519	1	■							■															2	39.0	39	39
520	1				■	■			■							■								4	38.0	38	38
521	1		■			■				■		■												4	38.0	38	38
522	1			■																■				2	37.0	37	37
523	1					■							■	■					■					4	36.0	36	36
524	1					■		■		■			■	■										5	35.0	35	35
525	1	■											■	■							■			3	35.0	35	35
526	1												■	■					■		■			4	34.0	34	34
527	1				■	■		■		■											■			5	34.0	34	34
528	1	■	■															■				■		4	34.0	34	34
529	1	■		■		■							■											4	33.0	33	33
530	1							■		■		■		■						■				2	32.0	32	32
531	1							■		■			■							■				5	32.0	32	32
532	1				■	■				■										■	■			5	32.0	32	32
533	1				■										■					■			■	3	31.0	31	31
534	1									■						■								2	28.0	28	28
535	1				■				■						■									3	28.0	28	28
536	1				■	■											■				■			4	28.0	28	28
537	1		■			■				■				■					■					4	28.0	28	28
538	1		■			■			■				■	■										5	28.0	28	28
539	1		■			■		■										■					■	5	28.0	28	28
540	1		■		■			■										■					■	5	28.0	28	28

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトビ ル	ウ アイ デックス	ハ化 ット	エビ ビル	ゼ リット	コン ビル	ザ イ ジェン	ビ ラミ ン	スト ックリ ン	レス クリ プ ター	クリ シ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラ セ プ ト	プ ロ セ 	フォ ート ハ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホ ス 加 ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ッ ク	セ ロ ス ティ ム				
541	1																							3	27.0	27	27
542	1																							4	26.0	26	26
543	1																							4	26.0	26	26
544	1																							4	25.0	25	25
545	1																							3	25.0	25	25
546	1																							5	25.0	25	25
547	1																							2	24.0	24	24
548	1																							3	24.0	24	24
549	1																							6	24.0	24	24
550	1																							5	24.0	24	24
551	1																							6	22.0	22	22
552	1																							5	22.0	22	22
553	1																							3	21.0	21	21
554	1																							6	21.0	21	21
555	1																							5	21.0	21	21
556	1																							5	21.0	21	21
557	1																							4	20.0	20	20
558	1																							7	20.0	20	20
559	1																							4	20.0	20	20
560	1																							4	20.0	20	20
561	1																							4	19.0	19	19
562	1																							5	19.0	19	19
563	1																							2	19.0	19	19
564	1																							3	17.0	17	17
565	1																							6	16.0	16	16
566	1																							3	16.0	16	16
567	1																							5	16.0	16	16
568	1																							4	15.0	15	15
569	1																							4	15.0	15	15
570	1																							3	14.0	14	14
571	1																							4	14.0	14	14
572	1																							3	14.0	14	14
573	1																							2	13.0	13	13
574	1																							6	13.0	13	13
575	1																							3	13.0	13	13
576	1																							3	12.0	12	12
577	1																							5	12.0	12	12
578	1																							6	12.0	12	12
579	1																							5	12.0	12	12
580	1																							4	11.0	11	11
581	1																							3	11.0	11	11
582	1																							6	11.0	11	11
583	1																							3	11.0	11	11
584	1																							6	11.0	11	11
585	1																							6	10.0	10	10
586	1																							4	10.0	10	10
587	1																							6	10.0	10	10
588	1																							3	10.0	10	10
589	1																							5	10.0	10	10
590	1																							3	9.0	9	9
591	1																							3	9.0	9	9
592	1																							5	9.0	9	9
593	1																							4	9.0	9	9
594	1																							3	8.0	8	8

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No 組合	症 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		レトビ ル	ウ アイ デックス	ハ化ッ ト	エビ ビル	ゼ リット	コン ビル	ザ イ ジエン	ビ ラミ ン	スト ックリン	レス クリ プ ター	クリ シ ン	イン ビ ラ ゼ	ノ ビ ア	ビ ラ セ プ ト	ア ロ セ	フォ ート ハ イス	カ トラ	デ ノ ジ cap	ホ ス カ ル	クラ リス ロ マ イ ン	ジ ス ロ マ ク	セ ロ ス ティ ム				
595	1							■		■				■		■					■			5	8.0	8	8
596	1					■				■			■		■				■		■			5	8.0	8	8
597	1				■			■		■					■			■			■			6	8.0	8	8
598	1				■			■		■				■			■							5	8.0	8	8
599	1		■																■		■			3	8.0	8	8
600	1		■			■							■		■						■			5	8.0	8	8
601	1		■		■							■								■		■		5	8.0	8	8
602	1								■						■									2	7.0	7	7
603	1							■		■				■							■			4	7.0	7	7
604	1						■											■		■				3	7.0	7	7
605	1				■														■			■		3	7.0	7	7
606	1				■	■									■				■			■		5	7.0	7	7
607	1				■	■				■				■					■					4	7.0	7	7
608	1				■	■		■		■					■							■		6	7.0	7	7
609	1			■				■																2	7.0	7	7
610	1		■							■				■										3	7.0	7	7
611	1		■		■			■		■				■		■						■		7	7.0	7	7
612	1	■						■	■															4	7.0	7	7
613	1	■		■									■						■		■			5	7.0	7	7
614	1				■				■	■					■									3	6.0	6	6
615	1				■	■			■											■				4	6.0	6	6
616	1				■	■		■		■					■						■			6	6.0	6	6
617	1		■			■				■				■							■			4	6.0	6	6
618	1	■			■							■	■											4	6.0	6	6
619	1	■		■															■		■			4	6.0	6	6
620	1	■	■			■						■										■		5	6.0	6	6
621	1							■		■						■						■		4	5.0	5	5
622	1					■								■							■			3	5.0	5	5
623	1					■		■		■								■						4	5.0	5	5
624	1		■		■			■		■				■							■			6	5.0	5	5
625	1	■								■		■		■										4	5.0	5	5
626	1					■				■				■							■			4	4.0	4	4
627	1				■	■		■					■	■										5	4.0	4	4
628	1		■											■						■				2	4.0	4	4
629	1		■			■								■					■					4	4.0	4	4
630	1	■							■			■		■										4	4.0	4	4
631	1						■											■				■		3	3.0	3	3
632	1					■		■		■												■		4	3.0	3	3
633	1					■		■		■			■		■									5	3.0	3	3
634	1				■									■						■				2	3.0	3	3
635	1				■									■			■							3	3.0	3	3
636	1				■	■						■			■				■					6	3.0	3	3
637	1				■	■			■	■												■		4	3.0	3	3
638	1		■			■				■												■		4	3.0	3	3
639	1	■																		■				2	3.0	3	3
640	1											■										■		2	2.0	2	2
641	1					■		■								■								3	2.0	2	2
642	1			■				■					■								■			4	2.0	2	2
643	1		■									■								■				3	2.0	2	2
644	1		■			■				■				■		■				■				5	2.0	2	2
645	1		■		■							■										■		4	2.0	2	2
646	1	■			■											■								3	2.0	2	2
計		1517217	470865	179342	1758791	1029919	92942	62875	53959	301366	0	543397	152573	216873	856388	15615	13373	59667	19022	3237	88918	15111	4219				

: 計の日数は患者全体の投与日数を示した。

表 2 - 0 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間 : 調査開始～2003年3月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤						非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数	平均日数	最小日数	最大日数
			レトロビル	ザイデックス	ハ化ット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキバン	インビラゼ	ノビア	ビラセプト	プロセ	フォートベイス	カトラ	デノシン cap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム			

注 1 : 調査票に上記薬剤の治験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注 2 : 1 日併用に関しては除外した。

表 2 - 1 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：調査開始～1997年10月31日

No	組合 症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数
		レトビビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキサン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートヘイス	カトラ	デノシン cap	ホスガビル	クラリスロマイ シン	ジスロマック	セロステイム	
1	545	■																						1
2	434	■			■																			2
3	276	■			■							■												3
4	253	■	■																					2
5	219	■		■																				2
6	173		■																					1
7	60			■																				1
8	60	■										■												2
9	58	■		■								■												3
10	53					■																		1
11	52	■			■										■									3
12	49				■	■						■												3
13	49				■	■																		2
14	45				■	■									■									3
15	37	■			■								■											3
16	33				■																			1
17	32																				■			1
18	27	■	■									■												3
19	26											■												1
20	23	■		■									■											3
21	21			■								■												2
22	18			■									■											2
23	17		■									■												2
24	17	■			■									■										3
25	17				■							■												2
26	16	■		■										■										3
27	16	■			■							■									■			4
28	16		■			■																		2
29	15	■	■										■											3
30	15	■			■																■			3
31	15	■		■																	■			3
32	14			■		■																		2
33	13	■											■											2
34	12	■		■											■									3
35	12	■												■										2
36	12	■																			■			2
37	11	■													■									2
38	11	■	■		■																			3
39	11				■	■							■											3
40	9			■																	■			2
計		532903	188212	80288	124933	31143	0	0	169	0	0	69807	16400	11536	12853	0	0	0	2828	733	12929	780	0	

170組中40組のみを限定して表示した

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の治験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

表 2 - 2 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：1997年11月1日～1998年10月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトロビ'ル	グ'アイデ'ックス	ハイビ'ット	エビ'ビ'ル	セ'リット	コンビ'ビ'ル	ザ'イアジ'ン	ビ'ラミューン	ストックリン	レスクリ'プター	クリキシ'バン	インビ'ラセ'	ノービ'ア	ビ'ラセ'ト	プ'ローセ'	フォート'ヘ'イス	カトラ	デ'ノシン cap	ホス'カビ'ル	クラリス'ロマイ'シン	ジ'スロマ'ック	セロ'ステ'イム	
1	400	■				■							■												3
2	349	■				■																			2
3	219					■	■									■									3
4	183	■				■										■									3
5	129					■	■						■												3
6	96					■	■																		2
7	77	■				■								■											3
8	58	■																							1
9	51	■		■																					2
10	43		■				■									■									3
11	41	■		■									■												3
12	38	■	■																						2
13	38	■				■									■										3
14	33		■				■																		2
15	33																					■			1
16	30	■				■							■									■			4
17	28	■	■										■												3
18	28					■	■							■											3
19	28					■							■												2
20	27					■	■									■						■			4
21	23		■																						1
22	23					■	■								■										3
23	23					■	■							■	■										4
24	23					■																			1
25	20	■											■												2
26	19		■				■						■												3
27	16		■				■								■										3
28	14	■		■												■									3
29	14		■										■												2
30	14	■				■																■			3
31	13					■	■						■									■			4
32	11					■								■								■			2
33	11					■	■															■			3
34	11						■																		1
35	10	■		■										■											3
36	10						■						■												2
37	10						■									■									2
38	9	■	■											■											3
39	9		■				■							■	■										4
40	9												■												1
計			253613	42775	36366	293460	110044	0	0	700	0	0	142543	35490	23778	84453	0	0	0	4469	454	17318	2248	0	

191組中40組のみを限定して表示した

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の治験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

表 2 - 3 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：1998年11月1日～2000年3月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトロビ'ル	ザ' アイデ' ックス	ハイビ' ット	エビ' ビ' ル	ゼ' リット	コンビ' ビ' ル	ザ' イア' ジ' ン	ビ' ラミューン	ストックリン	レスクリ' プター	クリキシハ' ン	インビ' ラ' セ	ノービ' ア	ビ' ラセ' プト	フ' ローセ'	フォート' ヘ' イ' ス	カ' ルトラ	デ' ノシン cap	ホス' カ' ビ' ル	クラリス' ロマイ' シン	ジ' スロマ' ック	セロ' スティ' ム	
1	441					■	■									■									3
2	338		■			■							■												3
3	329		■			■										■									3
4	192		■			■																			2
5	134					■	■						■												3
6	85			■			■									■									3
7	77					■	■																		2
8	60					■	■							■	■										4
9	45					■	■				■														3
10	42		■			■								■											3
11	39					■	■									■						■			4
12	36																					■			1
13	33			■			■																		2
14	32		■		■																				2
15	32			■			■							■	■										4
16	28					■	■			■															3
17	26		■		■								■												3
18	25		■			■							■		■										4
19	24		■		■											■									3
20	23		■			■									■										3
21	23		■			■							■									■			4
22	21					■	■								■										3
23	19		■	■									■												3
24	19		■	■												■									3
25	18		■			■										■						■			4
26	17					■	■						■		■										4
27	16					■	■							■											3
28	16					■	■						■									■			4
29	16					■										■									2
30	16		■																						1
31	15			■			■						■												3
32	15							■								■									2
33	15							■			■														2
34	14			■			■				■														3
35	13					■							■												2
36	11			■			■			■															3
37	11						■									■									2
38	11		■			■					■														3
39	11		■			■				■															3
40	9		■	■																					2
計			337090	83694	37744	529330	306557	5837	5702	10543	15601	0	192193	54314	61487	293429	1829	1071	0	5814	1031	27062	3634	416	

339組中40組のみを限定して表示した

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の試験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

表 2 - 4 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2000年4月1日～2001年3月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイゾン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキサン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートヘイス	カトラ	デノシン cap	ホスカル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	335					■	■									■									3
2	214		■			■										■									3
3	136					■	■				■														3
4	98		■			■							■												3
5	77		■			■																			2
6	63							■			■														2
7	52		■			■					■														3
8	50			■			■									■									3
9	44					■	■						■												3
10	41		■			■							■		■										4
11	35					■	■			■															3
12	34					■	■																		2
13	34			■			■				■														3
14	32					■	■							■	■										4
15	31					■	■						■		■										4
16	29							■								■									2
17	27																					■			1
18	21					■	■									■						■			4
19	20			■			■							■	■										4
20	18		■		■																				2
21	18		■	■												■									3
22	12		■		■											■									3
23	11		■			■									■										3
24	11		■			■								■											3
25	11					■	■				■											■			4
26	10		■		■								■												3
27	10		■	■							■														3
28	10					■	■								■			■							4
29	10		■			■								■	■										4
30	9		■			■				■					■										3
31	8		■	■																					2
32	8							■					■		■										3
33	8							■	■																2
34	8			■			■																		2
35	7						■		■		■														3
36	7					■	■								■										3
37	7			■			■						■												3
38	7					■	■						■		■							■			5
39	7			■			■						■		■										4
40	7					■	■		■																3
計			158207	55605	13651	318042	228871	26320	16836	14727	74300	0	67721	24399	58583	201420	6465	5565	1164	2004	592	14240	1705	856	

253組中40組のみを限定して表示した

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の試験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

表 2 - 5 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2001年4月1日～2002年3月31日

No	組合	症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤数
			レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイゾン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキハソ	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートヘイス	カトラ	デノシン cap	ホスカル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	327					■	■									■									3
2	232					■	■				■														3
3	191	■				■										■									3
4	87							■			■														2
5	87	■				■					■														3
6	65	■				■							■												3
7	62		■				■				■														3
8	59	■				■																			2
9	47		■				■									■									3
10	43					■	■						■												3
11	38					■	■			■															3
12	37					■	■						■		■										4
13	35		■				■												■						3
14	28	■				■							■		■										4
15	28					■	■												■						3
16	25							■								■									2
17	25																					■			1
18	23							■											■						2
19	23					■	■							■	■										4
20	21					■	■																		2
21	21	■	■								■														3
22	20	■	■													■									3
23	16					■	■									■									4
24	14					■	■				■											■			4
25	13	■				■				■															3
26	13					■	■															■			4
27	12		■				■							■	■										4
28	12	■				■													■						3
29	11						■				■														3
30	10	■		■																					2
31	10	■				■									■										3
32	10							■	■																2
33	10							■		■															2
34	9					■	■				■									■					4
35	9					■			■		■														3
36	9					■	■				■														4
37	8	■				■								■	■										4
38	8		■				■				■								■						4
39	8					■	■		■																3
40	8	■				■			■																3
計			163750	72879	8544	351112	261275	40837	26742	18384	144965	0	54656	18587	49671	195041	4837	5772	30885	2709	397	15150	3152	2193	

269組中40組のみを限定して表示した

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注 1：調査票に上記薬剤の試験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注 2：1日併用に関しては除外した。

表 2 - 6 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2002年4月1日～2003年3月31日

No	組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤						非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	
			レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	セリット	コンビビル	ザイジン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキパン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートベイス	カルトラ	デノシcap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステム
	1	100				■	■			■														3
	2	95				■	■			■														3
	3	93	■			■																		3
	4	46	■			■				■														3
	5	31						■		■														2
	6	22	■			■																		2
	7	21				■	■												■					3
	8	20	■			■						■												3
	9	20	■			■													■					3
	10	15		■			■			■														3
	11	14						■								■								2
	12	13		■			■												■					3
	13	12				■	■			■														3
	14	12						■											■					2
	15	11	■			■						■		■										4
	16	11	■			■				■														3
	17	10		■			■									■								3
	18	10	■	■						■														3
	19	10				■	■																	2
	20	9																			■			1
	21	7						■		■														2
	22	7																			■			1
	23	6				■	■					■												3
	24	6		■			■			■									■					4
	25	6								■									■					2
	26	5				■	■		■															3
	27	5	■		■																			2
	28	5		■						■									■					3
	29	5																	■					2
	30	5	■	■															■					3
	31	5						■	■															2
	32	5				■	■												■			■		4
	33	5																	■					1
	34	4		■		■				■														3
	35	4	■	■												■								3
	36	4				■			■															3
	37	4		■															■					2
	38	4	■	■						■									■					4
	39	4				■	■					■		■										4
	40	4					■		■															3
	41	4				■	■			■									■					4
	42	4				■	■			■												■		4
	43	4						■				■												2
	44	4		■					■										■					3
	45	4	■			■				■											■			4
	46	4																	■					1
	47	3				■	■					■		■										4
	48	3	■			■								■										3
	49	3							■		■			■		■								4
	50	3					■		■										■					3
	51	3				■										■								2
	52	3	■			■			■															3
	53	3		■		■								■			■							4

表 2 - 6 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2002年4月1日～2003年3月31日

No	組合	数 例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	
			レトロビル	グアイデックス	ハイビット	エピビル	セリット	コンビビル	ガイジン	ヒラミューン	ストックリン	レスクリプター	グリキシパン	インビラーゼ	ノービア	ヒラセプト	プロロセ	フォートベイス	カルトラ	デノシンcap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	剤数
	54	3					■			■								■						3	
	55	3				■	■														■			4	
	56	2					■											■						2	
	57	2		■			■		■															3	
	58	2		■						■								■						3	
	59	2	■			■							■	■										4	
	60	2		■			■							■	■									4	
	61	2				■		■	■															3	
	62	2						■		■						■								3	
	63	2	■		■											■								3	
	64	2	■		■							■												3	
	65	2				■	■			■													■	4	
	66	2						■																1	
	67	2	■			■				■												■		4	
	68	2						■		■												■		3	
	69	2					■																	2	
	70	2						■		■						■								3	
	71	2						■		■														3	
	72	2		■				■		■														3	
	73	2				■		■		■														4	
	74	2		■			■									■								3	
	75	2	■			■						■									■			4	
	76	2							■														■	2	
	77	2	■																					1	
	78	2	■					■															■	3	
	79	2				■	■														■			4	
	80	2		■		■								■		■						■		5	
	81	1						■		■			■											4	
	82	1						■		■													■	3	
	83	1						■	■		■													3	
	84	1				■																	■	2	
	85	1				■						■												2	
	86	1				■	■		■					■										3	
	87	1				■	■						■		■									4	
	88	1				■	■			■				■		■								5	
	89	1		■						■			■											4	
	90	1		■				■															■	3	
	91	1		■				■		■														4	
	92	1		■				■				■									■			4	
	93	1		■				■				■												4	
	94	1		■				■																4	
	95	1		■		■						■		■										4	
	96	1	■			■											■							3	
	97	1	■			■							■											3	
	98	1	■			■						■										■		4	
	99	1	■			■				■														4	
	100	1	■		■									■										4	
	101	1						■				■									■			3	
	102	1		■		■		■															■	4	
	103	1						■		■														2	
	104	1		■			■																	4	
	105	1	■	■		■										■						■		4	
	106	1					■	■								■								3	

表 2 - 6 . H I V 感染症治療薬 使用実態表

投与期間：2002年4月1日～2003年3月31日

No	組合 症例	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	剤 数
		レトビビル	ザイデックス	ハビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイジン	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキハイン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートヘイス	カレラ	デノシン cap	ホスガビル	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
160	1				■	■															■			3
161	1		■			■									■							■		4
162	1	■			■											■								3
	計	71644	27697	2745	141905	92024	19948	13595	9436	66497	0	16471	3382	11816	69190	2483	965	27618	1198	30	2218	3591	754	

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注 1：調査票に上記薬剤の治験中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注 2：1 日併用に関しては除外した。

表 3 . 組合№ 1 : エピビル + ゼリット + ストックリン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率 (%)	解析結果 (Fisher)
計		317	150	298	47.32%	
性別	男	278	132	274	47.48%	P=1.000
	女	39	18	24	46.15%	
年齢	14歳	0			-	P=0.774
	15歳 64歳	305	145	291	47.54%	
	65歳	12	5	7	41.67%	
人種	日本人	297	141	283	47.47%	P=1.000
	その他	20	9	15	45.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	93	36	60	38.71%	P=0.049 *
	有	224	114	238	50.89%	
併用療法有無	無	297	141	280	47.47%	P=1.000
	有	20	9	18	45.00%	
合併症有無	無	75	34	73	45.33%	P=0.693
	有	241	116	225	48.13%	
	不明・未記載	1			0.00%	
合併症肝障害	無	226	103	195	45.58%	P=0.319
	有	90	47	103	52.22%	
	肝炎	80	44	98	55.00%	
	不明・未記載	1			0.00%	
血友病	無	274	125	248	45.62%	P=0.100
	有	42	25	50	59.52%	
	A	34	20	40	58.82%	P=1.000
	B	8	5	10	62.50%	
	不明・未記載	1			0.00%	
既往歴有無	無	107	51	107	47.66%	P=1.000
	有	205	97	189	47.32%	
	不明・未記載	5	2	2	40.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	226	92	161	40.71%	P=0.001 **
	有	71	46	112	64.79%	
	不明・未記載	20	12	25	60.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には浮動性めまい(10.4%)、発疹(5.7%)があり、
器官分類別では、神経系障害(18.9%)、皮膚および皮下組織障害(11.7%)、
10%以上の頻度で副作用が発現していた。
詳細は次表を参照。

表4. 組合№1：エピビル＋ゼリット＋ストックリン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	36
調査症例数	317
副作用等の発現症例数	150 (47.32%)
副作用等の発現件数	298
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	8例 (2.52)
毛包炎	1 (0.32)
単純ヘルペス	1 (0.32)
带状疱疹	2 (0.63)
肛門周囲膿瘍	1 (0.32)
進行性多巣性白質脳症	1 (0.32)
ブドウ球菌性膿瘍	1 (0.32)
サイトメガロウイルス性脈絡網膜炎	1 (0.32)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびリンパ節を含む)	1例 (0.32)
顔面肉腫	1 (0.32)
血液およびリンパ系障害	6例 (1.89)
貧血	4 (1.26)
好酸球増加症	1 (0.32)
汎血球減少症	1 (0.32)
代謝および栄養障害	27例 (8.52)
糖尿病	1 (0.32)
高コレステロール血症	2 (0.63)
高血糖	1 (0.32)
高乳酸血症	10 (3.15)
高トリグリセリド血症	2 (0.63)
高尿酸血症	3 (0.95)
乳酸アシドーシス	1 (0.32)
高脂血症	11 (3.47)
精神障害	22例 (6.94)
異常な夢	5 (1.58)
無感情	1 (0.32)
うつ病	2 (0.63)
不眠症	7 (2.21)
易刺激性	1 (0.32)
悪夢	4 (1.26)
睡眠障害	4 (1.26)
心身症	1 (0.32)
神経系障害	60例 (18.93)
脳梗塞	1 (0.32)
痙攣	1 (0.32)
注意力障害	2 (0.63)
浮動性めまい	33 (10.41)
味覚異常	4 (1.26)
頭痛	1 (0.32)
感覚減退	14 (4.42)
神経系障害	3 (0.95)
末梢性ニューロパシー	6 (1.89)
傾眠	4 (1.26)
会話障害	1 (0.32)
耳および迷路障害	3例 (0.95)
耳鳴	1 (0.32)
回転性眩暈	2 (0.63)
心臓障害	2例 (0.63)
動悸	1 (0.32)
頻脈	1 (0.32)
血管障害	1例 (0.32)
高血圧	1 (0.32)
胃腸障害	12例 (3.79)
下痢	1 (0.32)
出血性十二指腸潰瘍	1 (0.32)
消化不良	2 (0.63)
胃炎	1 (0.32)
悪心	4 (1.26)
急性膵炎	1 (0.32)
出血性膵炎	1 (0.32)
肛門周囲痛	1 (0.32)
逆流性食道炎	1 (0.32)
肝胆道系障害	19例 (5.99)
胆石症	1 (0.32)
肝機能異常	9 (2.84)
脂肪肝	2 (0.63)
肝炎	1 (0.32)
肝細胞障害	6 (1.89)
肝障害	2 (0.63)

皮膚および皮下組織障害	37例 (11.67)
脱毛症	1 (0.32)
薬剤性皮膚炎	8 (2.52)
紅斑	1 (0.32)
脂肪萎縮症	1 (0.32)
皮下出血	1 (0.32)
脂肪組織萎縮症	1 (0.32)
そう痒症	1 (0.32)
発疹	18 (5.68)
全身性皮疹	1 (0.32)
後天性リンパ管炎	4 (1.26)
筋骨格系および結合組織障害	3例 (0.95)
筋痛	2 (0.63)
四肢痛	1 (0.32)
腎および尿路障害	1例 (0.32)
腎機能障害	1 (0.32)
生殖系および乳房障害	1例 (0.32)
女性化乳房	1 (0.32)
先天性、家族性および遺伝性障害	1例 (0.32)
色盲	1 (0.32)
全身障害および投与局所状態	12例 (3.79)
無力症	1 (0.32)
死亡	1 (0.32)
異常感	1 (0.32)
酩酊感	1 (0.32)
熱感	1 (0.32)
倦怠感	2 (0.63)
末梢性浮腫	1 (0.32)
発熱	5 (1.58)
臨床検査	30例 (9.46)
アラニン・アミノトランスフェラーゼ増加	3 (0.95)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	3 (0.95)
血中アミラーゼ増加	3 (0.95)
血中コレステロール増加	9 (2.84)
血中ブドウ糖増加	2 (0.63)
血中乳酸脱水素酵素増加	7 (2.21)
血中乳酸増加	2 (0.63)
血中トリグリセリド増加	8 (2.52)
血中尿酸増加	5 (1.58)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	11 (3.47)
血小板数減少	1 (0.32)
赤血球数減少	1 (0.32)
体重減少	1 (0.32)
血小板数増加	1 (0.32)
血中アルカリホスファターゼ増加	2 (0.63)
免疫学的検査正常	1 (0.32)
外科および内科処置	1例 (0.32)
脱毛術	1 (0.32)

表5． 組合№2：エピビル＋ゼリット＋ピラセプト

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		623	287	604	46.07%	(Fisher)
性別	男	531	254	537	47.83%	P=0.041 *
	女	92	33	67	35.87%	
年齢	14歳	5	1	2	20.00%	P=0.585
	15歳 64歳	601	278	592	46.26%	
	65歳	17	8	10	47.06%	
人種	日本人	564	268	564	47.52%	P=0.028 *
	その他	59	19	40	32.20%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	117	35	64	29.91%	P=0.000 **
	有	506	252	540	49.80%	
併用療法有無	無	582	261	558	44.85%	P=0.023 *
	有	41	26	46	63.41%	
合併症有無	無	145	72	137	49.66%	P=0.342
	有	478	215	467	44.98%	
合併症肝障害	無	381	176	359	46.19%	P=1.000
	有	242	111	245	45.87%	
	肝炎	220	99	223	45.00%	
血友病	無	450	211	434	46.89%	P=0.531
	有	173	76	170	43.93%	
	A	135	67	157	49.63%	P=0.005 **
	B	38	9	13	23.68%	
既往歴有無	無	252	111	239	44.05%	P=0.366
	有	364	175	363	48.08%	
	不明・未記載	7	1	2	14.29%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	477	211	456	44.23%	P=0.078
	有	134	71	138	52.99%	
	不明・未記載	12	5	10	41.67%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高脂血症(6.9%)、下痢(16.4%)があり、
 器官分類別では、代謝および栄養障害(14.1%)、胃腸障害(19.6%)、臨床検査(12.8%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表6. 組合№2：エピビル＋ゼリット＋ピラセプト

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	98
調査症例数	623
副作用等の発現症例数	287 (46.07%)
副作用等の発現件数	604
副作用等の種類	
例数(%)	
感染症および寄生虫症	11例 (1.77)
非定型マイコプラズマ性リンパ節炎	1 (0.16)
サイトメガウイルス感染	1 (0.16)
播種性結核	1 (0.16)
毛包炎	1 (0.16)
C型肝炎	1 (0.16)
带状疱疹	2 (0.32)
ニューモシスティカニ感染	1 (0.16)
結核性胸膜炎	1 (0.16)
サイトメガウイルス性脈絡網膜炎	1 (0.16)
HIV消耗症候群	1 (0.16)
梅毒	1 (0.16)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびリンパ節を含む)	3例 (0.48)
カボシ肉腫	1 (0.16)
脂肪腫	1 (0.16)
リンパ腫	1 (0.16)
血液およびリンパ系障害	19例 (3.05)
貧血	6 (0.96)
大球性貧血	1 (0.16)
出血傾向	6 (0.96)
骨髄抑制	1 (0.16)
白血球減少症	1 (0.16)
リンパ球増加症	5 (0.80)
好中球減少症	6 (0.96)
代謝および栄養障害	88例 (14.13)
食欲不振	2 (0.32)
糖尿病	7 (1.12)
高コレステロール血症	9 (1.44)
高血糖	3 (0.48)
高乳酸血症	3 (0.48)
高トリグリセリド血症	22 (3.53)
高尿酸血症	7 (1.12)
乳酸アシドーシス	1 (0.16)
体脂肪異常	1 (0.16)
顔のやせ	2 (0.32)
食欲減退	1 (0.16)
高脂血症	43 (6.90)
精神障害	2例 (0.32)
易刺激性	1 (0.16)
ディスメミア	1 (0.16)
神経系障害	28例 (4.49)
浮動性めまい	2 (0.32)
体位性めまい	1 (0.16)
味覚異常	4 (0.64)
頭痛	2 (0.32)
知覚過敏	1 (0.16)
感覚減退	13 (2.09)
神経痛	1 (0.16)
末梢性ニューロパシー	6 (0.96)
眼振	1 (0.16)
錯感覚	1 (0.16)
失神	1 (0.16)
振戦	1 (0.16)
眼障害	4例 (0.64)
結膜出血	1 (0.16)
網膜出血	2 (0.32)
眼球乾燥	1 (0.16)
心臓障害	3例 (0.48)
急性心筋梗塞	1 (0.16)
不整脈	1 (0.16)
動悸	1 (0.16)
血管障害	1例 (0.16)
高血圧	1 (0.16)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	3例 (0.48)
咳嗽	1 (0.16)
呼吸困難	1 (0.16)
鼻出血	1 (0.16)

胃腸障害	122例 (19.58)
腹部膨満	1 (0.16)
腹痛	2 (0.32)
上腹部痛	3 (0.48)
下痢	102 (16.37)
消化不良	1 (0.16)
鼓腸	1 (0.16)
胃腸障害	1 (0.16)
消化器不調	1 (0.16)
軟便	6 (0.96)
悪心	9 (1.44)
口腔内不快感	1 (0.16)
急性肺炎	1 (0.16)
逆流性食道炎	1 (0.16)
レック	3 (0.48)
胃不快感	1 (0.16)
口内炎	1 (0.16)
歯痛	1 (0.16)
嘔吐	1 (0.16)
胃障害	1 (0.16)
肝胆道系障害	35例 (5.62)
胆石症	1 (0.16)
肝機能異常	21 (3.37)
脂肪肝	2 (0.32)
肝炎	2 (0.32)
肝細胞障害	9 (1.44)
黄疸	1 (0.16)
肝障害	5 (0.80)
皮膚および皮下組織障害	60例 (9.63)
円形脱毛症	1 (0.16)
薬剤性皮膚炎	10 (1.61)
紅斑	4 (0.64)
皮下出血	1 (0.16)
脂肪組織萎縮症	1 (0.16)
そう痒症	2 (0.32)
発疹	31 (4.98)
蕁麻疹	1 (0.16)
乾皮症	1 (0.16)
後天性リンパ管炎	14 (2.25)
筋骨格系および結合組織障害	8例 (1.28)
関節痛	2 (0.32)
側腹部痛	1 (0.16)
出血性関節症	3 (0.48)
筋痛	2 (0.32)
腎および尿路障害	6例 (0.96)
血尿	2 (0.32)
蛋白尿	2 (0.32)
腎障害	1 (0.16)
急性腎不全	1 (0.16)
腎機能障害	1 (0.16)
生殖系および乳房障害	4例 (0.64)
乳房痛	1 (0.16)
女性化乳房	3 (0.48)
月経過多	1 (0.16)
全身障害および投与局所様態	11例 (1.77)
倦怠感	3 (0.48)
末梢性浮腫	1 (0.16)
発熱	7 (1.12)

表6． 組合№2：エピビル＋ゼリット＋ビラセプト

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	98
調査症例数	623
副作用等の発現症例数	287 (46.07%)
副作用等の発現件数	604
副作用等の種類	
例数(%)	
臨床検査	80例 (12.84)
アミノ・アミトランスフェラーゼ 増加	8 (1.28)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ 増加	7 (1.12)
血中アミラーゼ 増加	3 (0.48)
血中コレステロール増加	11 (1.77)
血中クレアチニン増加	2 (0.32)
血中ブドウ糖増加	4 (0.64)
血中乳酸脱水素酵素増加	8 (1.28)
血中乳酸増加	1 (0.16)
血中トリグリセリド 増加	31 (4.98)
血中尿酸増加	8 (1.28)
C-反応性蛋白増加	1 (0.16)
好酸球数増加	3 (0.48)
γ-グロブリン増加	11 (1.77)
尿中ブドウ糖陽性	3 (0.48)
グリコヘモグロビン増加	1 (0.16)
尿中血陽性	1 (0.16)
脂質増加	3 (0.48)
肝機能検査値異常	5 (0.80)
リンパ球数増加	5 (0.80)
好中球数減少	2 (0.32)
血小板数減少	3 (0.48)
尿蛋白	1 (0.16)
体重減少	2 (0.32)
白血球数減少	3 (0.48)
尿潜血陽性	1 (0.16)
尿中蛋白陽性	1 (0.16)
血中アルカリホスファターゼ 増加	3 (0.48)
肝酵素上昇	1 (0.16)
尿沈渣異常	2 (0.32)
傷害、中毒および処置合併症	1例 (0.16)
皮下血腫	1 (0.16)
外科および内科処置	3例 (0.48)
脱毛術	3 (0.48)

表7. 組合№3：レトロビル+エピビル+ピラセプト

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		509	233	402	45.78%	
性別	男	446	206	368	46.19%	P=0.686
	女	63	27	34	42.86%	
年齢	14歳	3	1	1	33.33%	P=0.478
	15歳 64歳	491	223	386	45.42%	
	65歳	15	9	15	60.00%	
人種	日本人	465	214	370	46.02%	P=0.754
	その他	44	19	32	43.18%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	152	54	86	35.53%	P=0.003 **
	有	357	179	316	50.14%	
併用療法有無	無	489	223	379	45.60%	P=0.820
	有	20	10	23	50.00%	
合併症有無	無	182	75	122	41.21%	P=0.138
	有	327	158	280	48.32%	
合併症肝障害	無	381	174	286	45.67%	P=1.000
	有	128	59	116	46.09%	
	肝炎	114	51	99	44.74%	
血友病	無	417	192	327	46.04%	P=0.818
	有	92	41	75	44.57%	
	A	72	31	63	43.06%	P=0.798
	B	19	9	10	47.37%	
	不明・未記載	1	1	2	100.00%	
既往歴有無	無	264	116	195	43.94%	P=0.472
	有	236	112	198	47.46%	
	不明・未記載	9	5	9	55.56%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	396	174	304	43.94%	P=0.101
	有	107	57	95	53.27%	
	不明・未記載	6	2	3	33.33%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には下痢(20.0%)、発疹(6.7%)があり、
 器官分類別では、胃腸障害(24.0%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表8. 組合№3：レトロビル+エピビル+ピラセプト

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	104
調査症例数	509
副作用等の発現症例数	233 (45.78%)
副作用等の発現件数	402
副作用等の種類	
例数(%)	
感染症および寄生虫症	1例 (0.20)
B型肝炎	1 (0.20)
血液およびリンパ系障害	38例 (7.47)
貧血	25 (4.91)
大球性貧血	3 (0.59)
出血傾向	1 (0.20)
骨髄抑制	1 (0.20)
顆粒球減少症	2 (0.39)
溶血性貧血	1 (0.20)
白血球減少症	2 (0.39)
リンパ球減少症	1 (0.20)
好中球減少症	1 (0.20)
汎血球減少症	3 (0.59)
血小板減少症	1 (0.20)
代謝および栄養障害	46例 (9.04)
アルコール不耐性	1 (0.20)
食欲不振	3 (0.59)
耐糖能障害	1 (0.20)
高コレステロール血症	6 (1.18)
高トリグリセリド血症	16 (3.14)
高尿酸血症	8 (1.57)
肥満	1 (0.20)
食欲減退	1 (0.20)
高脂血症	15 (2.95)
精神障害	2例 (0.39)
不眠症	2 (0.39)
神経系障害	14例 (2.75)
味覚消失	1 (0.20)
浮動性めまい	2 (0.39)
味覚異常	2 (0.39)
頭痛	4 (0.79)
感覚減退	1 (0.20)
末梢性ニューロパシー	2 (0.39)
麻痺	1 (0.20)
傾眠	1 (0.20)
眼障害	1例 (0.20)
眼瞼痙攣	1 (0.20)
心臓障害	2例 (0.39)
急性心筋梗塞	1 (0.20)
心筋梗塞	1 (0.20)
心筋虚血	1 (0.20)
血管障害	2例 (0.39)
高血圧	1 (0.20)
血栓性静脈炎	1 (0.20)
胃腸障害	122例 (23.97)
腹部不快感	1 (0.20)
腹部膨満	1 (0.20)
腹痛	1 (0.20)
上腹部痛	3 (0.59)
便秘	1 (0.20)
下痢	102 (20.04)
消化不良	2 (0.39)
鼓腸	1 (0.20)
胃炎	4 (0.79)
歯肉痛	1 (0.20)
吐血	1 (0.20)
軟便	2 (0.39)
ムネ	1 (0.20)
悪心	11 (2.16)
レッキング	5 (0.98)
胃不快感	3 (0.59)
口内炎	2 (0.39)
水様便	2 (0.39)
嘔吐	5 (0.98)
肝胆道系障害	21例 (4.13)
肝機能異常	10 (1.96)
肝炎	1 (0.20)
肝細胞障害	7 (1.38)
高ビリルビン血症	1 (0.20)
肝障害	4 (0.79)

皮膚および皮下組織障害	48例 (9.43)
薬剤性皮膚炎	6 (1.18)
皮下出血	1 (0.20)
ヘルペス・シアン紫斑病	1 (0.20)
爪の障害	1 (0.20)
そう痒症	1 (0.20)
発疹	34 (6.68)
蕁麻疹	3 (0.59)
後天性免疫不全症候群	3 (0.59)
筋骨格系および結合組織障害	2例 (0.39)
背部痛	1 (0.20)
出血性関節症	1 (0.20)
腎および尿路障害	2例 (0.39)
血尿	1 (0.20)
腎症	1 (0.20)
ネフローゼ症候群	1 (0.20)
妊娠、産褥および周産期の状態	2例 (0.39)
自然流産	1 (0.20)
子宮内胎児死亡	1 (0.20)
全身障害および投与局所様態	6例 (1.18)
倦怠感	1 (0.20)
発熱	5 (0.98)
臨床検査	35例 (6.88)
アラニン・アミトランスフェラーゼ増加	3 (0.59)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ増加	2 (0.39)
血中コレステロール増加	1 (0.20)
血中乳酸脱水素酵素増加	3 (0.59)
血中トリグリセリド増加	7 (1.38)
血中尿酸増加	1 (0.20)
好酸球数増加	1 (0.20)
γ-グロブリン・アミトランスフェラーゼ増加	1 (0.20)
顆粒球数減少	2 (0.39)
尿中血陽性	1 (0.20)
ヘモグロビン減少	1 (0.20)
平均赤血球容積増加	1 (0.20)
好中球数減少	7 (1.38)
血小板数減少	1 (0.20)
赤血球数減少	3 (0.59)
白血球数減少	9 (1.77)
尿潜血陽性	1 (0.20)
酵素増加	1 (0.20)
尿沈渣異常	1 (0.20)
外科および内科処置	4例 (0.79)
脱毛術	4 (0.79)

表9． 組合№4：レトロビル+エピビル+ストックリン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		125	50	81	40.00%	
性別	男	110	42	68	38.18%	P=0.276
	女	15	8	13	53.33%	
年齢	14歳	0			-	P=1.000
	15歳 64歳	121	48	79	39.67%	
	65歳	4	2	2	50.00%	
人種	日本人	117	46	75	39.32%	P=0.712
	その他	8	4	6	50.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	41	14	21	34.15%	P=0.437
	有	84	36	60	42.86%	
併用療法有無	無	122	50	81	40.98%	P=0.274
	有	3			0.00%	
合併症有無	無	53	20	30	37.74%	P=0.714
	有	72	30	51	41.67%	
合併症肝障害	無	97	35	53	36.08%	P=0.126
	有	28	15	28	53.57%	
	肝炎	26	14	26	53.85%	
血友病	無	112	45	69	40.18%	P=1.000
	有	13	5	12	38.46%	
	A	12	4	9	33.33%	P=0.385
	B	1	1	3	100.00%	
既往歴有無	無	45	23	38	51.11%	P=0.036 *
	有	76	24	40	31.58%	
	不明・未記載	4	3	3	75.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	91	34	55	37.36%	P=0.666
	有	30	13	20	43.33%	
	不明・未記載	4	3	6	75.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には浮動性めまい(8.8%)、発疹(6.4%)があり、
器官分類別では、神経系障害(11.2%)、皮膚および皮下組織障害(14.4%)において、
10%以上の頻度で副作用が発現していた。
詳細は次表を参照。

表10. 組合№4：レトロビル+エピビル+ストックリン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	31
調査症例数	125
副作用等の発現症例数	50 (40.00%)
副作用等の発現件数	81
副作用等の種類	
血液およびリンパ系障害	8例 (6.40)
貧血	4 (3.20)
大球性貧血	1 (0.80)
赤血球減少症	1 (0.80)
顆粒球減少症	1 (0.80)
好中球減少症	1 (0.80)
代謝および栄養障害	5例 (4.00)
高コレステロール血症	1 (0.80)
高尿酸血症	1 (0.80)
体脂肪異常	1 (0.80)
高脂血症	4 (3.20)
精神障害	9例 (7.20)
異常な夢	1 (0.80)
抑うつ気分	1 (0.80)
うつ病	1 (0.80)
不眠症	3 (2.40)
易刺激性	1 (0.80)
悪夢	4 (3.20)
神経系障害	14例 (11.20)
浮動性めまい	11 (8.80)
味覚異常	1 (0.80)
頭痛	2 (1.60)
感覚減退	1 (0.80)
傾眠	1 (0.80)
耳および迷路障害	1例 (0.80)
回転性眩暈	1 (0.80)
胃腸障害	6例 (4.80)
下痢	1 (0.80)
胃腸障害	1 (0.80)
悪心	4 (3.20)
口内炎	1 (0.80)
肝胆道系障害	4例 (3.20)
肝機能異常	4 (3.20)
皮膚および皮下組織障害	18例 (14.40)
脱毛症	1 (0.80)
薬剤性皮膚炎	6 (4.80)
湿疹	1 (0.80)
発疹	8 (6.40)
そう痒症	1 (0.80)
後天性リポソマトフィア	1 (0.80)
腎および尿路障害	1例 (0.80)
腎機能障害	1 (0.80)
全身障害および投与局所様態	2例 (1.60)
胸痛	1 (0.80)
異常感	1 (0.80)
臨床検査	5例 (4.00)
アラニン・アミトランスフェラーゼ増加	1 (0.80)
血中トリグリセリド増加	1 (0.80)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	1 (0.80)
ヘモグロビン減少	1 (0.80)
白血球数減少	1 (0.80)
傷害、中毒および処置合併症	1例 (0.80)
腰椎骨折	1 (0.80)

表11. 組合№5：コンビビル+ストックリン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		121	50	86	41.32%	
性別	男	114	47	80	41.23%	P=1.000
	女	7	3	6	42.86%	
年齢	14歳	0			-	P=0.413
	15歳 64歳	120	49	84	40.83%	
	65歳	1	1	2	100.00%	
人種	日本人	109	47	80	43.12%	P=0.355
	その他	12	3	6	25.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	53	23	36	43.40%	P=0.713
	有	68	27	50	39.71%	
併用療法有無	無	115	48	84	41.74%	P=1.000
	有	6	2	2	33.33%	
合併症有無	無	59	22	40	37.29%	P=0.461
	有	62	28	46	45.16%	
合併症肝障害	無	95	37	63	38.95%	P=0.371
	有	26	13	23	50.00%	
	肝炎	21	9	15	42.86%	
血友病	無	116	49	83	42.24%	P=0.403
	有	5	1	3	20.00%	
	A	4	1	3	25.00%	P=1.000
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	56	26	45	46.43%	P=0.457
	有	62	24	41	38.71%	
	不明・未記載	3			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	80	32	59	40.00%	P=0.531
	有	32	15	24	46.88%	
	不明・未記載	9	3	3	33.33%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には貧血(7.4%)、浮動性めまい(13.2%)があり、
 器官分類別では、神経系障害(14.9%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表12. 組合№5：コンビビル+ストックリン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	19
調査症例数	121
副作用等の発現症例数	50 (41.32%)
副作用等の発現件数	86
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	2例 (1.65)
帯状疱疹	1 (0.83)
結核性胸膜炎	1 (0.83)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびホリフを含む)	1例 (0.83)
カボシ肉腫	1 (0.83)
血液およびリンパ系障害	10例 (8.26)
貧血	9 (7.44)
鉄欠乏性貧血	1 (0.83)
免疫系障害	1例 (0.83)
過敏症	1 (0.83)
代謝および栄養障害	2例 (1.65)
食欲不振	1 (0.83)
高コレステロール血症	1 (0.83)
精神障害	4例 (3.31)
異常な夢	2 (1.65)
不眠症	1 (0.83)
神経症	1 (0.83)
神経系障害	18例 (14.88)
注意力障害	1 (0.83)
浮動性めまい	16 (13.22)
味覚異常	1 (0.83)
頭痛	2 (1.65)
傾眠	1 (0.83)
耳および迷路障害	1例 (0.83)
回転性眩暈	1 (0.83)
心臓障害	1例 (0.83)
狭心症	1 (0.83)
胃腸障害	11例 (9.09)
腹部膨満	2 (1.65)
便秘	1 (0.83)
下痢	1 (0.83)
消化不良	2 (1.65)
吐血	1 (0.83)
悪心	5 (4.13)
胃不快感	1 (0.83)
肝胆道系障害	3例 (2.48)
肝機能異常	2 (1.65)
脂肪肝	1 (0.83)
皮膚および皮下組織障害	10例 (8.26)
薬剤性皮膚炎	2 (1.65)
湿疹	1 (0.83)
発疹	5 (4.13)
後天性リポシトロフィー	1 (0.83)
全身性そう痒症	1 (0.83)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (0.83)
筋痛	1 (0.83)
全身障害および投与局所様態	3例 (2.48)
熱感	1 (0.83)
倦怠感	1 (0.83)
末梢性浮腫	1 (0.83)
臨床検査	10例 (8.26)
アラニン・アミノトランスフェラーゼ増加	1 (0.83)
血便	1 (0.83)
血中乳酸脱水素酵素増加	2 (1.65)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	2 (1.65)
ヘモグロビン減少	2 (1.65)
赤血球数減少	1 (0.83)
白血球数減少	2 (1.65)
血中アルカリホスファターゼ増加	2 (1.65)

表13. 組合№6：レトロビル+エピビル

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		691	116	173	16.79%	
性別	男	609	104	159	17.08%	P=0.640
	女	82	12	14	14.63%	
年齢	14歳	11	1	1	9.09%	P=0.754
	15歳 64歳	667	114	168	17.09%	
	65歳	13	1	4	7.69%	
人種	日本人	634	107	162	16.88%	P=1.000
	その他	57	9	11	15.79%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	249	33	39	13.25%	P=0.071
	有	442	83	134	18.78%	
併用療法有無	無	672	105	156	15.63%	P=0.000 **
	有	19	11	17	57.89%	
合併症有無	無	203	29	35	14.29%	P=0.266
	有	487	87	138	17.86%	
	不明・未記載	1			0.00%	
合併症肝障害	無	425	70	97	16.47%	P=0.755
	有	265	46	76	17.36%	
	肝炎	232	37	63	15.95%	
	不明・未記載	1			0.00%	
血友病	無	461	82	113	17.79%	P=0.387
	有	229	34	60	14.85%	
	A	176	28	47	15.91%	P=0.512
	B	53	6	13	11.32%	
	不明・未記載	1			0.00%	
既往歴有無	無	394	60	90	15.23%	P=0.181
	有	291	56	83	19.24%	
	不明・未記載	6			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	555	98	138	17.66%	P=0.363
	有	130	18	35	13.85%	
	不明・未記載	6			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

詳細は次表を参照。

表14. 組合№6：レトロビル+エピビル

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	162
調査症例数	691
副作用等の発現症例数	116 (16.79%)
副作用等の発現件数	173
副作用等の種類	
例数(%)	
感染症および寄生虫症	1例 (0.14)
無菌性髄膜炎	1 (0.14)
血液およびリンパ系障害	40例 (5.79)
貧血	29 (4.20)
大球性貧血	2 (0.29)
骨髄抑制	2 (0.29)
溶血性貧血	1 (0.14)
白血球減少症	2 (0.29)
リンパ節症	1 (0.14)
汎血球減少症	4 (0.58)
代謝および栄養障害	6例 (0.87)
食欲不振	1 (0.14)
高コレステロール血症	1 (0.14)
高トリグリセリド血症	1 (0.14)
食欲減退	2 (0.29)
高脂血症	1 (0.14)
精神障害	3例 (0.43)
うつ病	1 (0.14)
錯覚	1 (0.14)
不眠症	1 (0.14)
神経系障害	13例 (1.88)
脳出血	1 (0.14)
意識レベルの低下	1 (0.14)
味覚異常	2 (0.29)
頭痛	7 (1.01)
末梢性ニューロパシー	3 (0.43)
眼障害	2例 (0.29)
結膜炎	1 (0.14)
眼痛	1 (0.14)
呼吸器・胸郭および縦隔障害	1例 (0.14)
肺高血圧症	1 (0.14)
胃腸障害	32例 (4.63)
腹部膨満	1 (0.14)
腹痛	1 (0.14)
上腹部痛	3 (0.43)
アフタ性口内炎	1 (0.14)
便秘	1 (0.14)
下痢	4 (0.58)
消化不良	1 (0.14)
胃潰瘍	1 (0.14)
胃炎	3 (0.43)
悪心	21 (3.04)
胃不快感	3 (0.43)
口内炎	1 (0.14)
嘔吐	2 (0.29)
肝胆道系障害	7例 (1.01)
肝機能異常	2 (0.29)
肝細胞障害	4 (0.58)
高ビリルビン血症	1 (0.14)
皮膚および皮下組織障害	5例 (0.72)
脱毛症	1 (0.14)
発疹	2 (0.29)
紅斑性皮疹	1 (0.14)
後天性リポシストロフィー	1 (0.14)
筋骨格系および結合組織障害	2例 (0.29)
出血性関節症	1 (0.14)
筋炎	1 (0.14)
腎および尿路障害	1例 (0.14)
蛋白尿	1 (0.14)
全身障害および投与局所様態	6例 (0.87)
死亡	1 (0.14)
倦怠感	2 (0.29)
発熱	2 (0.29)
口渇	1 (0.14)

臨床検査	30例 (4.34)
アラニン・アミトランスフェラーゼ増加	2 (0.29)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ増加	3 (0.43)
血中アミラーゼ増加	1 (0.14)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	1 (0.14)
血中乳酸脱水素酵素増加	2 (0.29)
血中トリグリセリド増加	1 (0.14)
眼底検査異常	1 (0.14)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	1 (0.14)
ヘモグロビン減少	3 (0.43)
肝機能検査値異常	1 (0.14)
平均赤血球容積増加	1 (0.14)
好中球数減少	2 (0.29)
血小板数減少	3 (0.43)
赤血球数減少	4 (0.58)
白血球数減少	12 (1.74)
外科および内科処置	3例 (0.43)
脱毛術	3 (0.43)

表15. 組合№7：エピビル＋ゼリット＋カレトラ

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		42	9	12	21.43%	
性別	男	40	9	12	22.50%	P=1.000
	女	2			0.00%	
年齢	14歳	0			-	P=0.111
	15歳 64歳	39	7	9	17.95%	
	65歳	3	2	3	66.67%	
人種	日本人	41	8	11	19.51%	P=0.214
	その他	1	1	1	100.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	6	1	1	16.67%	P=1.000
	有	36	8	11	22.22%	
併用療法有無	無	38	8	11	21.05%	P=1.000
	有	4	1	1	25.00%	
合併症有無	無	7	3	3	42.86%	P=0.155
	有	35	6	9	17.14%	
合併症肝障害	無	29	8	11	27.59%	P=0.232
	有	13	1	1	7.69%	
	肝炎	12	1	1	8.33%	
血友病	無	33	9	12	27.27%	P=0.166
	有	9			0.00%	
	A	8			0.00%	-
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	18	4	4	22.22%	P=1.000
	有	22	5	8	22.73%	
	不明・未記載	2			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	24	4	4	16.67%	P=0.664
	有	12	3	5	25.00%	
	不明・未記載	6	2	3	33.33%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

詳細は次表を参照。

表16. 組合№7：エピビル＋ゼリット＋カレトラ

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	20
調査症例数	42
副作用等の発現症例数	9 (21.43%)
副作用等の発現件数	12
副作用等の種類	
代謝および栄養障害	3例 (7.14)
高尿酸血症	1 (2.38)
高脂血症	2 (4.76)
神経系障害	2例 (4.76)
頭痛	1 (2.38)
感覚減退	1 (2.38)
心臓障害	1例 (2.38)
不整脈	1 (2.38)
胃腸障害	3例 (7.14)
下痢	1 (2.38)
軟便	2 (4.76)
肝胆道系障害	1例 (2.38)
肝機能異常	1 (2.38)
臨床検査	2例 (4.76)
血中乳酸増加	1 (2.38)
胸部X線異常	1 (2.38)

表17. 組合№8：レトロビル+エピビル+クリキシバン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		608	311	666	51.15%	(Fisher)
性別	男	532	281	602	52.82%	P=0.037 *
	女	76	30	64	39.47%	
年齢	14歳	1			0.00%	P=0.252
	15歳 64歳	598	308	662	51.51%	
	65歳	9	3	4	33.33%	
人種	日本人	542	286	621	52.77%	P=0.026 *
	その他	66	25	45	37.88%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	183	83	164	45.36%	P=0.064
	有	425	228	502	53.65%	
併用療法有無	無	562	283	599	50.36%	P=0.219
	有	46	28	67	60.87%	
合併症有無	無	194	98	217	50.52%	P=0.862
	有	413	212	448	51.33%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
合併症肝障害	無	440	212	437	48.18%	P=0.023 *
	有	167	98	228	58.68%	
	肝炎	139	81	197	58.27%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
血友病	無	489	246	512	50.31%	P=0.473
	有	118	64	153	54.24%	
	A	84	46	118	54.76%	P=1.000
	B	34	18	35	52.94%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
既往歴有無	無	318	149	274	46.86%	P=0.028 *
	有	287	161	389	56.10%	
	不明・未記載	3	1	3	33.33%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	481	246	495	51.14%	P=0.919
	有	121	63	167	52.07%	
	不明・未記載	6	2	4	33.33%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には貧血(7.4%)、悪心(8.2%)があり、
 器官分類別では、血液およびリンパ系障害(10.0%)、胃腸障害(15.8%)、腎および尿路障害(14.8%)、
 臨床検査(16.0%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表18. 組合№8：レトロビル+エピビル+クリキシバン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	172
調査症例数	608
副作用等の発現症例数	311 (51.15%)
副作用等の発現件数	666
副作用等の種類	
例数(%)	
感染症および寄生虫症	9例 (1.48)
単純ヘルペス	1 (0.16)
带状疱疹	1 (0.16)
ニューモシスティス感染	1 (0.16)
肺炎	2 (0.33)
腎盂腎炎	1 (0.16)
敗血症	1 (0.16)
尿路感染	2 (0.33)
血液およびリンパ系障害	61例 (10.03)
貧血	45 (7.40)
大球性貧血	3 (0.49)
赤芽球癆	1 (0.16)
出血傾向	2 (0.33)
骨髄抑制	3 (0.49)
好酸球増加症	1 (0.16)
溶血	1 (0.16)
リンパ節症	2 (0.33)
好中球減少症	1 (0.16)
汎血球減少症	2 (0.33)
内分泌障害	1例 (0.16)
甲状腺機能亢進症	1 (0.16)
代謝および栄養障害	38例 (6.25)
食欲不振	5 (0.82)
糖尿病	2 (0.33)
高コレステロール血症	4 (0.66)
高血糖	2 (0.33)
高トリグリセリド血症	3 (0.49)
高尿酸血症	7 (1.15)
低コレステロール血症	1 (0.16)
低カルウム血症	1 (0.16)
肥満	1 (0.16)
脂肪腫症	1 (0.16)
食欲減退	8 (1.32)
高脂血症	6 (0.99)
やせ	1 (0.16)
精神障害	3例 (0.49)
活動性低下	1 (0.16)
うつ病	1 (0.16)
不眠症	1 (0.16)
神経系障害	29例 (4.77)
痙攣	2 (0.33)
注意力障害	1 (0.16)
浮動性めまい	2 (0.33)
味覚異常	14 (2.30)
頭痛	10 (1.64)
感覚減退	4 (0.66)
記憶障害	1 (0.16)
振戦	1 (0.16)
眼障害	2例 (0.33)
流涙増加	1 (0.16)
羞明	1 (0.16)
耳および迷路障害	1例 (0.16)
聴覚障害	1 (0.16)
血管障害	1例 (0.16)
高血圧	1 (0.16)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	4例 (0.66)
咳嗽	2 (0.33)
呼吸困難	1 (0.16)
労作性呼吸困難	1 (0.16)

胃腸障害	96例 (15.79)
腹部不快感	1 (0.16)
腹部膨満	2 (0.33)
腹痛	7 (1.15)
下腹部痛	1 (0.16)
上腹部痛	3 (0.49)
腹水	1 (0.16)
口唇炎	1 (0.16)
下痢	20 (3.29)
口内乾燥	2 (0.33)
十二指腸炎	1 (0.16)
胃炎	3 (0.49)
胃腸障害	1 (0.16)
消化器不調	1 (0.16)
歯肉出血	1 (0.16)
裂孔ヘルニア	1 (0.16)
口唇乾燥	6 (0.99)
口腔内出血	1 (0.16)
悪心	50 (8.22)
口腔内不快感	2 (0.33)
肺炎	1 (0.16)
レッチング	12 (1.97)
胃不快感	2 (0.33)
口内炎	2 (0.33)
嘔吐	21 (3.45)
口唇のひび割れ	2 (0.33)
直腸しぶり	1 (0.16)
肝胆道系障害	32例 (5.26)
肝機能異常	6 (0.99)
急性肝炎	1 (0.16)
肝細胞障害	3 (0.49)
高ビリルビン血症	18 (2.96)
黄疸	4 (0.66)
肝障害	1 (0.16)
皮膚および皮下組織障害	29例 (4.77)
薬剤性皮膚炎	1 (0.16)
皮膚乾燥	6 (0.99)
湿疹	1 (0.16)
皮脂欠乏性湿疹	1 (0.16)
多汗症	1 (0.16)
嵌入爪	2 (0.33)
そう痒症	2 (0.33)
発疹	8 (1.32)
蕁麻疹	2 (0.33)
後天性リポシトローフィー	5 (0.82)
色素沈着障害	2 (0.33)
筋骨格系および結合組織障害	27例 (4.44)
関節痛	3 (0.49)
背部痛	15 (2.47)
胸壁痛	1 (0.16)
側腹部痛	3 (0.49)
出血性関節症	1 (0.16)
関節腫脹	1 (0.16)
筋肉内出血	2 (0.33)
筋痛	2 (0.33)
頸部痛	1 (0.16)

表18. 組合№8：レトロビル+エピビル+クリキシバン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	172
調査症例数	608
副作用等の発現症例数	311 (51.15%)
副作用等の発現件数	666
副作用等の種類	
例数(%)	
腎および尿路障害	90例 (14.80)
尿管結石	27 (4.44)
尿路結石	8 (1.32)
排尿困難	1 (0.16)
血尿	24 (3.95)
水腎症	2 (0.33)
腎炎	1 (0.16)
腎結石症	20 (3.29)
蛋白尿	3 (0.49)
膿尿	10 (1.64)
腎障害	3 (0.49)
尿道痛	1 (0.16)
腎機能障害	7 (1.15)
生殖系および乳房障害	2例 (0.33)
不規則月経	1 (0.16)
陰囊潰瘍	1 (0.16)
全身障害および投与局所様態	12例 (1.97)
死亡	1 (0.16)
疲労	1 (0.16)
倦怠感	5 (0.82)
末梢性浮腫	1 (0.16)
疼痛	1 (0.16)
発熱	2 (0.33)
口渇	1 (0.16)
臨床検査	97例 (15.95)
アラニン・アミノトランスフェラーゼ'増加	9 (1.48)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ'増加	7 (1.15)
血中アミラーゼ'増加	1 (0.16)
血中ビリルビン増加	29 (4.77)
血中コレステロール増加	1 (0.16)
血中クレアチンホスホキナーゼ'増加	1 (0.16)
血中クレアチニン増加	6 (0.99)
血中ブドウ糖増加	2 (0.33)
血便	1 (0.16)
血中乳酸脱水素酵素増加	3 (0.49)
血中トリグリセリド増加	8 (1.32)
血中尿酸増加	4 (0.66)
好酸球数増加	1 (0.16)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ'増加	2 (0.33)
尿中血陽性	5 (0.82)
ヘモグロビン減少	3 (0.49)
脂質増加	3 (0.49)
平均赤血球容積増加	1 (0.16)
好中球数減少	2 (0.33)
血小板数減少	4 (0.66)
赤血球数減少	5 (0.82)
体重減少	3 (0.49)
白血球数減少	22 (3.62)
白血球数増加	1 (0.16)
尿中白血球陽性	5 (0.82)
尿沈渣陽性	2 (0.33)
尿中結晶	1 (0.16)
尿中蛋白陽性	3 (0.49)
血中アルカリホスファターゼ'増加	1 (0.16)
尿沈渣異常	6 (0.99)
尿検査異常	2 (0.33)
外科および内科処置	3例 (0.49)
脱毛術	3 (0.49)

表19. 組合№9：レトロビル+エピビル+カレトラ

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		27	10	13	37.04%	
性別	男	24	10	13	41.67%	P=0.274
	女	3			0.00%	
年齢	14歳	1			0.00%	P=0.613
	15歳 64歳	25	9	10	36.00%	
	65歳	1	1	3	100.00%	
人種	日本人	22	7	10	31.82%	P=0.326
	その他	5	3	3	60.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	7	1	1	14.29%	P=0.204
	有	20	9	12	45.00%	
併用療法有無	無	25	9	10	36.00%	P=1.000
	有	2	1	3	50.00%	
合併症有無	無	9	6	6	66.67%	P=0.039 *
	有	18	4	7	22.22%	
合併症肝障害	無	20	9	11	45.00%	P=0.204
	有	7	1	2	14.29%	
	肝炎	6	1	2	16.67%	
血友病	無	21	10	13	47.62%	P=0.057
	有	6			0.00%	
	A	4			0.00%	
	B	2			0.00%	
既往歴有無	無	14	4	4	28.57%	P=0.683
	有	12	5	8	41.67%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	20	5	7	25.00%	P=0.283
	有	5	3	4	60.00%	
	不明・未記載	2	2	2	100.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には肝機能異常(7.4%)、発疹(7.4%)があった。
詳細は次表を参照。

表20. 組合№9：レトロビル+エピビル+カレトラ

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	15
調査症例数	27
副作用等の発現症例数	10 (37.04%)
副作用等の発現件数	13
副作用等の種類	例数(%)
血液およびリンパ系障害	2例 (7.41)
貧血	1 (3.70)
好中球減少症	1 (3.70)
代謝および栄養障害	1例 (3.70)
高脂血症	1 (3.70)
心臓障害	1例 (3.70)
左室不全	1 (3.70)
心筋梗塞	1 (3.70)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (3.70)
肺水腫	1 (3.70)
胃腸障害	2例 (7.41)
下痢	1 (3.70)
悪心	1 (3.70)
肝胆道系障害	2例 (7.41)
肝機能異常	2 (7.41)
皮膚および皮下組織障害	2例 (7.41)
発疹	2 (7.41)
臨床検査	1例 (3.70)
血中アルカリホスファターゼ増加	1 (3.70)

表21. 組合№10：ヴァイデックス＋ゼリット＋ストックリン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		83	47	71	56.63%	(Fisher)
性別	男	76	42	65	55.26%	P=0.693
	女	7	5	6	71.43%	
年齢	14歳	1			0.00%	P=0.032 *
	15歳 64歳	79	47	71	59.49%	
	65歳	3			0.00%	
人種	日本人	78	46	70	58.97%	P=0.161
	その他	5	1	1	20.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	25	9	10	36.00%	P=0.017 *
	有	58	38	61	65.52%	
併用療法有無	無	78	45	67	57.69%	P=0.648
	有	5	2	4	40.00%	
合併症有無	無	32	18	24	56.25%	P=1.000
	有	51	29	47	56.86%	
合併症肝障害	無	56	28	39	50.00%	P=0.100
	有	27	19	32	70.37%	
	肝炎	27	19	32	70.37%	
血友病	無	57	29	41	50.88%	P=0.154
	有	26	18	30	69.23%	
	A	19	11	14	57.89%	P=0.062
	B	7	7	16	100.00%	
既往歴有無	無	43	24	37	55.81%	P=0.826
	有	39	23	34	58.97%	
	不明・未記載	1			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	60	29	34	48.33%	P=0.040 *
	有	21	16	34	76.19%	
	不明・未記載	2	2	3	100.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には浮動性めまい(6.0%)、下痢(6.0%)、発疹(7.2%)があり、器官分類別では、神経系障害(13.3%)、胃腸障害(12.1%)、皮膚および皮下組織障害(15.7%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。

詳細は次表を参照。

表22. 組合№10：ヴァイデックス＋ゼリット＋ストックリン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	32
調査症例数	83
副作用等の発現症例数	47 (56.63%)
副作用等の発現件数	71
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	1例 (1.20)
C型肝炎	1 (1.20)
代謝および栄養障害	6例 (7.23)
食欲不振	1 (1.20)
高乳酸血症	1 (1.20)
高トリグリセリド血症	1 (1.20)
乳酸アシドーシス	2 (2.41)
高脂血症	1 (1.20)
精神障害	5例 (6.02)
異常な夢	2 (2.41)
情動障害	1 (1.20)
不眠症	2 (2.41)
睡眠障害	1 (1.20)
神経系障害	11例 (13.25)
浮動性めまい	5 (6.02)
頭痛	1 (1.20)
感覚減退	3 (3.61)
神経系障害	1 (1.20)
末梢性ニューロパシー	2 (2.41)
傾眠	1 (1.20)
血管障害	2例 (2.41)
本態性高血圧症	1 (1.20)
潮紅	1 (1.20)
胃腸障害	10例 (12.05)
下痢	5 (6.02)
消化不良	1 (1.20)
胃炎	1 (1.20)
胃腸出血	1 (1.20)
舌炎	1 (1.20)
レッチング	1 (1.20)
口内炎	2 (2.41)
嘔吐	1 (1.20)
肝胆道系障害	3例 (3.61)
肝機能異常	2 (2.41)
肝細胞障害	1 (1.20)
肝障害	1 (1.20)
皮膚および皮下組織障害	13例 (15.66)
薬剤性皮膚炎	3 (3.61)
脂肪組織萎縮症	1 (1.20)
発疹	6 (7.23)
蕁麻疹	2 (2.41)
後天性ポストロフィー	1 (1.20)
筋骨格系および結合組織障害	2例 (2.41)
出血性関節症	1 (1.20)
筋痛	1 (1.20)
生殖系および乳房障害	1例 (1.20)
乳房痛	1 (1.20)
全身障害および投与局所様態	3例 (3.61)
熱感	1 (1.20)
倦怠感	1 (1.20)
末梢性浮腫	1 (1.20)
発熱	1 (1.20)
臨床検査	5例 (6.02)
血中アミラーゼ増加	1 (1.20)
血中ブドウ糖増加	1 (1.20)
血中乳酸脱水素酵素増加	1 (1.20)
血中乳酸増加	1 (1.20)
血中トリグリセリド増加	1 (1.20)
傷害、中毒および処置合併症	1例 (1.20)
神経損傷	1 (1.20)

表23. 組合№11：コンビビル+ピラセプト

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		44	11	22	25.00%	
性別	男	39	10	20	25.64%	P=1.000
	女	5	1	2	20.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	44	11	22	25.00%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	37	10	20	27.03%	P=0.659
	その他	7	1	2	14.29%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	15	1	1	6.67%	P=0.067
	有	29	10	21	34.48%	
併用療法有無	無	43	11	22	25.58%	P=1.000
	有	1			0.00%	
合併症有無	無	20	9	19	45.00%	P=0.012 *
	有	24	2	3	8.33%	
合併症肝障害	無	35	11	22	31.43%	P=0.085
	有	9			0.00%	
	肝炎	9			0.00%	
血友病	無	38	11	22	28.95%	P=0.311
	有	6			0.00%	
	A	6			0.00%	-
	B	0			-	
既往歴有無	無	18	6	12	33.33%	P=0.314
	有	26	5	10	19.23%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	33	9	19	27.27%	P=0.701
	有	11	2	3	18.18%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には下痢(13.6%)、発疹(6.8%)があり、
 器官分類別では、胃腸障害(15.9%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表24. 組合№11：コンビビル＋ピラセプト

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	12
調査症例数	44
副作用等の発現症例数	11 (25.00%)
副作用等の発現件数	22
副作用等の種類	
血液およびリンパ系障害	2例 (4.55)
赤血球減少症	1 (2.27)
汎血球減少症	1 (2.27)
代謝および栄養障害	2例 (4.55)
高コレステロール血症	1 (2.27)
高トリグリセリド血症	1 (2.27)
神経系障害	1例 (2.27)
頭痛	1 (2.27)
胃腸障害	7例 (15.91)
下痢	6 (13.64)
軟便	1 (2.27)
悪心	2 (4.55)
嘔吐	1 (2.27)
皮膚および皮下組織障害	4例 (9.09)
薬剤性皮膚炎	1 (2.27)
発疹	3 (6.82)
全身障害および投与局所様態	1例 (2.27)
発熱	1 (2.27)
臨床検査	2例 (4.55)
C-反応性蛋白増加	1 (2.27)
尿中血陽性	1 (2.27)

表25. 組合№12：ヴァイデックス＋ゼリット＋カレトラ

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		39	14	25	35.90%	
性別	男	35	10	21	28.57%	P=0.012 *
	女	4	4	4	100.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	39	14	25	35.90%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	37	13	24	35.14%	P=1.000
	その他	2	1	1	50.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	13	4	6	30.77%	P=0.733
	有	26	10	19	38.46%	
併用療法有無	無	36	14	25	38.89%	P=0.540
	有	3			0.00%	
合併症有無	無	10	6	8	60.00%	P=0.124
	有	29	8	17	27.59%	
合併症肝障害	無	24	9	12	37.50%	P=1.000
	有	15	5	13	33.33%	
	肝炎	15	5	13	33.33%	
血友病	無	26	9	12	34.62%	P=1.000
	有	13	5	13	38.46%	
	A	9	4	11	44.44%	P=1.000
	B	4	1	2	25.00%	
既往歴有無	無	13	4	5	30.77%	P=1.000
	有	25	9	18	36.00%	
	不明・未記載	1	1	2	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	23	6	10	26.09%	P=0.295
	有	15	7	14	46.67%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高脂血症(5.1%)、感覚減退(5.1%)、下痢(5.1%)、
薬剤性皮膚炎(7.7%)、血中トリグリセリド増加(5.1%)があり、
器官分類別では、代謝および栄養障害(12.8%)、胃腸障害(10.3%)、
皮膚および皮下組織障害(12.8%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
詳細は次表を参照。

表26. 組合№12：ヴァイデックス + ゼリット + カレトラ

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	18
調査症例数	39
副作用等の発現症例数	14 (35.90%)
副作用等の発現件数	25
副作用等の種類	
血液およびリンパ系障害	1例 (2.56)
出血傾向	1 (2.56)
代謝および栄養障害	5例 (12.82)
糖尿病	1 (2.56)
高血糖	1 (2.56)
高トリグリセリド血症	1 (2.56)
高脂血症	2 (5.13)
神経系障害	2例 (5.13)
感覚減退	2 (5.13)
心臓障害	1例 (2.56)
動悸	1 (2.56)
頻脈	1 (2.56)
胃腸障害	4例 (10.26)
腹部膨満	1 (2.56)
下痢	2 (5.13)
悪心	1 (2.56)
皮膚および皮下組織障害	5例 (12.82)
薬剤性皮膚炎	3 (7.69)
そう痒性皮疹	1 (2.56)
後天性リポシトローフィー	1 (2.56)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (2.56)
関節痛	1 (2.56)
背部痛	1 (2.56)
全身障害および投与局所様態	1例 (2.56)
倦怠感	1 (2.56)
臨床検査	2例 (5.13)
血中トリグリセリド増加	2 (5.13)
血中アルカリホスファターゼ増加	1 (2.56)

表27. 組合№13：エピビル＋ゼリット＋ピラミューン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		63	30	58	47.62%	(Fisher)
性別	男	55	26	49	47.27%	P=1.000
	女	8	4	9	50.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	63	30	58	47.62%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	55	26	54	47.27%	P=1.000
	その他	8	4	4	50.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	17	8	18	47.06%	P=1.000
	有	46	22	40	47.83%	
併用療法有無	無	60	29	52	48.33%	P=1.000
	有	3	1	6	33.33%	
合併症有無	無	21	11	20	52.38%	P=0.606
	有	42	19	38	45.24%	
合併症肝障害	無	43	20	37	46.51%	P=1.000
	有	20	10	21	50.00%	
	肝炎	16	8	17	50.00%	
血友病	無	52	24	47	46.15%	P=0.744
	有	11	6	11	54.55%	
	A	10	5	10	50.00%	P=1.000
	B	1	1	1	100.00%	
既往歴有無	無	17	6	8	35.29%	P=0.255
	有	44	24	50	54.55%	
	不明・未記載	2			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	34	17	30	50.00%	P=0.788
	有	23	10	18	43.48%	
	不明・未記載	6	3	10	50.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には肝機能異常(7.9%)、肝細胞障害(6.4%)、発疹(12.7%)、発熱(6.4%)があり、
 器官分類別では、胃腸障害(12.7%)、肝胆道系障害(14.3%)、皮膚および皮下組織障害(17.5%)、
 臨床検査(11.1%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表28. 組合№13：エピビル＋ゼリット＋ピラミューン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	22
調査症例数	63
副作用等の発現症例数	30 (47.62%)
副作用等の発現件数	58
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	1例 (1.59)
進行性多巣性白質脳症	1 (1.59)
血液およびリンパ系障害	1例 (1.59)
好酸球増加症	1 (1.59)
代謝および栄養障害	3例 (4.76)
糖尿病	1 (1.59)
耐糖能障害	1 (1.59)
高乳酸血症	1 (1.59)
高トリグリセリド血症	1 (1.59)
神経系障害	2例 (3.17)
頭痛	1 (1.59)
感覚減退	1 (1.59)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (1.59)
咳嗽	1 (1.59)
咽喉頭疼痛	1 (1.59)
喘鳴	1 (1.59)
胃腸障害	8例 (12.70)
下痢	3 (4.76)
消化器不調	1 (1.59)
舌痛	1 (1.59)
口唇痛	1 (1.59)
悪心	3 (4.76)
嘔吐	2 (3.17)
肝胆道系障害	9例 (14.29)
肝機能異常	5 (7.94)
肝細胞障害	4 (6.35)
肝障害	1 (1.59)
皮膚および皮下組織障害	11例 (17.46)
薬剤性皮膚炎	1 (1.59)
発疹	8 (12.70)
蕁麻疹	1 (1.59)
後天性リポシトローフィー	1 (1.59)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (1.59)
関節痛	1 (1.59)
全身障害および投与局所様態	4例 (6.35)
発熱	4 (6.35)
臨床検査	7例 (11.11)
血中コレステロール増加	2 (3.17)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	1 (1.59)
血中トリグリセリド増加	1 (1.59)
血中尿酸増加	1 (1.59)
C-反応性蛋白増加	1 (1.59)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	3 (4.76)
尿中蛋白陽性	1 (1.59)

表29. 組合№14：コンビビル+カレトラ

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		28	12	17	42.86%	(Fisher)
性別	男	26	11	16	42.31%	P=1.000
	女	2	1	1	50.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	28	12	17	42.86%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	24	11	15	45.83%	P=0.613
	その他	4	1	2	25.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	7	2	2	28.57%	P=0.662
	有	21	10	15	47.62%	
併用療法有無	無	28	12	17	42.86%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	12	5	6	41.67%	P=1.000
	有	16	7	11	43.75%	
合併症肝障害	無	25	10	14	40.00%	P=0.560
	有	3	2	3	66.67%	
	肝炎	3	2	3	66.67%	
血友病	無	25	10	14	40.00%	P=0.560
	有	3	2	3	66.67%	
	A	2	1	2	50.00%	P=1.000
	B	1	1	1	100.00%	
既往歴有無	無	14	6	9	42.86%	P=1.000
	有	14	6	8	42.86%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	15	5	8	33.33%	P=0.657
	有	8	4	5	50.00%	
	不明・未記載	5	3	4	60.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高コレステロール血症(7.1%)、下痢(17.9%)、悪心(7.1%)、倦怠感(7.1%)、血中トリグリセリド増加(7.1%)があり、器官分類別では、代謝および栄養障害(10.7%)、胃腸障害(25.0%)、臨床検査(10.7%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

表30． 組合№14：コンビビル＋カレトラ

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	8
調査症例数	28
副作用等の発現症例数	12 (42.86%)
副作用等の発現件数	17
副作用等の種類	
代謝および栄養障害	3例 (10.71)
高コレステロール血症	2 (7.14)
高脂血症	1 (3.57)
胃腸障害	7例 (25.00)
下痢	5 (17.86)
胃腸障害	1 (3.57)
悪心	2 (7.14)
全身障害および投与局所様態	2例 (7.14)
倦怠感	2 (7.14)
臨床検査	3例 (10.71)
血中トリグリセリド増加	2 (7.14)
血中尿酸増加	1 (3.57)
赤血球数減少	1 (3.57)

表31. 組合№15：レトロビル＋エピビル＋クリキシバン＋ノービア

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		52	26	40	50.00%	
性別	男	48	26	40	54.17%	P=0.110
	女	4			0.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	52	26	40	50.00%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	50	26	40	52.00%	P=0.490
	その他	2			0.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	20	11	16	55.00%	P=0.776
	有	32	15	24	46.88%	
併用療法有無	無	50	25	39	50.00%	P=1.000
	有	2	1	1	50.00%	
合併症有無	無	14	6	7	42.86%	P=0.755
	有	38	20	33	52.63%	
合併症肝障害	無	33	13	15	39.39%	P=0.083
	有	19	13	25	68.42%	
	肝炎	18	12	20	66.67%	
血友病	無	39	19	29	48.72%	P=1.000
	有	13	7	11	53.85%	
	A	7	4	5	57.14%	P=1.000
	B	6	3	6	50.00%	
既往歴有無	無	20	8	11	40.00%	P=0.393
	有	31	17	28	54.84%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	39	17	27	43.59%	P=0.199
	有	12	8	12	66.67%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には尿路結石(11.5%)、血中トリグリセリド増加(9.6%)があり、器官分類別では、腎および尿路障害(19.2%)、臨床検査(13.5%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
詳細は次表を参照。

表32. 組合№15：レトロビル＋エピビル＋クリキシバン＋ノービア

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	23
調査症例数	52
副作用等の発現症例数	26 (50.00%)
副作用等の発現件数	40
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	1例 (1.92)
帯状疱疹	1 (1.92)
血液およびリンパ系障害	1例 (1.92)
出血傾向	1 (1.92)
代謝および栄養障害	5例 (9.62)
高トリグリセリド血症	2 (3.85)
低ナトリウム血症	1 (1.92)
高脂血症	2 (3.85)
神経系障害	1例 (1.92)
頭痛	1 (1.92)
心臓障害	1例 (1.92)
洞房ブロック	1 (1.92)
胃腸障害	3例 (5.77)
下痢	1 (1.92)
悪心	1 (1.92)
嘔吐	1 (1.92)
肝胆道系障害	3例 (5.77)
肝機能異常	2 (3.85)
肝細胞障害	1 (1.92)
皮膚および皮下組織障害	1例 (1.92)
発疹	1 (1.92)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (1.92)
筋肉内出血	1 (1.92)
腎および尿路障害	10例 (19.23)
尿管結石	2 (3.85)
尿路結石	6 (11.54)
血尿	1 (1.92)
腎結石症	1 (1.92)
腎障害	1 (1.92)
臨床検査	7例 (13.46)
アラニン・アミトランスフェラーゼ増加	1 (1.92)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ増加	1 (1.92)
血中コレステロール増加	2 (3.85)
血中ブドウ糖増加	1 (1.92)
血中トリグリセリド増加	5 (9.62)
血中尿酸増加	1 (1.92)

表33. 組合№16：レトロビル+エピビル+ピラミューン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		27	11	19	40.74%	
性別	男	26	11	19	42.31%	P=1.000
	女	1			0.00%	
年齢	14歳	2	1	1	50.00%	P=1.000
	15歳 64歳	25	10	18	40.00%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	23	11	19	47.83%	P=0.123
	その他	4			0.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	6	3	4	50.00%	P=0.662
	有	21	8	15	38.10%	
併用療法有無	無	27	11	19	40.74%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	10	5	9	50.00%	P=0.687
	有	17	6	10	35.29%	
合併症肝障害	無	20	9	15	45.00%	P=0.662
	有	7	2	4	28.57%	
	肝炎	5	2	4	40.00%	
血友病	無	24	10	16	41.67%	P=1.000
	有	3	1	3	33.33%	
	A	2	1	3	50.00%	P=1.000
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	11	4	7	36.36%	P=1.000
	有	15	6	11	40.00%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	17	4	8	23.53%	P=0.028 *
	有	8	6	10	75.00%	
	不明・未記載	2	1	1	50.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には発疹(18.5%)があり、
 器官分類別では、皮膚および皮下組織障害(22.2%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表34. 組合№16：レトロビル+エピビル+ピラミューン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	17
調査症例数	27
副作用等の発現症例数	11 (40.74%)
副作用等の発現件数	19
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	1例 (3.70)
B型肝炎	1 (3.70)
血液およびリンパ系障害	2例 (7.41)
無顆粒球症	1 (3.70)
大球性貧血	1 (3.70)
精神障害	1例 (3.70)
不眠症	1 (3.70)
神経系障害	1例 (3.70)
頭痛	1 (3.70)
胃腸障害	1例 (3.70)
逆流性食道炎	1 (3.70)
肝胆道系障害	2例 (7.41)
胆汁うっ滞	1 (3.70)
肝機能異常	1 (3.70)
皮膚および皮下組織障害	6例 (22.22)
薬剤性皮膚炎	1 (3.70)
発疹	5 (18.52)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (3.70)
関節痛	1 (3.70)
筋痛	1 (3.70)
全身障害および投与局所様態	1例 (3.70)
倦怠感	1 (3.70)
臨床検査	2例 (7.41)
血中乳酸脱水素酵素増加	1 (3.70)
血中アルカリホスファターゼ増加	1 (3.70)

表35. 組合№17：ヴァイデックス＋ゼリット＋ピラセプト

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		119	59	91	49.58%	
性別	男	108	56	88	51.85%	P=0.204
	女	11	3	3	27.27%	
年齢	14歳	0			-	P=1.000
	15歳 64歳	113	56	86	49.56%	
	65歳	6	3	5	50.00%	
人種	日本人	108	52	84	48.15%	P=0.362
	その他	11	7	7	63.64%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	22	6	8	27.27%	P=0.032 *
	有	97	53	83	54.64%	
併用療法有無	無	109	52	77	47.71%	P=0.204
	有	10	7	14	70.00%	
合併症有無	無	33	17	24	51.52%	P=0.840
	有	86	42	67	48.84%	
合併症肝障害	無	65	29	44	44.62%	P=0.272
	有	54	30	47	55.56%	
	肝炎	46	25	39	54.35%	
血友病	無	83	41	59	49.40%	P=1.000
	有	36	18	32	50.00%	
	A	32	17	31	53.13%	P=0.603
	B	4	1	1	25.00%	
既往歴有無	無	59	22	33	37.29%	P=0.010 *
	有	60	37	58	61.67%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	95	46	65	48.42%	P=0.479
	有	22	13	26	59.09%	
	不明・未記載	2			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高脂血症(6.7%)、下痢(21.0%)があり、器官分類別では、代謝および栄養障害(11.8%)、胃腸障害(24.4%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。
詳細は次表を参照。

表36. 組合№17：ヴァイデックス + ゼリット + ピラセプト

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	53
調査症例数	119
副作用等の発現症例数	59 (49.58%)
副作用等の発現件数	91
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	1例 (0.84)
咽頭炎	1 (0.84)
血液およびリンパ系障害	5例 (4.20)
貧血	2 (1.68)
出血傾向	1 (0.84)
白血球減少症	1 (0.84)
汎血球減少症	1 (0.84)
代謝および栄養障害	14例 (11.76)
高コレステロール血症	1 (0.84)
高トリグリセリド血症	3 (2.52)
高尿酸血症	3 (2.52)
高脂血症	8 (6.72)
精神障害	1例 (0.84)
うつ病	1 (0.84)
不快気分	1 (0.84)
神経系障害	5例 (4.20)
感覚減退	2 (1.68)
末梢性ニューロパシー	3 (2.52)
心臓障害	1例 (0.84)
うつ血性心不全	1 (0.84)
血管障害	1例 (0.84)
高血圧	1 (0.84)
胃腸障害	29例 (24.37)
上腹部痛	1 (0.84)
下痢	25 (21.01)
排便回数増加	1 (0.84)
胃炎	1 (0.84)
胃腸出血	1 (0.84)
悪心	1 (0.84)
急性膵炎	1 (0.84)
胃不快感	1 (0.84)
肝胆道系障害	10例 (8.40)
肝機能異常	5 (4.20)
肝細胞障害	3 (2.52)
黄疸	1 (0.84)
肝障害	1 (0.84)
皮膚および皮下組織障害	3例 (2.52)
発疹	1 (0.84)
後天性パストロフィー	2 (1.68)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (0.84)
出血性関節症	1 (0.84)
腎および尿路障害	2例 (1.68)
腎障害	1 (0.84)
腎機能不全	1 (0.84)
全身障害および投与局所様態	1例 (0.84)
倦怠感	1 (0.84)
臨床検査	9例 (7.56)
アラニン・アミトランスフェラーゼ増加	1 (0.84)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ増加	1 (0.84)
血中アミラーゼ増加	1 (0.84)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	1 (0.84)
血中乳酸脱水素酵素増加	1 (0.84)
血中乳酸増加	1 (0.84)
血中トリグリセリド増加	3 (2.52)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	2 (1.68)
好中球数減少	1 (0.84)

表37. 組合№18：レトロビル+ヴァイデックス+ストックリン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		32	9	16	28.13%	
性別	男	30	8	15	26.67%	P=0.490
	女	2	1	1	50.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	32	9	16	28.13%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	30	9	16	30.00%	P=1.000
	その他	2			0.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	14	2	8	14.29%	P=0.235
	有	18	7	8	38.89%	
併用療法有無	無	31	9	16	29.03%	P=1.000
	有	1			0.00%	
合併症有無	無	10	4	8	40.00%	P=0.417
	有	21	5	8	23.81%	
	不明・未記載	1			0.00%	
合併症肝障害	無	17	6	13	35.29%	P=0.456
	有	14	3	3	21.43%	
	肝炎	13	3	3	23.08%	
	不明・未記載	1			0.00%	
血友病	無	25	8	15	32.00%	P=0.642
	有	6	1	1	16.67%	
	A	4	1	1	25.00%	P=1.000
	B	2			0.00%	
	不明・未記載	1			0.00%	
既往歴有無	無	16	3	5	18.75%	P=0.433
	有	16	6	11	37.50%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	28	7	12	25.00%	P=0.469
	有	2	1	3	50.00%	
	不明・未記載	2	1	1	50.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には浮動性めまい(6.3%)、薬剤性皮膚炎(6.3%)があり、
 器官分類別では、神経系障害(12.5%)において、
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。
 詳細は次表を参照。

表38. 組合№18：レトロビル+ヴァイデックス+ストックリン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	19
調査症例数	32
副作用等の発現症例数	9 (28.13%)
副作用等の発現件数	16
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	1例 (3.13)
ニューモシスティス肺炎	1 (3.13)
代謝および栄養障害	2例 (6.25)
高トリグリセリド血症	1 (3.13)
高脂血症	1 (3.13)
精神障害	2例 (6.25)
多幸気分	1 (3.13)
不眠症	1 (3.13)
易刺激性	1 (3.13)
神経系障害	4例 (12.50)
浮動性めまい	2 (6.25)
感覚減退	1 (3.13)
傾眠	1 (3.13)
肝胆道系障害	1例 (3.13)
肝細胞障害	1 (3.13)
皮膚および皮下組織障害	3例 (9.38)
薬剤性皮膚炎	2 (6.25)
発疹	1 (3.13)
全身障害および投与局所様態	1例 (3.13)
倦怠感	1 (3.13)
臨床検査	1例 (3.13)
血中トリグリセリド増加	1 (3.13)

表39. 組合№19：エピビル＋ゼリット

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		198	16	39	8.08%	
性別	男	161	14	33	8.70%	P=0.741
	女	37	2	6	5.41%	
年齢	14歳	0			-	P=0.033 *
	15歳 64歳	194	14	31	7.22%	
	65歳	4	2	8	50.00%	
人種	日本人	173	15	38	8.67%	P=0.699
	その他	25	1	1	4.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	51	2	2	3.92%	P=0.250
	有	147	14	37	9.52%	
併用療法有無	無	191	14	30	7.33%	P=0.101
	有	7	2	9	28.57%	
合併症有無	無	39	1	1	2.56%	P=0.204
	有	159	15	38	9.43%	
合併症肝障害	無	95	6	11	6.32%	P=0.442
	有	103	10	28	9.71%	
	肝炎	92	8	18	8.70%	
血友病	無	113	7	12	6.19%	P=0.299
	有	85	9	27	10.59%	
	A	54	6	22	11.11%	P=1.000
	B	30	3	5	10.00%	
	不明・未記載	1			0.00%	
既往歴有無	無	98	7	20	7.14%	P=0.795
	有	99	9	19	9.09%	
	不明・未記載	1			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	155	14	36	9.03%	P=0.530
	有	43	2	3	4.65%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

詳細は次表を参照。

表40. 組合№19：エピビル＋ゼリット

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	58
調査症例数	198
副作用等の発現症例数	16 (8.08%)
副作用等の発現件数	39
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	1例 (0.51)
肺炎	1 (0.51)
血液およびリンパ系障害	1例 (0.51)
貧血	1 (0.51)
代謝および栄養障害	4例 (2.02)
糖尿病	1 (0.51)
高尿酸血症	1 (0.51)
低カルシウム血症	1 (0.51)
乳酸アシドーシス	1 (0.51)
脂肪再分布	1 (0.51)
高脂血症	1 (0.51)
神経系障害	4例 (2.02)
感覚減退	1 (0.51)
末梢性ニューロパシー	2 (1.01)
感覚障害	1 (0.51)
血管障害	1例 (0.51)
起立性低血圧	1 (0.51)
胃腸障害	5例 (2.53)
腹痛	1 (0.51)
下痢	2 (1.01)
胃炎	1 (0.51)
悪心	1 (0.51)
嘔吐	1 (0.51)
口の感覚鈍麻	1 (0.51)
肝胆道系障害	2例 (1.01)
肝機能異常	1 (0.51)
黄疸	2 (1.01)
皮膚および皮下組織障害	1例 (0.51)
皮下出血	1 (0.51)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (0.51)
筋痛	1 (0.51)
腎および尿路障害	1例 (0.51)
腎機能不全	1 (0.51)
全身障害および投与局所様態	1例 (0.51)
発熱	1 (0.51)
臨床検査	8例 (4.04)
アラニン・アミノトランスフェラーゼ増加	1 (0.51)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	1 (0.51)
血中乳酸脱水素酵素増加	2 (1.01)
血中尿酸増加	1 (0.51)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	1 (0.51)
肝機能検査値異常	2 (1.01)
平均赤血球容積増加	1 (0.51)
白血球数減少	1 (0.51)
血中アルカリホスファターゼ増加	2 (1.01)

表41. 組合№21：コンビビル+ピラミューン

患者背景別副作用発現症例

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		16	6	8	37.50%	
性別	男	14	4	5	28.57%	P=0.125
	女	2	2	3	100.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	16	6	8	37.50%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	15	5	7	33.33%	P=0.375
	その他	1	1	1	100.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	5	2	3	40.00%	P=1.000
	有	11	4	5	36.36%	
併用療法有無	無	16	6	8	37.50%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	4	1	1	25.00%	P=1.000
	有	12	5	7	41.67%	
合併症肝障害	無	7	2	2	28.57%	P=0.633
	有	9	4	6	44.44%	
	肝炎	8	4	6	50.00%	
血友病	無	12	4	5	33.33%	P=0.604
	有	4	2	3	50.00%	
	A	2			0.00%	P=0.333
	B	2	2	3	100.00%	
既往歴有無	無	5	2	3	40.00%	P=1.000
	有	9	3	4	33.33%	
	不明・未記載	2	1	1	50.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	12	4	5	33.33%	P=0.525
	有	3	2	3	66.67%	
	不明・未記載	1			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には貧血(6.3%)、高脂血症(12.5%)、発疹(18.8%)、後天性リポジストロフィー(6.3%)、発熱(6.3%)があり、器官分類別では、代謝および栄養障害(12.5%)、皮膚および皮下組織障害(25.0%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

表42 . 組合№21：コンビビル+ピラミューン

副作用・感染症の発現状況一覧表

調査施設数	6
調査症例数	16
副作用等の発現症例数	6 (37.50%)
副作用等の発現件数	8
副作用等の種類	
血液およびリンパ系障害	1例 (6.25)
貧血	1 (6.25)
代謝および栄養障害	2例 (12.50)
高脂血症	2 (12.50)
皮膚および皮下組織障害	4例 (25.00)
発疹	3 (18.75)
後天性リンパ症	1 (6.25)
全身障害および投与局所様態	1例 (6.25)
発熱	1 (6.25)

表43．患者背景要因（CMV感染症治療薬）

デ'バシカ'セル、叔'カ'ルいずれかの薬剤を使用している症例を対象

使用理由	CMV網膜炎，その他のCMV感染症，その他
性別	
年齢	デ'バシカ'セル，又は叔'カ'ルの初回投与日での年齢を算出
人種	日本人、その他
CMV治療薬以外の併用薬有無	デ'バシカ'セル，又は叔'カ'ルの使用期間における併用有無（CMV治療薬以外の併用薬）
併用療法有無	デ'バシカ'セル，又は叔'カ'ルの使用期間における併用療法の併用有無
CMVを除いた合併症有無	CMVを除く
合併症肝障害	
血友病有無	
血友病 A B	血友病有の症例のみでカウント
既往歴有無	
アレルギー有無	
投与開始前CD4リン'球数	デ'バシカ'セル又は叔'カ'ルの初回投与開始日、なければ投与前（30日以内）のCD4の検査値

これらの要因を用いて安全性の集計を行う

表44 . CMV感染症治療薬

患者背景別副作用発現症例

要因		注1) 症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)
計		120	40	77	33.33%
使用理由	CMV網膜炎	64	20	39	31.25%
	その他のCMV感染症	48	18	34	37.50%
	その他	8	2	4	25.00%
性別	男	103	35	68	33.98%
	女	17	5	9	29.41%
年齢	14歳	5	2	4	40.00%
	15歳 64歳	110	36	65	32.73%
	65歳	5	2	8	40.00%
人種	日本人	116	40	77	34.48%
	その他	4			0.00%
CMV治療薬以外の 併用薬有無	無	8	3	4	37.50%
	有	112	37	73	33.04%
併用療法有無	無	95	29	53	30.53%
	有	25	11	24	44.00%
CMVを除いた 合併症有無	無	18	4	6	22.22%
	有	101	36	71	35.64%
	不明・未記載	1			0.00%
合併症肝障害	無	95	30	57	31.58%
	有	24	10	20	41.67%
	肝炎	12	3	9	25.00%
	不明・未記載	1			0.00%
血友病	無	110	37	68	33.64%
	有	9	3	9	33.33%
	A	5			0.00%
	B	4	3	9	75.00%
	不明・未記載	1			0.00%
既往歴有無	無	46	14	22	30.43%
	有	71	24	52	33.80%
	不明・未記載	3	2	3	66.67%
アレルギー(特異体質) の有無	無	85	30	51	35.29%
	有	29	10	26	34.48%
	不明・未記載	6			0.00%
投与開始時 CD4リンパ球数	< 50	37	14	29	37.84%
	50 100	8	2	2	25.00%
	100 <	11	3	7	27.27%
	不明・未記載	64	21	39	32.81%

注1) デ・ソシカ[®]セル又はホシガ[®]ル使用症例(HIV患者以外に両剤が使用された症例を含む)

表45．患者背景要因（MAC感染症治療薬）

クラリスロマイシン、ジスロマック錠600mgいずれかの薬剤を使用している症例を対象

性別	
年齢	クラリスロマイシン，又はジスロマック錠600mgの初回投与日での年齢を算出
人種	日本人、その他
MAC感染症に抗菌力を有する 併用薬有無	クラリスロマイシン，又はジスロマック錠600mgの使用期間における併用有無 併用薬（抗結核剤、アミカシン、ストレプトマイシン、サイクロセリン、リファンピリン、エネオマイシン、シプロフロキサシン）の有無
併用療法有無	クラリスロマイシン，又はジスロマック錠600mgの使用期間における併用療法の併用有無
MACを除いた合併症有無	MACを除く
既往歴有無	
アレルギー有無	

これらの要因を用いて安全性の集計を行う

表46 . MAC感染症治療薬

患者背景別副作用発現症例

要因		注1) 症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)
計		311	38	50	12.22%
性別	男	275	34	43	12.36%
	女	36	4	7	11.11%
年齢	14歳	2	1	2	50.00%
	15歳 64歳	301	37	48	12.29%
	65歳	7			0.00%
	不明・未記載	1			0.00%
人種	日本人	277	35	46	12.64%
	その他	34	3	4	8.82%
MAC感染症に抗菌薬を有する 併用薬有無	無	207	17	26	8.21%
	有	103	21	24	20.39%
	不明・未記載	1			0.00%
併用療法有無	無	270	26	34	9.63%
	有	41	12	16	29.27%
MACを除いた 合併症有無	無	53	5	5	9.43%
	有	258	33	45	12.79%
既往歴有無	無	114	9	15	7.89%
	有	194	29	35	14.95%
	不明・未記載	3			0.00%
アレルギー(特異体質) の有無	無	227	23	33	10.13%
	有	75	13	15	17.33%
	不明・未記載	9	2	2	22.22%

注1) クリスナマイシン又はジ・スロマイク錠600mg使用症例

表47.薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

対象薬剤名	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	全体
	イトビ`ル	ウ`アイ`デ`ツク` 入	ハイビ`ット`	エ`ビ`ル	ゼ`リット	コビ`ビ`ル	ザ`イア`ジ`ェ`ン	ビ`アミ`ュ`ン	ストックリ`ン	レスクリ`プ`ター	クリキ`ン`パン	イ`ビ`ラ`ー`ゼ`	ノ`ビ`ア	ビ`ラプ`ト	プ`ロ`ゼ`	フォ`ト`ヘ`イス	カ`トラ	デ`ノ`シ`ン` cap	叔`ガ`ル	クリ`ス`ロ`マ`イ`ン`	ジ`ス`ロ`マ`ツ`ク	ヒ`ロ`ステ`ィ`ム	
副作用等の発現症例数	131	47	17	164	138	10	19	19	60	0	107	32	46	84	8	1	13	7	22	7	1	2	369
副作用等の発現件数	178	64	22	260	204	12	29	35	72	0	150	49	67	119	14	2	18	10	36	8	1	3	614
感染症および寄生虫症	7例	3例	2例	24例	19例	1例	2例	1例	4例		11例	4例	6例	7例	1例	1例			1例				36例
非定型マイコ`ク`リア性リン`節炎				1	1									1									1
膀胱炎				1							1												1
サイトカ`のウイルス感染				1	1									1									1
感染性下痢	1																						1
播種性結核				1	1									1									1
B型肝炎	2	1		1	1						1	1											3
C型肝炎	1	2		3	4							2		1									5
帯状疱疹	1		1	2	1						1		1	1									3
無菌性髄膜炎	1			1																			1
口腔カン`ダ`症				1	1	1					1		1										1
ニューモ`ス`チ`ス`カリ`ニ`感染			1	2	1						1			1									3
ニューモ`ス`チ`ス`カリ`ニ`肺炎												1											1
肺炎	1			2	1		1	1			1				1				1				4
進行性多巣性白質脳症				2	2				1														2
肺結核							1		1		1		1										1
腎盂腎炎											2												2
敗血症	1			1							1												1
ブ`ト`ク`球菌性膿瘍				1	1				1														1
結核性胸膜炎				1	1									1									1
サイトカ`のウイルス性脈絡網膜炎		1		3	4				1		1	1	3			1							4
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびダ`リー`ブ`を含む)				3例	3例								1例	1例		1例							3例
筋`ジ`肉腫				1	1																		1
リン`腫				2	2								1	1		1							2
血液およびリン`系障害	62例	4例	6例	38例	17例	5例	3例	4例	7例		9例	6例	7例	12例	3例		1例	4例	3例	2例	1例		91例
無顆粒球症	2			1				2						1									2
貧血	41	2	3	19	7	3	1		3		5	3	4	3	1			3	1				53
大球性貧血	1			1																			1
赤芽球癆	1			1							1												1
再生不良性貧血				1	1									1						1			1
出血傾向			1	3	3						1	1	1	2									4
骨髓抑制	5		1	1	1				1				1	1						1			6
顆粒球減少症	2	1						1															2
溶血性貧血							1	1															1
白血球減少症				1	1							1	1						1				2
リン`節症			1	2																			2
好中球減少症	3			2	2				1			1	1	1									4
汎血球減少症	10			7	1	2			2		2	1		2	1		1	1			1		14
血小板減少症	2	2		1	1		1	2				1	1						1				4
血栓性微小血管症																			1				1
血栓性血小板減少性紫斑病							1	1							1								1
貪食細胞性組織球症				1	1									1									1
内分泌障害	1例			1例										1例						1例			1例
ADH不適合分泌	1			1										1						1			1

表47. 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

[illegible]

表47. 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

[illegible]

表47.薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	
対象薬剤名	レトビル	グアイデックス	バビッド	エビル	ゼリット	コンビル	ガイジン	ビラミオン	ストックリン	レスクリパー	クリキパン	インビラゼ	ノビア	ビラプト	プロゼ	フォトベイス	カトラ	デバソcap	ホスカル	クラシロマイシン	ジスロマック	セロステム	全体	
副作用等の発現症例数	131	47	17	164	138	10	19	19	60	0	107	32	46	84	8	1	13	7	22	7	1	2	369	
副作用等の発現件数	178	64	22	260	204	12	29	35	72	0	150	49	67	119	14	2	18	10	36	8	1	3	614	
肝胆道系障害	12例	7例	4例	22例	20例		1例	4例	4例		8例	8例	6例	8例	1例		1例		1例	1例			40例	
胆管炎		1			1							1	1										1	
肝硬変	1		1																				1	
肝不全				2	2				2			1								1			3	
肝機能異常	4	3	2	9	9		1	2	1		3	4	4	3									17	
肝炎	1	1		2	3				1					3									4	
急性肝炎	1			1							1												1	
劇症肝炎				1				1									1						1	
肝細胞障害	4	1	1	7	5			1			4	2	1						1				11	
黄疸	1	1		2	2			1			2			1									4	
胆汁うっ滞性黄疸		1			1							1	1										1	
肝障害	1			1										1	1								1	
皮膚および皮下組織障害	6例	3例		17例	15例		7例	9例	20例		7例		6例	17例	3例		3例		2例	1例			47例	
薬剤性皮膚炎	2	2		7	6		1		8		2		2	4			1						12	
紅斑									1														1	
多形紅斑		1			1		1		1		1		1										2	
皮下出血				1	1				1														1	
ヘモル・シンドローム紫斑病	1			1										1									1	
嵌入爪											2		2										2	
発疹	2			7	6		5	8	9		2		1	11	3		2		1	1			26	
紅斑性皮疹	1																						1	
スティフ・ブンス・ジョソフ症候群								1											1				1	
後天性ホジキン病				1	1									1									1	
筋骨格系および結合組織障害	1例	2例		6例	6例		2例	2例	1例		7例	3例	2例	4例									19例	
関節痛								1															1	
無腐性骨壊死		1		1	2							1		1									2	
背部痛	1			1							5												5	
出血性関節症								1			1	2	2	2									6	
筋肉内出血											1	1	1										2	
筋力低下		1		1	2		1					1	1										2	
筋痛				2	2									1									2	
骨粗鬆症				1			1		1														1	
腎および尿路障害	6例	4例	2例	10例	10例		1例		2例		47例		4例	6例					5例	1例			63例	
尿管結石	1	1		2	1						22		1										22	
尿路結石											4		1										4	
血尿											5								1				6	
水腎症	1			1							2												2	
間質性腎炎											2												2	
腎結石症	1		1								10												10	
腎症	1			1										1									1	
初発症候群	1			1	1		1		1					2									2	
蛋白尿											1												1	
腎萎縮			1								1												1	
腎障害		1		1	2						2			1									3	
急性腎不全	1			2	1						2			1						1			3	
慢性腎不全		1		1	1									1									1	
腎機能不全		1		1	3									1						2			5	
腎機能障害	1			1	1				1		2		2						2				7	
生殖系および乳房障害	1例			2例	1例						1例			1例					1例				3例	
月経過多				1	1									1									1	
陰囊潰瘍	1			1							1								1				2	

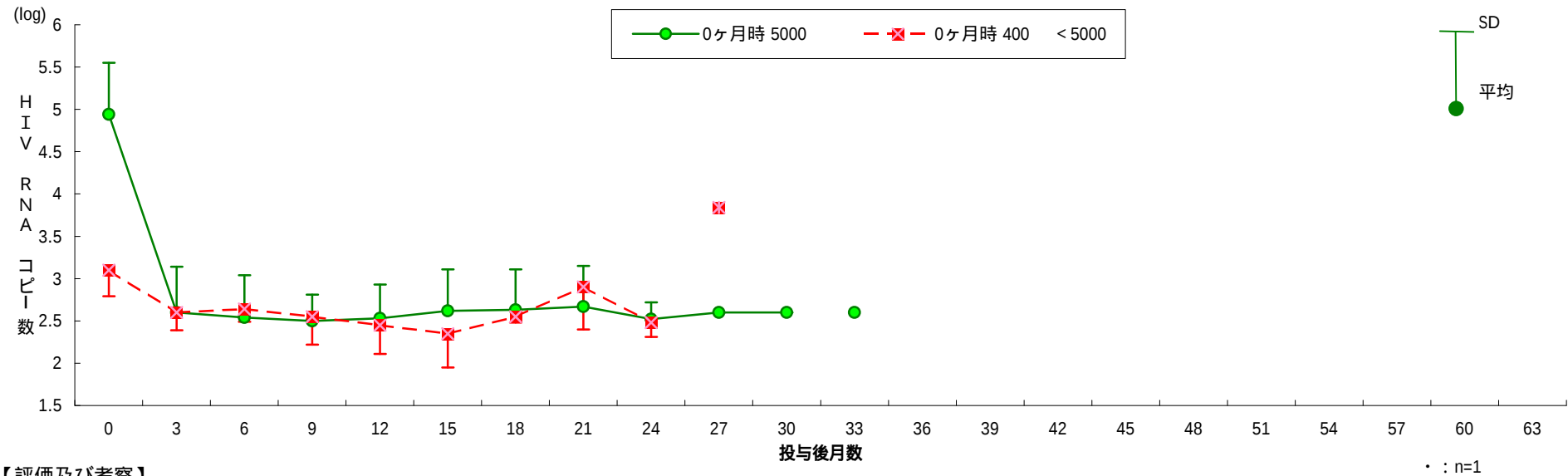
表47. 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

	核酸系逆転写酵素阻害剤							非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							抗CMV		抗MAC		体重減少	
対象薬剤名	レトビル	グアイデクシン	ルビナビル	エビルビル	ゼリット	コルビビル	ザイアジン	ビラミオン	ストックリン	レスクリブター	クリシバン	インビラセ	ノービア	ビラアプト	ブローゼ	フォトベイス	カトラ	デノソcap	スルダール	ケリスロマイシン	ジスロマック	セロステム	全体
副作用等の発現症例数	131	47	17	164	138	10	19	19	60	0	107	32	46	84	8	1	13	7	22	7	1	2	369
副作用等の発現件数	178	64	22	260	204	12	29	35	72	0	150	49	67	119	14	2	18	10	36	8	1	3	614
全身障害および投与局所様態	7例	2例	1例	14例	11例		2例	8例	4例		5例		1例	7例	2例				2例				33例
無力症				1	1									1									1
死亡	2			3	1				2		1					1							4
インフルエンザ様疾患							1	1								1							1
倦怠感	1	1		1							2			1									3
疼痛				1	1																		1
発熱	3	1	1	8	9		1	6	2		2		1	6	1				2				23
潰瘍	1			1				1															1
臨床検査	26例	1例	2例	27例	13例	2例	2例		5例		9例	4例	3例	5例				3例	7例	1例		2例	50例
アミンアミノトランスフェラーゼ増加	1			3	1						1			1									3
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	1			3	1						1			1									3
血中グルタミン酸増加				2	1						1												2
血中グルタミン増加																			1				1
血中ブドウ糖増加				1	1							1	1									2	2
血便						1			1														1
血中乳酸脱水素酵素増加				1							1												1
C-反応性蛋白増加											1												1
胸部X線異常				1	1																		1
薬物濃度増加													1										1
顆粒球数減少				1																			2
肝機能検査値異常				2	2							1	1	1						1			2
好中球数減少	4			1							1												4
血小板数減少	4	1	1	7	4	1	1		2		2	1		2				1	6				13
赤血球数減少	4			2																			4
体重減少				1	1							1	1										1
白血球数減少	18		2	12	1		1		1		4	1		1				3	2				23
肝酵素上昇				1	1						1												1
免疫学的検査正常				1	1				1														1
傷害、中毒および処置合併症	1例			1例					1例			1例	1例										2例
硬膜下血腫												1	1										1
腰椎骨折	1			1					1														1

表図 1

エビビル+ゼリット+ストックリン

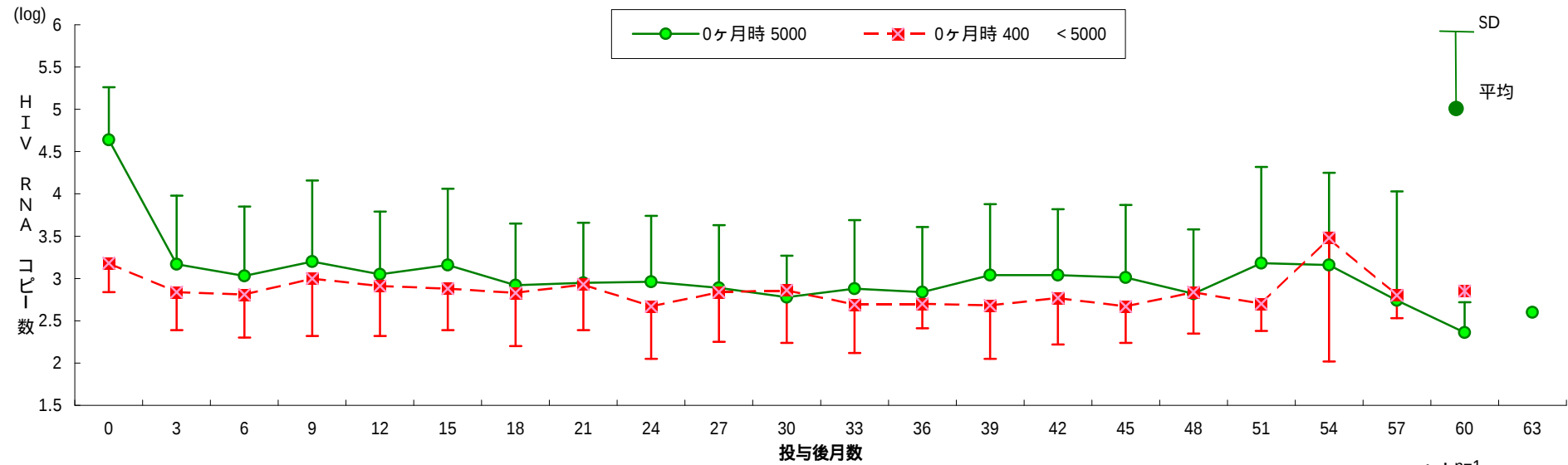
治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽 性 リ ン パ 球 数	0ヶ月時 ＜200	無	n	61	45	34	26	19	9	13	10	2	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	84.2 59.1	195.6 110.5	218.9 108.7	203.7 83.7	281.9 129.2	329.4 121.7	305.6 152.7	330.5 133.5	554.5 26.2	465.5 136.5	570.5 88.4	430.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n	31	21	14	10	10	7	7	5	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	118.9 59.6	218.6 112.2	248.8 152.2	251.1 156.6	342.8 119.3	338.7 130.7	420.5 189.6	435.6 159.2	422.7 44.6	622.8 199.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 200 ＜500	無	n	27	18	15	9	9	11	8	7	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	299.9 69.0	382.6 102.8	440.0 179.2	453.4 141.3	513.3 109.2	465.4 112.9	494.9 128.7	568.0 151.2	595.0 118.8	575.0 333.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n	52	38	31	20	24	14	10	11	7	5	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	328.4 83.2	356.3 99.6	371.9 129.2	400.2 125.6	420.9 132.1	447.5 164.9	353.1 180.5	375.8 119.3	454.3 184.6	340.8 164.8	542.0 -	558.0 -	525.5 72.8	583.0 -	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 500	有	n	11	7	6	7	8	5	5	3	2	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	673.1 147.6	724.9 112.6	642.6 192.0	798.7 223.7	688.0 103.0	766.8 168.1	637.8 178.7	839.3 358.5	1047.5 712.1	683.5 462.6	-	-	695.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-
血 漿 中 H I V R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n	76	54	42	29	25	17	19	16	4	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
			Mean S.D.	5.0 0.6	2.5 0.5	2.5 0.3	2.5 0.3	2.5 0.2	2.6 0.2	2.5 0.2	2.6 0.2	2.6 0.1	2.6 0.0	2.6 0.0	2.6 0.0	2.6 -	2.6 -	-	-	-	-	-	-	-
		有	n	21	16	11	8	11	7	7	5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	4.8 0.7	2.9 0.7	2.8 0.9	2.6 0.4	2.6 0.6	2.8 0.9	2.9 0.8	3.0 0.9	2.4 0.3	2.6 0.0	2.6 0.0	2.6 0.0	2.6 0.0	2.6 0.0	-	-	-	-	-	-	-
		計	n	97	70	53	37	36	24	26	21	6	6	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	4.9 0.6	2.6 0.5	2.5 0.5	2.5 0.3	2.5 0.4	2.6 0.5	2.6 0.5	2.7 0.5	2.5 0.2	2.6 0.0	2.6 0.0	2.6 0.0	2.6 0.0	2.6 0.0	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 400 ＜5000	有	n	21	14	11	7	7	6	2	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			Mean S.D.	3.1 0.3	2.6 0.2	2.6 0.2	2.6 0.3	2.5 0.3	2.4 0.4	2.6 0.1	2.9 0.5	2.5 0.2	3.8 0.2	3.8 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	検査有(n) 検出限界以下(n) [＜400]	有				132	89	70	49	46	32	33	27	10	10	2	1	1	-	-	-	-	-	
						19	72	67	46	43	30	30	29	9	8	2	1	1	-	-	-	-	-	-
						14%	81%	96%	94%	93%	94%	88%	89%	90%	80%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	



表図 2

エビビル+ゼリット+ピラセプト

治療経験				0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月	
C D 4 陽 性 リ ン パ 球 数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	44 93.0 59.2	34 219.9 124.1	31 218.8 126.8	26 277.9 134.1	21 285.9 206.1	21 329.9 232.3	15 307.7 158.5	16 288.6 157.1	20 347.9 135.0	15 339.2 168.3	13 397.9 241.7	16 424.7 252.0	16 415.7 266.8	8 450.1 326.1	4 535.5 181.7	4 524.0 180.6	3 417.3 239.6	3 589.3 661.8	1 392.0 -	3 661.3 411.2	2 533.0 294.2	- -	
		有	n Mean S.D.	124 109.0 58.7	95 168.9 109.3	64 183.6 100.1	59 194.5 105.1	41 230.9 119.4	38 251.2 105.7	30 219.9 87.4	27 284.6 142.8	22 276.6 115.6	21 275.8 137.0	14 307.1 115.6	18 252.9 86.8	11 313.5 155.4	12 236.3 95.7	10 267.7 109.7	8 251.3 114.7	2 227.0 76.4	4 296.5 128.0	1 71.0 -	- -	- -	- -	
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	46 318.5 75.6	38 462.7 162.2	33 471.3 156.4	18 521.5 162.2	24 477.6 164.7	15 542.1 190.9	18 545.3 206.6	19 544.8 190.0	21 624.4 217.3	22 600.4 192.7	18 614.7 211.4	16 623.0 187.5	15 667.4 223.8	12 674.0 274.1	10 644.7 222.9	9 624.4 240.0	6 676.8 287.3	2 739.5 318.9	2 433.5 375.5	- -	- -	- -	
		有	n Mean S.D.	112 326.4 77.1	83 372.0 139.0	72 415.9 138.8	61 430.3 135.0	61 445.2 154.0	50 476.0 171.1	40 469.5 146.1	39 468.4 158.9	34 496.4 184.0	38 488.7 129.8	35 527.3 137.8	35 524.5 155.7	27 527.0 197.6	29 538.1 179.8	26 528.1 180.5	27 577.7 232.0	9 505.3 208.6	12 464.8 216.7	7 494.1 247.9	6 454.3 268.2	3 430.7 252.8	1 509.0 -	
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	52 685.9 185.3	34 641.9 183.9	35 701.3 299.0	22 721.4 312.8	21 622.4 194.1	23 667.1 144.5	20 669.2 196.9	16 764.7 263.9	18 764.0 230.2	10 699.3 131.9	7 633.6 200.6	6 740.3 202.1	8 841.9 266.5	6 825.3 241.7	8 873.9 301.9	2 979.0 291.3	4 822.5 354.0	2 899.5 135.1	1 532.0 -	- -	- -	- -	
		有	n Mean S.D.	71 4.8 0.6	56 2.7 0.4	51 2.6 0.3	33 2.7 0.5	35 2.6 0.2	28 2.7 0.6	24 2.6 0.2	27 2.7 0.4	29 2.6 0.4	26 2.7 0.6	23 2.6 0.3	26 2.7 0.8	25 2.7 0.7	13 2.5 0.3	10 2.5 0.2	7 2.5 0.3	6 2.6 0.5	4 2.8 1.4	1 2.2 -	3 2.1 0.4	2 2.2 0.4	- -	
	血 漿 中 H I V R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 5000	有	n Mean S.D.	110 4.5 0.6	85 3.5 0.9	60 3.4 1.0	50 3.5 1.0	40 3.4 0.8	35 3.6 0.9	22 3.3 0.9	27 3.2 0.9	21 3.4 0.9	20 3.2 0.8	13 3.1 0.6	22 3.1 0.8	19 3.1 0.9	18 3.4 0.9	13 3.4 0.8	13 3.3 0.9	3 3.2 1.1	6 3.5 0.9	3 4.6 1.1	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -
			計	n Mean S.D.	181 4.6 0.6	141 3.2 0.8	111 3.0 0.8	83 3.2 1.0	75 3.1 0.7	63 3.2 0.9	46 2.9 0.7	54 3.0 0.7	50 3.0 0.8	46 2.9 0.7	36 2.8 0.5	48 2.9 0.8	44 2.8 0.8	31 3.0 0.8	23 3.0 0.8	20 3.0 0.9	9 2.8 0.9	10 3.2 1.1	4 3.2 1.1	4 2.7 1.3	3 2.4 0.4	1 2.6 -
			0ヶ月時 400 < 5000	n Mean S.D.	76 3.2 0.3	56 2.8 0.5	47 2.8 0.5	41 3.0 0.7	43 2.9 0.6	38 2.9 0.5	25 2.8 0.6	23 2.9 0.5	21 2.7 0.6	22 2.8 0.6	23 2.9 0.6	22 2.7 0.6	15 2.7 0.3	17 2.7 0.6	15 2.8 0.6	16 2.7 0.4	6 2.8 0.5	5 2.7 0.3	3 3.5 1.5	1 2.8 0.3	- -	- -
			検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]		294 41 14%	214 122 57%	169 117 69%	134 80 60%	129 81 63%	113 72 64%	81 61 75%	85 56 66%	80 55 69%	77 52 68%	67 48 72%	74 55 74%	62 44 71%	52 33 63%	44 30 68%	39 26 67%	19 13 68%	18 9 50%	11 5 45%	9 5 56%	5 3 60%	1 1 100%



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤 1 剤の併用療法である。

治療開始3ヶ月で、5割以上の症例においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になり、治療効果が認められる。また、効果は4年以上維持されている。

CD4: 投与前CD4数500未満の症例において、治療経験の有無に関わらず治療開始後CD4数は増加し、高値を維持している。特に、投与前CD4数200未満の治療未経験者の増加傾向は顕著である。

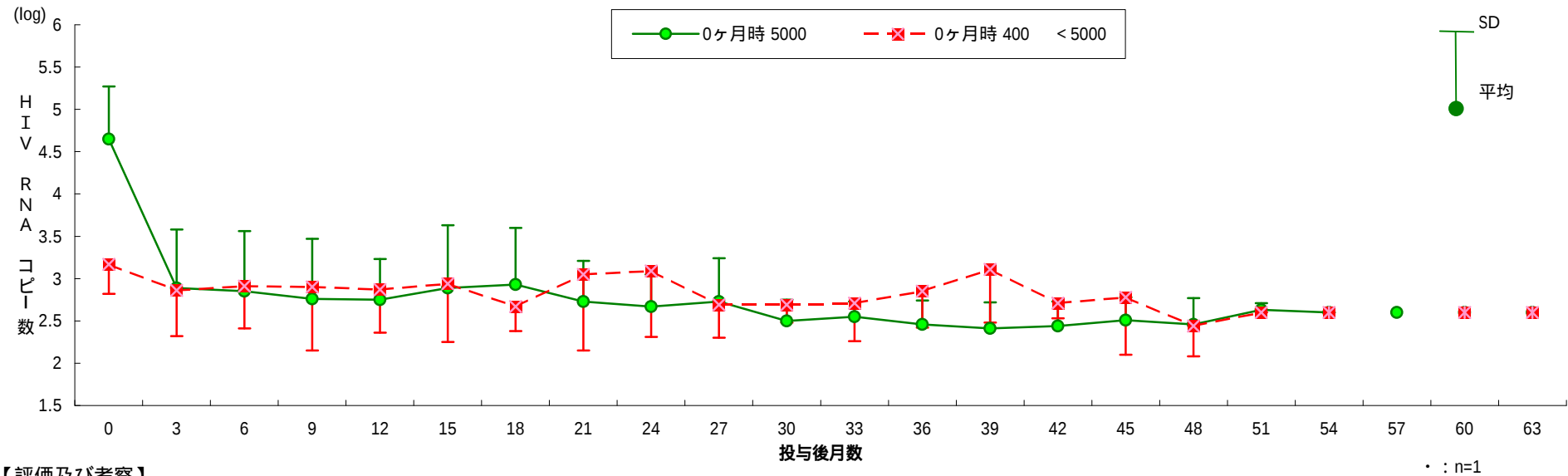
また、投与前CD4数500以上でも、減少傾向は認められていない。

RNA: 投与前HIV-RNAコピー数に関わらず、効果が認められる。特に、投与前HIV-RNAコピー数が5000以上で、投与初期の減少傾向は顕著である。

表図 3

レトロビル+エビル+ピラセプト

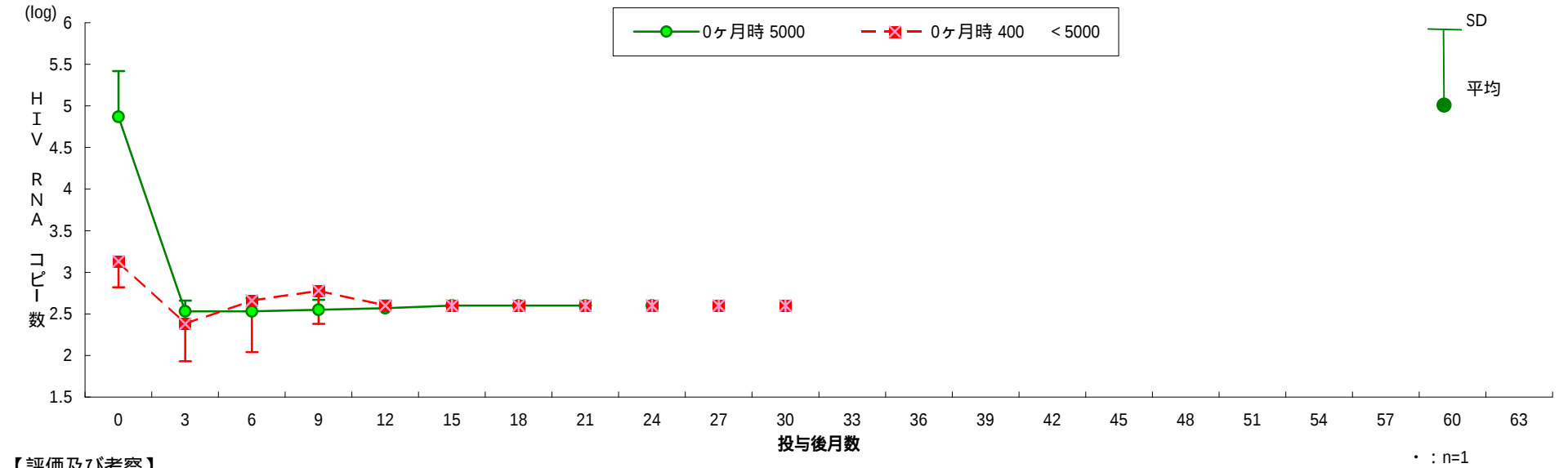
治療経験				0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月	
C D 4 陽性 リン パ 球 数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	27 101.4 75.3	19 201.2 105.1	16 202.4 106.6	8 276.8 68.4	11 259.8 131.8	7 297.0 141.3	4 262.5 146.6	3 379.3 133.7	4 284.0 104.7	5 418.1 147.8	2 429.5 301.9	2 214.5 48.8	2 323.0 12.7	1 305.5 -	1 345.0 -	2 341.0 26.9	1 205.0 -	2 282.5 34.7	- -	- -	- -	- -	
		< 200	有	n Mean S.D.	50 120.0 77.8	40 171.8 118.0	33 215.4 182.2	17 225.7 99.9	16 287.4 156.8	10 251.1 155.2	10 247.0 127.5	13 336.9 255.6	8 362.1 206.2	5 478.2 342.5	5 308.0 215.5	6 294.4 120.4	4 372.0 294.1	1 330.0 -	2 581.0 519.0	1 169.0 -	1 179.0 -	1 247.0 -	1 305.0 -	- -	- -	- -
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	46 332.9 83.5	38 443.3 163.6	28 522.0 132.3	20 505.4 185.8	22 585.3 197.0	23 593.8 171.6	14 529.5 162.6	13 595.2 257.3	17 601.8 192.3	11 628.2 155.3	12 643.4 126.5	15 622.4 179.3	10 659.2 219.2	10 681.8 305.5	11 614.7 226.7	8 682.3 229.1	8 752.3 284.5	3 722.3 167.2	3 798.0 222.4	- -	1 706.0 -	1 710.0 -	
		< 500	有	n Mean S.D.	87 330.6 86.6	67 386.9 146.7	62 417.6 160.3	42 393.1 126.2	32 425.3 128.1	37 440.5 175.7	29 496.9 162.6	29 450.5 161.2	22 483.9 139.6	21 554.1 243.2	24 498.3 169.0	17 476.6 163.4	12 485.9 162.3	14 487.6 154.1	12 541.3 184.6	10 464.1 185.4	5 386.6 116.4	3 383.3 195.0	2 296.5 37.5	3 420.3 316.9	2 580.5 345.8	3 535.0 427.7
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	46 703.0 167.9	37 710.5 192.2	28 726.2 182.0	19 794.5 247.0	18 755.9 281.0	19 786.6 227.1	20 821.2 213.7	13 877.9 282.6	18 775.9 205.1	16 828.1 239.8	15 845.7 211.1	15 747.1 336.1	12 814.0 324.2	10 686.6 189.5	3 788.0 315.8	8 836.8 295.4	6 882.5 249.5	4 723.5 211.5	1 394.0 -	1 413.0 -	- -	1 1003.0 -	
		> 500	有	n Mean S.D.	87 330.6 86.6	67 386.9 146.7	62 417.6 160.3	42 393.1 126.2	32 425.3 128.1	37 440.5 175.7	29 496.9 162.6	29 450.5 161.2	22 483.9 139.6	21 554.1 243.2	24 498.3 169.0	17 476.6 163.4	12 485.9 162.3	14 487.6 154.1	12 541.3 184.6	10 464.1 185.4	5 386.6 116.4	3 383.3 195.0	2 296.5 37.5	3 420.3 316.9	2 580.5 345.8	3 535.0 427.7
	血漿中 H I V R N A コピ ー 数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	61 4.8 0.6	51 2.7 0.4	39 2.6 0.4	22 2.7 0.5	28 2.7 0.4	26 2.7 0.5	14 2.9 0.7	16 2.6 0.3	17 2.7 0.4	13 2.8 0.6	13 2.5 0.3	13 2.5 0.2	11 2.4 0.3	10 2.4 0.3	9 2.4 0.3	8 2.5 0.3	6 2.4 0.3	4 2.6 0.1	2 2.6 0.0	- -	- -	- -
			有	n Mean S.D.	53 4.5 0.6	41 3.2 0.8	33 3.1 0.9	15 2.9 1.0	13 2.8 0.6	15 3.3 0.9	11 3.0 0.7	8 2.9 0.7	5 2.6 0.0	2 2.6 0.0	7 2.6 0.0	4 2.6 0.0	2 2.6 0.0	3 2.6 0.0	2 2.6 0.0	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	
		0ヶ月時 400 < 5000	無	n Mean S.D.	43 3.2 0.4	36 2.9 0.5	25 2.9 0.5	21 2.9 0.8	15 2.9 0.5	13 2.9 0.7	16 2.7 0.7	12 3.1 0.3	13 3.1 0.9	15 2.7 0.4	10 2.7 0.2	13 2.7 0.5	7 2.9 0.4	5 3.1 0.6	6 2.7 0.2	5 2.8 0.7	5 2.4 0.4	2 2.6 0.0	1 2.6 -	- -	1 2.6 -	1 2.6 -
> 5000			有	n Mean S.D.	43 3.2 0.4	36 2.9 0.5	25 2.9 0.5	21 2.9 0.8	15 2.9 0.5	13 2.9 0.7	16 2.7 0.7	12 3.1 0.3	13 3.1 0.9	15 2.7 0.4	10 2.7 0.2	13 2.7 0.5	7 2.9 0.4	5 3.1 0.6	6 2.7 0.2	5 2.8 0.7	5 2.4 0.4	2 2.6 0.0	1 2.6 -	- -	1 2.6 -	1 2.6 -
検査有(n)				187	140	110	70	63	62	49	43	42	36	36	33	24	22	19	18	15	9	5	4	3	4	
検出限界以下(n)				29	94	79	52	49	46	37	30	31	27	32	31	21	17	17	17	15	7	4	3	3	4	
[<400]				16%	67%	72%	74%	78%	74%	76%	70%	74%	75%	89%	94%	88%	82%	89%	94%	100%	78%	80%	75%	100%	100%	



表図 4

レトロビル+エピビル+ストックリン

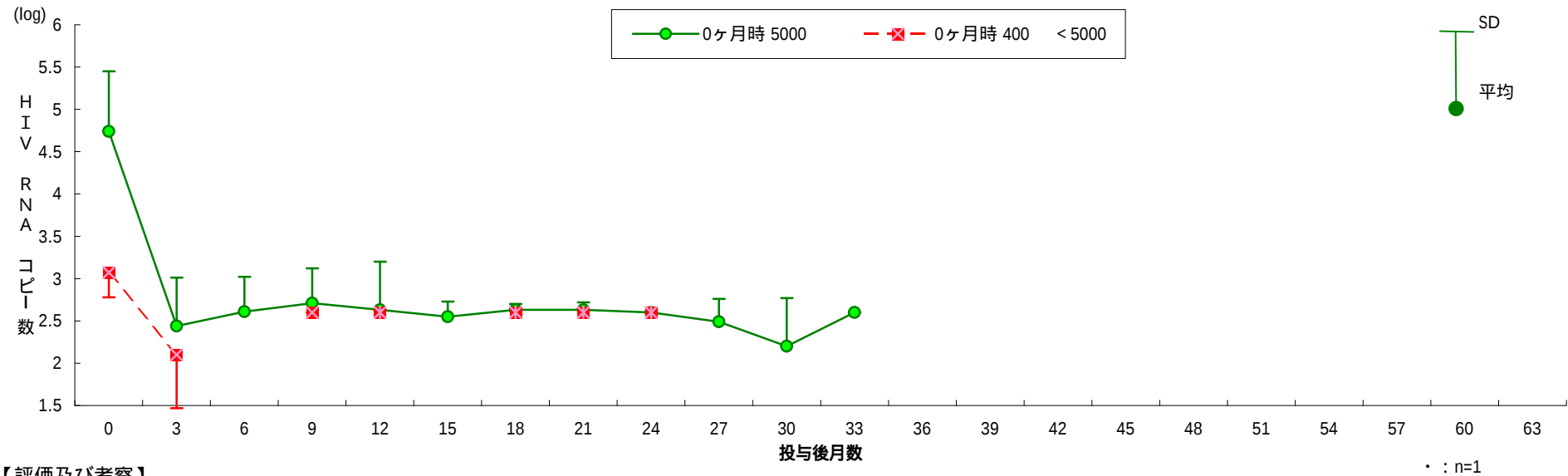
治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月	
C D 4 陽性 リン パ 球 数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	5 74.0 27.0	3 96.3 70.5	5 115.6 73.6	2 103.5 64.4	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
		< 200	n Mean S.D.	10 112.0 56.1	8 151.5 31.3	8 154.4 66.3	7 188.3 60.3	5 177.3 32.6	2 178.5 2.1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	10 289.0 61.7	5 403.5 193.7	7 362.4 96.7	6 386.3 102.4	5 460.0 189.6	3 491.7 57.2	3 370.7 135.2	3 463.0 48.4	2 572.5 115.3	1 574.0 -	1 509.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
		有	n Mean S.D.	20 319.4 73.7	17 338.1 91.5	8 334.0 82.6	9 333.0 129.0	12 419.9 171.1	6 433.8 110.3	5 450.6 59.4	2 636.5 197.3	3 557.7 122.5	2 773.0 352.1	2 773.5 170.4	- -	1 501.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	14 772.3 207.6	10 709.3 259.1	8 675.3 205.9	9 814.5 298.1	5 766.4 264.5	6 832.0 441.7	3 714.7 346.8	2 623.0 141.4	- -	1 718.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
		有	n Mean S.D.	9 4.9 0.5	5 2.5 0.1	6 2.5 0.2	4 2.6 0.0	4 2.6 0.0	2 2.6 0.0	2 2.6 0.0	2 2.6 0.0	1 2.6 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	5000	無	n Mean S.D.	5 4.8 0.7	3 2.5 0.2	5 2.5 0.2	2 2.5 0.2	3 2.5 0.1	1 2.6 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		計	n Mean S.D.	14 4.9 0.6	8 2.5 0.1	11 2.5 0.2	6 2.6 0.1	7 2.6 0.1	3 2.6 0.0	2 2.6 0.0	2 2.6 0.0	1 2.6 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	0ヶ月時 400 < 5000	無	n Mean S.D.	8 3.1 0.3	7 2.4 0.5	6 2.7 0.6	5 2.8 0.4	3 2.6 0.0	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		有	n Mean S.D.	3 0.3 -	14 0.5 -	17 0.6 -	11 0.4 -	10 0.0 -	5 0.0 -	4 0.0 -	4 0.0 -	2 0.0 -	1 0.0 -	2 0.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]			27	15	18	12	10	5	4	4	2	1	2												
			3	14	17	11	10	5	4	3	2	1	2												
数 (log)			11%	93%	94%	92%	100%	100%	100%	75%	100%	100%	100%												



表図 5

コンピビル+ストックリン

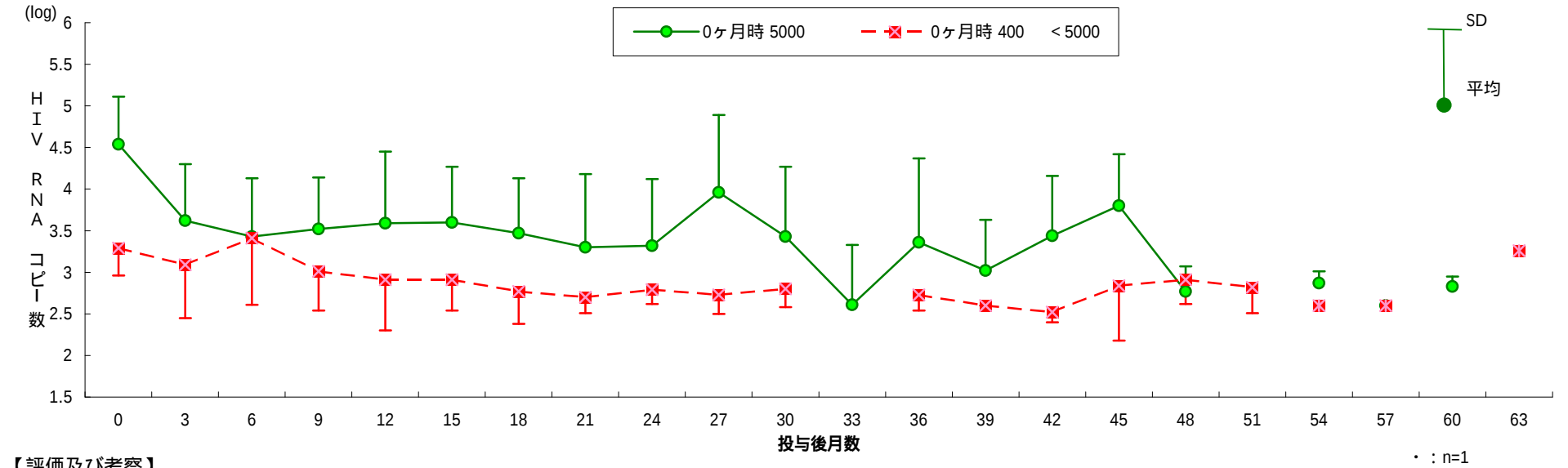
治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽 性 リ ン バ 球 数	0ヶ月時	無	n 9	8	3	3	4	4	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	156.6 52.6	278.3 96.9	345.8 124.1	324.0 152.1	363.8 116.3	280.5 161.3	673.0 -	254.0 -	246.0 -	249.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	< 200	有	n 12	10	6	3	1	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	123.1 55.7	193.2 116.1	282.3 167.3	276.5 121.3	276.0 -	281.0 -	253.0 76.4	206.0 -	145.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 200 < 500	無	n 20	18	12	6	6	5	5	4	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	327.1 89.4	410.9 125.9	486.0 146.0	433.3 120.8	485.8 116.7	527.0 177.2	509.5 194.6	483.0 145.1	535.5 117.3	543.3 88.9	762.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	< 500	有	n 19	14	13	9	3	3	2	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	322.1 98.3	338.9 137.7	408.1 150.0	322.4 86.4	323.7 76.6	347.0 104.9	384.0 240.4	325.0 82.0	529.0 282.8	-	1001.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 500	無	n 17	14	8	11	8	8	5	5	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Mean S.D.	819.2 269.4	761.4 272.8	856.6 312.7	903.7 339.9	870.6 301.2	931.5 292.2	1119.6 450.4	761.8 179.4	922.3 205.7	1030.0 126.2	1075.0 -	668.0 441.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
血 漿 中 H I V R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n 27	24	16	8	10	10	5	5	4	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			Mean S.D.	4.7 0.8	2.5 0.3	2.5 0.2	2.6 0.0	2.5 0.3	2.6 0.2	2.6 0.0	2.6 0.0	2.6 0.0	2.5 0.3	1.8 -	2.6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		有	n 11	8	7	5	3	2	3	3	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			Mean S.D.	4.8 0.7	2.4 1.1	2.9 0.6	2.9 0.7	3.2 1.0	2.6 0.0	2.7 0.1	2.7 0.2	2.6 0.0	2.6 -	2.6 -	2.6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計		n 38	32	23	13	13	12	8	8	6	6	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			Mean S.D.	4.7 0.7	2.4 0.6	2.6 0.4	2.7 0.4	2.6 0.6	2.6 0.2	2.6 0.1	2.6 0.1	2.6 0.0	2.5 0.3	2.2 0.6	2.6 0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0ヶ月時 400 < 5000	無	n 5	4	-	2	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			Mean S.D.	3.1 0.3	2.1 0.6	-	2.6 0.0	2.6 -	2.6 -	2.6 -	2.6 -	2.6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]			51 8 16%	39 34 87%	25 21 84%	17 16 94%	15 14 93%	13 13 100%	9 8 89%	10 9 90%	8 8 100%	6 6 100%	2 2 100%	2 2 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	



表図 6

レトロビル+エビビル

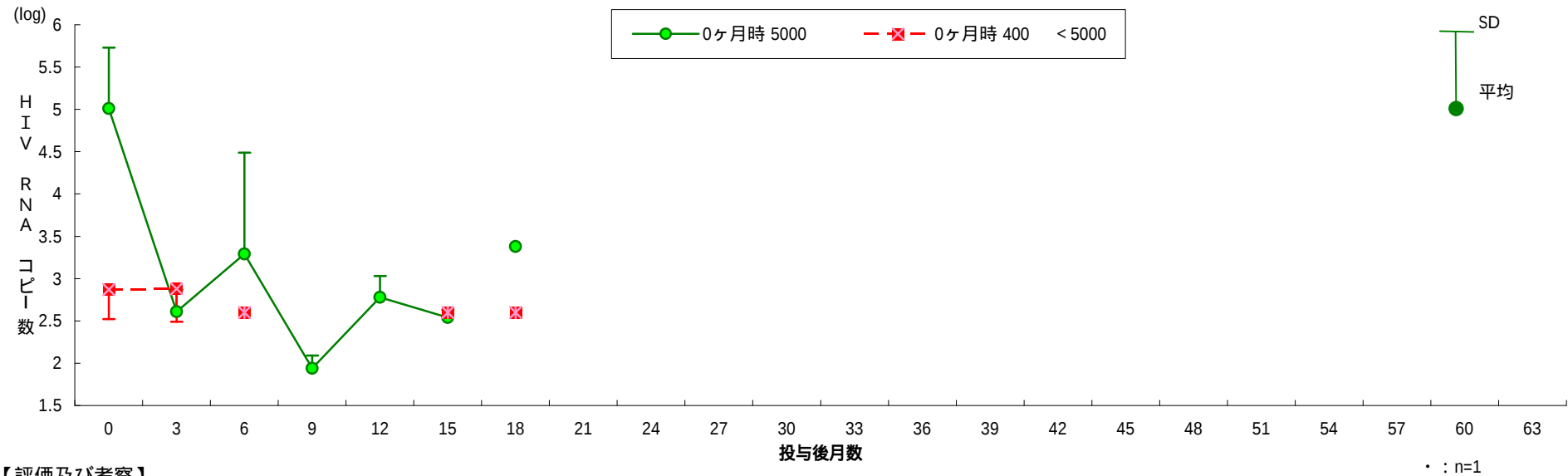
治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月	
C D 4 陽 性 リ ン バ 球 数	0ヶ月時	無	n 27	23	12	6	4	3	3	2	3	5	-	2	4	3	-	1	1	1	4	2	3	2	
		Mean S.D.	102.2 64.5	179.3 100.9	161.5 83.8	222.8 34.7	138.5 100.1	256.7 125.9	252.2 79.3	151.5 44.6	211.0 76.9	255.0 147.6	- -	250.5 72.8	309.8 92.1	287.0 74.1	- -	300.0 -	414.0 -	422.0 -	362.3 106.7	358.0 69.3	349.0 47.1	415.5 92.6	
	<200	有	n 39	36	15	5	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Mean S.D.	107.5 67.8	140.1 89.7	123.1 74.1	133.2 110.0	62.8 52.9	115.5 146.4	265.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	0ヶ月時 200 <500	無	n 52	39	31	25	16	13	11	7	6	6	12	6	5	3	2	3	4	1	3	2	1	2	
		Mean S.D.	351.8 79.2	415.3 127.7	462.4 146.5	424.0 154.2	435.6 130.8	479.4 153.3	464.4 153.1	469.7 221.6	533.3 235.9	351.5 178.3	456.2 170.0	515.3 107.5	490.0 177.0	434.3 147.6	543.0 352.1	446.3 90.7	471.5 133.7	566.0 -	409.7 99.8	416.5 251.0	418.0 -	347.5 188.8	
	>500	有	n 72	55	43	32	25	21	20	15	13	12	10	8	7	4	5	8	7	5	4	6	2	3	
		Mean S.D.	341.3 88.7	369.0 110.4	350.2 110.3	393.4 120.6	381.1 114.8	388.2 92.2	375.0 103.1	388.2 109.3	391.6 155.3	401.8 174.4	347.7 82.7	418.6 149.4	328.7 110.6	319.0 118.1	317.2 119.3	444.9 240.3	444.6 194.4	342.8 109.0	330.0 164.7	467.5 131.7	482.5 61.5	375.0 123.5	
	0ヶ月時 500	無	n 33	24	18	17	8	9	10	8	7	3	5	2	4	2	1	2	3	-	-	2	1	-	
		Mean S.D.	639.6 170.7	549.1 205.7	585.0 149.5	590.8 181.3	584.9 156.5	737.1 314.5	636.1 247.0	694.4 206.5	594.4 148.6	674.0 37.5	585.9 96.0	544.0 45.3	436.8 110.7	597.5 78.5	447.0 -	392.5 43.1	395.7 90.7	-	-	467.5 210.0	344.0 -	-	
血 漿 中 H I V R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n 38	30	20	16	7	6	3	4	3	2	4	2	3	2	1	1	1	-	2	-	1	-	
		有	Mean S.D.	4.6 0.7	3.5 0.6	3.3 0.7	3.4 0.6	3.7 1.1	3.4 0.5	3.2 0.7	3.3 1.2	2.9 1.2	4.1 1.1	3.1 1.0	2.2 0.9	2.6 0.4	2.7 0.2	2.9 -	3.8 -	2.6 -	-	2.9 0.1	-	2.8 -	-
		有	n 41	34	20	15	10	13	7	5	5	4	4	2	3	1	1	3	2	-	-	1	1	-	
		Mean S.D.	4.5 0.5	3.7 0.7	3.5 0.7	3.7 0.6	3.5 0.7	3.6 0.7	3.3 0.7	3.3 0.5	3.6 0.8	3.9 1.0	3.8 0.6	3.0 0.1	4.1 0.8	3.7 -	4.0 -	3.8 0.8	2.9 0.4	-	-	2.6 -	2.9 -	-	
	0ヶ月時 400 <5000	無	n 79	64	40	31	17	19	10	9	8	6	8	4	6	3	2	4	3	-	2	1	2	-	
		Mean S.D.	4.5 0.6	3.6 0.7	3.4 0.7	3.5 0.6	3.6 0.9	3.6 0.7	3.5 0.7	3.3 0.9	3.3 0.8	4.0 0.9	3.4 0.8	2.6 0.7	3.4 1.0	3.0 0.6	3.4 0.7	3.8 0.6	2.8 0.3	-	2.9 0.1	2.6 -	2.8 0.1	-	
	0ヶ月時 400 <5000	有	n 38	28	17	13	10	6	5	4	3	3	2	-	2	2	2	3	2	2	1	1	-	1	
		Mean S.D.	3.3 0.3	3.1 0.6	3.4 0.8	3.0 0.5	2.9 0.6	2.8 0.4	2.7 0.2	2.8 0.2	2.7 0.2	2.8 0.2	2.7 -	2.8 0.2	2.6 0.0	2.6 0.1	2.5 0.7	2.8 0.3	2.9 0.3	2.8 0.3	2.6 -	2.6 -	-	3.3 -	
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	無	n 155	105	69	54	33	30	19	19	15	12	14	5	10	6	5	9	7	3	3	3	2	2	
		有	Mean S.D.	28 18%	27 26%	23 33%	9 17%	12 36%	6 20%	10 53%	4 32%	5 42%	5 36%	2 40%	3 30%	3 50%	3 60%	3 33%	3 43%	2 67%	1 33%	3 100%	0 0%	1 50%	



表図 7

エビビル+ゼリット+カレトラ

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽 性 リ ン パ 球 数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	5 68.6 67.4	3 265.0 24.4	1 255.0 -	1 225.0 -	1 139.0 -	1 65.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		< 200	n Mean S.D.	2 135.3 15.2	2 268.5 50.2	1 294.0 -	1 219.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n Mean S.D.	3 379.3 85.7	3 382.8 93.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	2 647.5 29.0	1 722.0 -	2 474.0 288.5	-	1 360.0 -	2 692.5 228.4	2 633.0 336.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n Mean S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	5 5.2 0.7	3 2.7 0.2	1 2.6 -	1 2.0 -	1 2.6 -	1 2.6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n Mean S.D.	3 4.7 0.8	2 2.4 0.3	2 3.6 1.5	1 1.8 -	1 3.0 -	1 2.5 -	1 3.4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		計	n Mean S.D.	8 5.0 0.7	5 2.6 0.3	3 3.3 1.2	2 1.9 0.2	2 2.8 0.3	2 2.5 0.1	1 3.4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
血 漿 中 H I V R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 400 < 5000	無	n Mean S.D.	2 2.9 0.4	2 2.9 0.4	1 2.6 -	-	-	1 2.6 -	1 2.6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n Mean S.D.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	検査有(n)		15	7	4	2	2	3	2														
		検出限界以下(n) [<400]		1 7%	5 71%	3 75%	2 100%	1 50%	3 100%	1 50%														



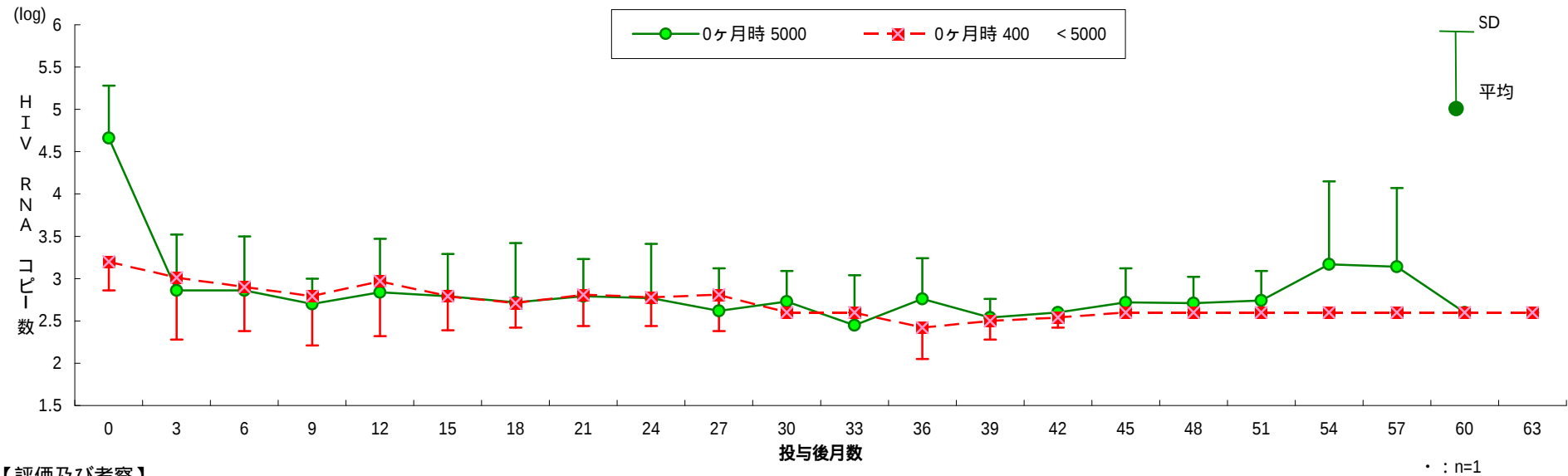
【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と 2 種類のプロテアーゼ阻害剤の配合剤 1 剤の併用療法である。
CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図 8

レトロビル+エビビル+クリキシバン

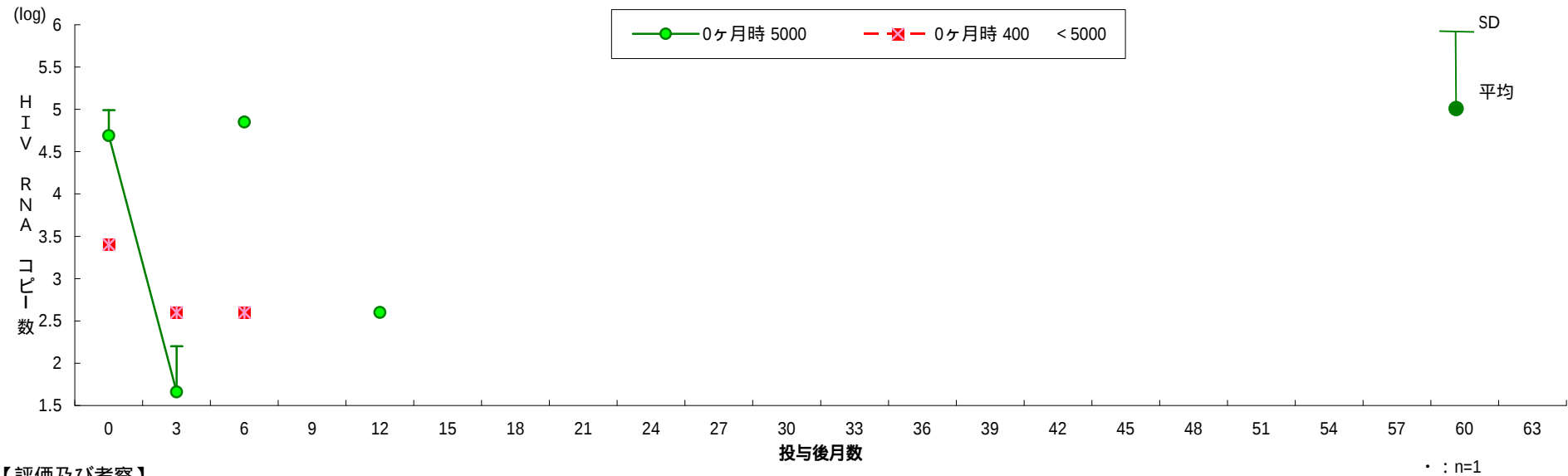
治療経験				0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月	
C D 4 陽性リンパ球数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	62 81.9 70.8	53 170.2 133.4	34 208.5 177.9	25 258.8 177.5	23 300.2 216.0	16 333.3 245.8	13 310.8 171.6	9 240.3 153.1	12 317.7 146.5	8 302.1 98.2	6 262.2 93.7	6 373.0 124.0	4 366.5 33.7	4 369.6 130.6	3 477.7 264.2	5 499.8 251.3	2 364.0 166.9	1 211.0 -	- -	2 580.5 232.6	- -	- -	
		有	n Mean S.D.	75 90.0 66.6	62 141.5 109.5	47 166.8 103.1	31 212.3 124.1	29 217.4 136.3	18 275.4 182.0	23 285.2 124.5	10 275.3 127.2	12 266.2 73.2	11 292.3 136.8	9 283.3 123.9	4 357.0 73.0	2 353.5 122.3	6 451.8 152.5	3 378.0 229.5	4 481.5 315.1	5 429.7 186.2	4 362.8 55.0	2 370.0 107.5	- -	2 390.5 130.8	- -	- -
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	52 335.0 79.8	42 441.4 176.8	31 448.2 203.2	31 482.7 204.7	24 603.7 260.5	18 615.8 224.8	14 547.1 208.3	9 487.3 177.5	8 528.5 224.8	8 566.9 241.8	5 510.2 159.6	1 844.0 -	1 436.0 -	2 550.0 52.3	2 605.5 260.9	1 696.0 -	1 499.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		有	n Mean S.D.	80 333.3 83.9	63 402.9 146.8	46 448.6 141.5	45 489.5 184.6	32 445.4 211.4	33 481.9 189.7	30 483.4 162.6	21 506.3 201.4	15 654.4 203.3	10 514.9 212.3	6 633.3 187.4	3 601.0 233.5	8 562.6 155.9	6 576.3 293.7	5 444.8 158.6	5 640.2 298.0	5 543.4 274.1	6 510.2 261.6	5 422.8 126.3	4 581.5 229.9	5 388.6 80.5	3 594.3 224.3	
	0ヶ月時 500		n Mean S.D.	45 698.9 170.3	37 741.6 173.9	28 736.6 232.7	25 737.7 207.8	19 775.8 228.9	18 801.3 222.2	16 929.5 308.9	10 1002.8 352.5	8 882.3 205.8	6 933.3 211.7	7 918.7 184.7	2 769.5 130.8	5 1136.2 175.2	3 1358.3 540.3	4 1105.5 349.9	4 1011.5 231.0	4 1057.3 230.0	3 825.3 138.7	2 1031.0 7.1	2 1141.0 507.7	1 1410.0 -	1 939.0 -	
	血漿中H E I V I R N A コピイ数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	81 4.7 0.6	70 2.8 0.6	54 2.7 0.5	40 2.6 0.2	39 2.7 0.4	30 2.7 0.3	23 2.7 0.4	17 2.7 0.3	15 3.0 0.7	10 2.5 0.2	8 2.9 0.5	6 2.7 0.1	3 2.6 0.9	4 2.6 0.0	3 2.8 0.5	7 2.9 0.5	3 2.6 0.0	1 3.5 -	1 2.6 -	2 2.6 0.0	- -	- -
			有	n Mean S.D.	64 4.6 0.7	45 3.0 0.8	42 3.0 0.8	26 2.8 0.4	25 3.1 0.9	21 3.0 0.7	22 2.8 0.9	12 2.9 0.6	12 2.5 0.4	8 2.7 0.7	10 2.6 0.1	4 2.2 0.9	6 2.8 0.6	7 2.5 0.3	3 2.6 0.0	5 2.6 0.0	5 2.6 0.0	5 2.6 0.0	2 3.5 1.2	1 4.2 -	3 2.6 0.0	- -
			計	n Mean S.D.	145 4.7 0.6	115 2.9 0.7	96 2.9 0.6	66 2.7 0.3	64 2.8 0.6	51 2.8 0.5	45 2.7 0.7	29 2.8 0.4	27 2.8 0.6	18 2.6 0.5	18 2.7 0.4	10 2.5 0.6	9 2.8 0.5	11 2.5 0.2	6 2.6 0.0	12 2.7 0.4	8 2.7 0.3	6 2.7 0.4	3 3.2 1.0	3 3.1 0.9	3 2.6 0.0	- -
			0ヶ月時 400 < 5000		n Mean S.D.	51 3.2 0.3	43 3.0 0.7	26 2.9 0.5	20 2.8 0.6	20 3.0 0.7	11 2.8 0.4	13 2.7 0.3	11 2.8 0.4	9 2.8 0.3	9 2.8 0.4	4 2.6 0.0	2 2.6 0.0	4 2.4 0.4	5 2.5 0.2	4 2.5 0.1	3 2.6 0.0	3 2.6 0.0	3 2.6 0.0	2 2.6 0.0	3 2.6 0.0	3 2.6 0.0
		検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]			233 39 17%	169 111 66%	132 102 77%	99 80 81%	89 70 79%	70 53 76%	63 54 86%	42 33 79%	39 32 82%	28 24 86%	23 19 83%	12 10 83%	14 13 93%	17 16 94%	11 11 100%	16 15 94%	12 11 92%	10 9 90%	6 5 83%	6 5 83%	6 6 100%	3 3 100%



表図 9

レトロビル+エビビル+カレトラ

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽性リンパ球数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	1 65.0 -	1 120.0 -	- - -	- - -	1 484.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		< 200	n Mean S.D.	3 139.3 25.8	3 274.3 68.5	3 244.3 22.7	- - -	1 578.0 -	- - -	1 310.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	1 376.0 -	1 406.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	3 481.2 113.3	2 436.0 114.6	2 380.0 91.9	2 445.5 143.5	2 491.0 261.6	1 321.0 -	1 273.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	3 720.3 251.6	2 769.0 69.3	2 885.0 202.2	2 787.0 100.4	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	3 481.2 113.3	2 436.0 114.6	2 380.0 91.9	2 445.5 143.5	2 491.0 261.6	1 321.0 -	1 273.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	3 720.3 251.6	2 769.0 69.3	2 885.0 202.2	2 787.0 100.4	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	3 481.2 113.3	2 436.0 114.6	2 380.0 91.9	2 445.5 143.5	2 491.0 261.6	1 321.0 -	1 273.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	3 720.3 251.6	2 769.0 69.3	2 885.0 202.2	2 787.0 100.4	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	3 481.2 113.3	2 436.0 114.6	2 380.0 91.9	2 445.5 143.5	2 491.0 261.6	1 321.0 -	1 273.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
血漿中 H I V R N A コピ ー数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	2 4.5 0.0	2 1.7 0.5	- - -	- - -	1 2.6 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	1 5.0 -	- - -	1 4.9 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		計	n Mean S.D.	3 4.7 0.3	2 1.7 0.5	1 4.9 -	- - -	1 2.6 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		0ヶ月時 400 < 5000	n Mean S.D.	1 3.4 -	1 2.6 -	1 2.6 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	検査有(n)	4	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		検出限界以下(n) [<400]	0 0%	3 100%	1 50%	-	1 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	検査有(n)	4	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		検出限界以下(n) [<400]	0 0%	3 100%	1 50%	-	1 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	検査有(n)	4	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		検出限界以下(n) [<400]	0 0%	3 100%	1 50%	-	1 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



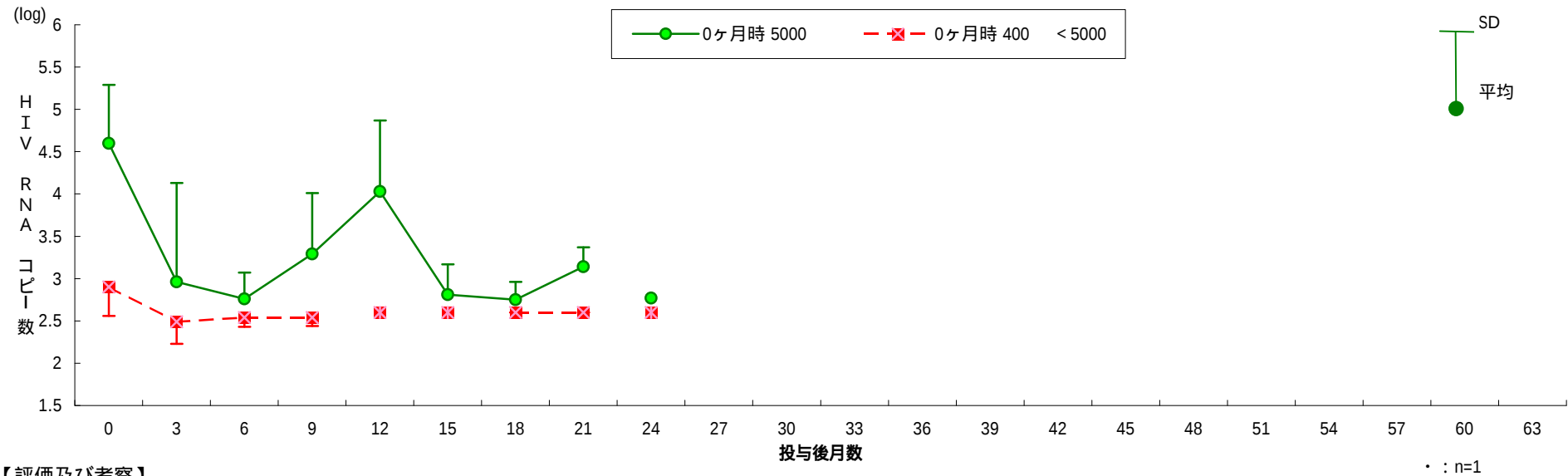
【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と 2 種類のプロテアーゼ阻害剤の配合剤 1 剤の併用療法である。
CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図10

ヴァイデックス+ゼリット+ストックリン

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽 性 リ ン バ 球 数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	1 133.5 -	- - -	1 317.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		< 200	n Mean S.D.	9 95.1 57.1	8 178.1 154.9	3 179.7 58.5	6 128.4 39.1	2 186.5 103.9	2 249.0 46.7	2 207.0 82.0	1 124.0 -	1 86.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	22 319.0 83.8	14 332.4 98.2	6 406.0 113.8	9 367.0 155.8	6 382.4 158.0	5 343.0 138.2	6 437.7 158.9	5 394.6 134.9	4 433.0 120.3	- - -	2 563.0 90.5	2 787.5 241.1	1 692.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	6 681.3 311.5	4 593.3 49.5	2 527.3 86.6	4 751.0 -	- -	1 479.0 -	- -	1 648.0 -	1 514.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	1 3.8 -	- - -	1 2.6 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	16 4.7 0.7	11 3.0 1.2	3 2.8 0.4	8 3.3 0.7	3 4.0 0.8	3 2.8 0.4	2 2.8 0.2	2 3.1 0.2	1 2.8 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		計	n Mean S.D.	17 4.6 0.7	11 3.0 1.2	4 2.8 0.3	8 3.3 0.7	3 4.0 0.8	3 2.8 0.4	2 2.8 0.2	2 3.1 0.2	1 2.8 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
血 漿 中 H I V R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 400 < 5000	無	n Mean S.D.	6 2.9 0.3	6 2.5 0.3	3 2.5 0.1	3 2.5 0.1	1 2.6 -	1 2.6 -	2 2.6 0.0	2 2.6 0.0	1 2.6 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]			29 8 28%	17 13 76%	8 6 75%	12 6 50%	5 1 20%	6 3 50%	5 3 60%	6 2 33%	4 1 25%	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -



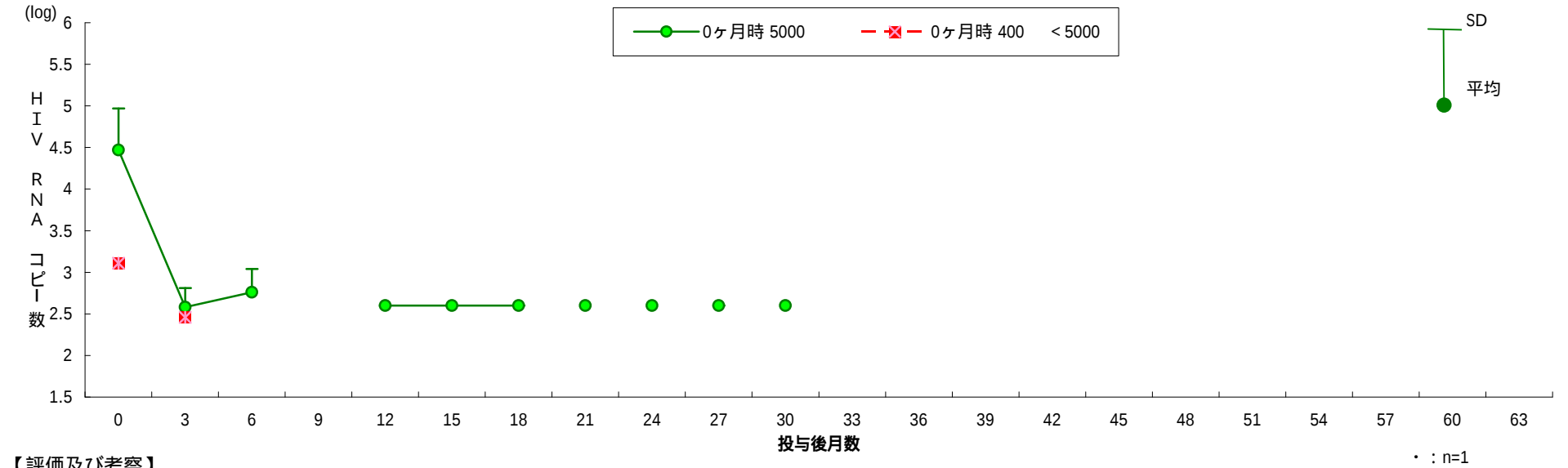
【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤 1 剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で、症例の約7割においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になっているが、CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図11

コンビビル+ ピラセプト

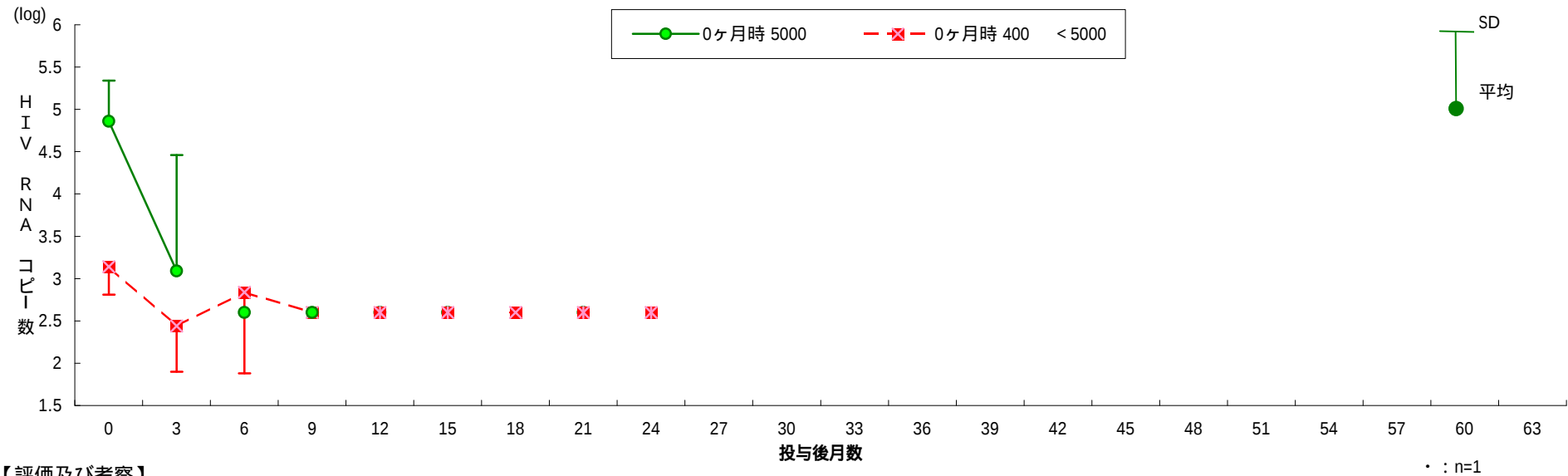
治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月	
C D 4 陽 性 リ ン バ 球 数	0ヶ月時 < 200	無	n 2 Mean 83.5 S.D. 13.4	n 2 Mean 167.0 S.D. 5.7	-	-	1 183.0	1 306.0	1 265.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		有	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0ヶ月時 200 < 500	無	n 5 Mean 321.1 S.D. 110.4	n 4 Mean 348.0 S.D. 165.1	n 3 Mean 390.3 S.D. 17.2	n 1 Mean 389.0 S.D. -	n 2 Mean 575.5 S.D. 166.2	n 2 Mean 621.5 S.D. 276.5	n 1 Mean 619.5 S.D. -	-	-	1 490.0	1 598.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		有	n 9 Mean 343.2 S.D. 52.8	n 5 Mean 368.8 S.D. 95.5	n 6 Mean 387.8 S.D. 113.3	n 3 Mean 463.3 S.D. 159.9	n 5 Mean 459.4 S.D. 65.7	n 3 Mean 406.0 S.D. 73.7	n 3 Mean 360.0 S.D. 106.2	n 3 Mean 561.7 S.D. 42.7	n 4 Mean 455.8 S.D. 127.1	n 3 Mean 549.3 S.D. 149.0	n 2 Mean 501.0 S.D. 193.8	n 1 Mean 690.0 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0ヶ月時 500	無	n 5 Mean 579.4 S.D. 73.9	n 3 Mean 644.0 S.D. 196.3	n 2 Mean 693.0 S.D. 240.4	n 3 Mean 771.0 S.D. 133.9	n 2 Mean 649.5 S.D. 222.7	-	1 853.0	3 680.5	3 752.0	2 589.0	1 483.0	1 445.0	1 616.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		有	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -		
	血 漿 中 H I V I R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n 6 Mean 4.6 S.D. 0.4	n 5 Mean 2.5 S.D. 0.1	n 3 Mean 2.8 S.D. 0.3	-	3 2.6	3 2.6	2 2.6	1 2.6	2 2.6	1 2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			有	n 1 Mean 3.8 S.D. -	n 1 Mean 3.0 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			計	n 7 Mean 4.5 S.D. 0.5	n 6 Mean 2.6 S.D. 0.2	n 3 Mean 2.8 S.D. 0.3	-	3 2.6	3 2.6	2 2.6	1 2.6	1 2.6	2 2.6	1 2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			0ヶ月時 400 < 5000	n 1 Mean 3.1 S.D. -	n 1 Mean 2.5 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
検査有(n)			10	8	3	-	3	3	2	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
検出限界以下(n)			2	7	2	-	3	3	2	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
<400			20%	88%	67%	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		



表図12

ヴァイデックス+ゼリット+カレトラ

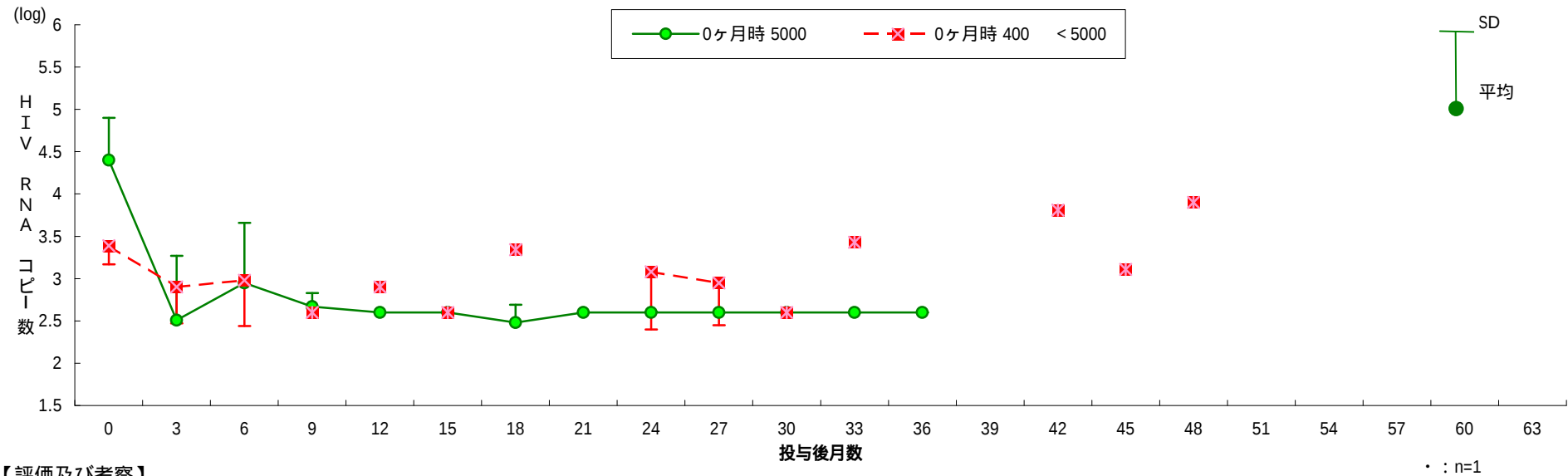
治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽 性 リ ン バ 球 数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		< 200	n Mean S.D.	6 131.9 23.9	5 179.0 23.8	2 131.5 135.1	1 292.0 -	1 251.0 -	1 458.0 -	1 598.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	3 338.3 118.6	3 342.3 114.2	2 271.5 61.5	2 442.0 67.9	1 573.0 -	1 621.0 -	2 335.5 395.3	1 748.0 -	1 702.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	5 592.0 48.0	4 796.8 374.7	3 730.3 141.9	2 794.0 58.0	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	3 338.3 118.6	3 342.3 114.2	2 271.5 61.5	2 442.0 67.9	1 573.0 -	1 621.0 -	2 335.5 395.3	1 748.0 -	1 702.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 500		n Mean S.D.	5 592.0 48.0	4 796.8 374.7	3 730.3 141.9	2 794.0 58.0	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
		有	n Mean S.D.	4 4.9 0.5	4 3.1 1.4	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	0ヶ月時 5000		n Mean S.D.	4 4.9 0.5	4 3.1 1.4	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
血 漿 中 H I V R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 400 < 5000		n Mean S.D.	7 3.1 0.3	5 2.4 0.5	5 2.8 1.0	4 2.6 0.0	1 2.6 -	1 2.6 -	2 2.6 0.0	1 2.6 -	1 2.6 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	検査有(n)			16	10	6	5	2	2	2	2	1												
	検出限界以下(n)			2	7	5	5	2	2	2	2	1												
	[<400]			13%	70%	83%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



表図13

エビビル+ゼリット+ピラミューン

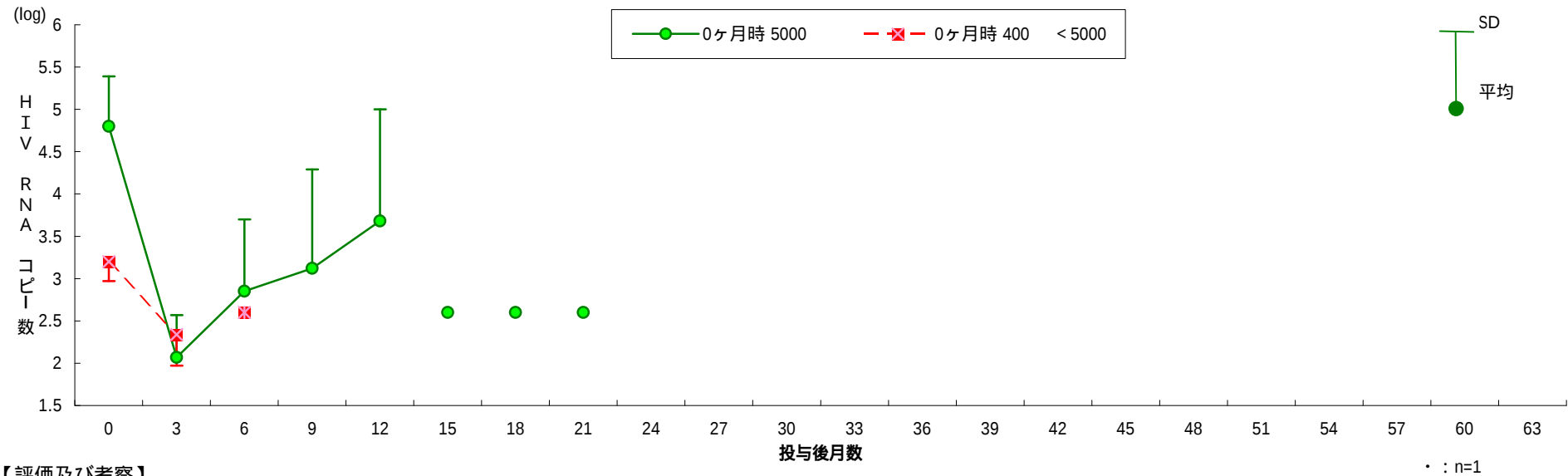
治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽 性 リ ン バ 球 数	0ヶ月時	無	n 3 Mean 154.3 S.D. 24.1	n 3 Mean 234.3 S.D. 78.4	n 2 Mean 204.0 S.D. 144.3	n 3 Mean 298.0 S.D. 88.8	n 1 Mean 256.0 S.D. -	n 2 Mean 280.5 S.D. 27.6	n 1 Mean 363.0 S.D. -	n 2 Mean 317.5 S.D. 105.4	n 1 Mean 379.0 S.D. -	n 1 Mean 477.0 S.D. -	n 1 Mean 394.0 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		< 200	n 4 Mean 109.4 S.D. 63.7	n 3 Mean 198.8 S.D. 110.0	n 1 Mean 142.0 S.D. -	n 1 Mean 368.0 S.D. -	n 1 Mean 274.0 S.D. -	-	n 1 Mean 392.0 S.D. -	-	n 2 Mean 280.0 S.D. 108.9	-	-	n 1 Mean 474.0 S.D. -	n 1 Mean 493.0 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 200 < 500	無	n 3 Mean 314.0 S.D. 112.6	n 3 Mean 439.0 S.D. 73.3	n 2 Mean 460.5 S.D. 46.0	n 2 Mean 444.5 S.D. 58.7	n 2 Mean 444.5 S.D. 72.8	n 2 Mean 479.0 S.D. 14.1	n 1 Mean 490.0 S.D. -	n 2 Mean 494.0 S.D. 31.1	n 3 Mean 504.7 S.D. 76.2	n 2 Mean 519.0 S.D. 1.4	n 2 Mean 585.0 S.D. 130.1	n 3 Mean 601.7 S.D. 50.0	n 1 Mean 528.0 S.D. -	-	1 302.0	1 411.0	1 547.0	-	-	-	-	-
		有	n 14 Mean 322.1 S.D. 86.3	n 9 Mean 298.0 S.D. 80.5	n 4 Mean 409.6 S.D. 124.8	n 4 Mean 495.9 S.D. 323.9	n 5 Mean 519.2 S.D. 257.8	n 5 Mean 443.3 S.D. 82.8	n 3 Mean 433.3 S.D. 103.3	n 5 Mean 432.6 S.D. 102.4	n 4 Mean 470.3 S.D. 119.0	n 4 Mean 532.0 S.D. 121.6	n 1 Mean 212.0 S.D. -	n 1 Mean 179.5 S.D. -	n 1 Mean 151.0 S.D. -	-	1 141.0	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 500	無	n 3 Mean 579.3 S.D. 103.4	n 1 Mean 950.0 S.D. -	n 2 Mean 488.0 S.D. 120.2	n 2 Mean 652.5 S.D. 3.5	n 1 Mean 670.0 S.D. -	n 1 Mean 790.0 S.D. -	n 1 Mean 894.0 S.D. -	n 1 Mean 843.0 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n 6 Mean 4.3 S.D. 0.5	n 5 Mean 2.7 S.D. 1.0	n 1 Mean 4.0 S.D. -	n 2 Mean 2.8 S.D. 0.3	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.4 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 4 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	-	n 1 Mean 2.6 S.D. -	n 1 Mean 2.6 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 400 < 5000	無	n 4 Mean 4.5 S.D. 0.5	n 4 Mean 2.3 S.D. 0.4	n 3 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 4 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 3 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 1 Mean 2.6 S.D. -	n 3 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 1 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 1 Mean 2.6 S.D. 0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n 6 Mean 4.3 S.D. 0.5	n 5 Mean 2.7 S.D. 1.0	n 1 Mean 4.0 S.D. -	n 2 Mean 2.8 S.D. 0.3	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.4 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 4 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	-	n 1 Mean 2.6 S.D. -	n 1 Mean 2.6 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 400 < 5000	計	n 10 Mean 4.4 S.D. 0.5	n 9 Mean 2.5 S.D. 0.8	n 4 Mean 3.0 S.D. 0.7	n 6 Mean 2.7 S.D. 0.2	n 4 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 5 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 3 Mean 2.5 S.D. 0.2	n 5 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 6 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 3 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 3 Mean 2.6 S.D. 0.0	n 2 Mean 2.6 S.D. 0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	17 3 18%	12 9 75%	6 4 67%	7 6 86%	5 4 80%	7 6 86%	4 3 75%	6 5 83%	9 7 78%	6 4 67%	4 3 75%	5 3 60%	3 2 67%	-	2 0 0%	1 0 0%	1 0 0%	-	-	-	-	-



表図14

コンビビル+カレトラ

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽 性 リ ン バ 球 数	0ヶ月時	無	n 5 Mean 77.9 S.D. 102.8	n 4 Mean 248.5 S.D. 164.2	n 2 Mean 244.5 S.D. 20.5	n 3 Mean 264.7 S.D. 62.6	n 2 Mean 306.5 S.D. 82.7	n 1 Mean 408.0 S.D. -	n 1 Mean 347.0 S.D. -	n 1 Mean 377.0 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		< 200	n 1 Mean 192.0 S.D. -	n 1 Mean 415.0 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 200 < 500	無	n - Mean - S.D. -	n - Mean - S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n 5 Mean 322.1 S.D. 52.2	n 2 Mean 356.5 S.D. 3.5	n 1 Mean 426.0 S.D. -	n 2 Mean 292.0 S.D. 59.4	n 3 Mean 385.0 S.D. 156.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 500	無	n 3 Mean 763.7 S.D. 411.7	n 3 Mean 695.3 S.D. 265.6	n 3 Mean 646.0 S.D. 274.7	n 2 Mean 570.5 S.D. 195.9	n 2 Mean 486.3 S.D. 233.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	n 3 Mean 763.7 S.D. 411.7	n 3 Mean 695.3 S.D. 265.6	n 3 Mean 646.0 S.D. 274.7	n 2 Mean 570.5 S.D. 195.9	n 2 Mean 486.3 S.D. 233.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
血 漿 中 H I V R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n 4 Mean 5.3 S.D. 0.2	n 3 Mean 2.1 S.D. 0.4	n 2 Mean 2.4 S.D. 0.3	n 3 Mean 2.4 S.D. 0.4	n 2 Mean 2.5 S.D. 0.1	n 1 Mean 2.6 S.D. -	n 1 Mean 2.6 S.D. -	n 1 Mean 2.6 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		有	n 4 Mean 4.3 S.D. 0.3	n 3 Mean 2.0 S.D. 0.7	n 1 Mean 3.8 S.D. -	n 2 Mean 4.2 S.D. 1.0	n 2 Mean 4.8 S.D. 0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		計	n 8 Mean 4.8 S.D. 0.6	n 6 Mean 2.1 S.D. 0.5	n 3 Mean 2.9 S.D. 0.9	n 5 Mean 3.1 S.D. 1.2	n 4 Mean 3.7 S.D. 1.3	n 1 Mean 2.6 S.D. -	n 1 Mean 2.6 S.D. -	n 1 Mean 2.6 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		0ヶ月時 400 < 5000	n 2 Mean 3.2 S.D. 0.2	n 2 Mean 2.3 S.D. 0.4	n 1 Mean 2.6 S.D. -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	検査有(n)		12	8	4	5	5	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	検出限界以下(n)		2	8	3	3	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(<400)		17%	100%	75%	60%	60%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

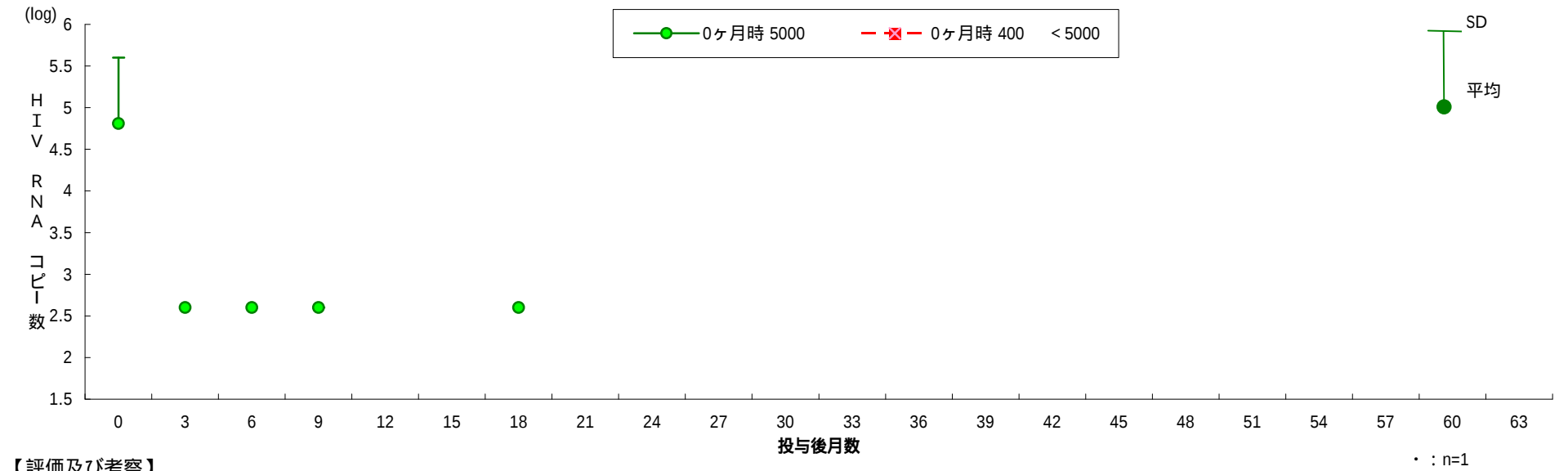


【評価及び考察】
2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤 1 剤と2種類のプロテアーゼ阻害剤の配合剤 1 剤の併用療法である。
CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図15

レトロビル+エビビル+クリキシバン+ノーピア

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽 性 リ ン パ 球 数	0ヶ月時 ＜200	無	n Mean S.D.	1 10.0 -	1 77.0 -	1 213.0 -	1 185.0 -	- - -	1 234.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
		有	n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
		0ヶ月時 200 ＜500	無	n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	有	n Mean S.D.	13 374.3 76.6	10 408.4 102.6	8 439.8 127.6	5 466.0 207.5	5 509.8 181.1	4 446.8 189.4	3 444.0 183.0	4 446.0 66.3	3 429.3 92.1	2 481.5 3.5	1 449.0 -	1 339.0 -	- -	1 469.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	11 730.1 133.0	6 668.2 123.4	4 744.0 99.6	7 695.3 221.9	5 598.4 163.3	6 685.7 192.2	4 588.5 104.9	2 760.0 154.2	4 637.0 87.8	- -	1 644.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
		有	n Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	血 漿 中 H I V - R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	1 5.4 -	1 2.6 -	1 2.6 -	1 2.6 -	- -	1 2.6 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
			有	n Mean S.D.	1 4.3 -	- -	- -	1 2.6 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
			計	n Mean S.D.	2 4.8 0.8	1 2.6 -	1 2.6 -	2 2.6 0.0	- -	- -	1 2.6 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
0ヶ月時 400 ＜5000			n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
検査有(n) 検出限界以下(n) [＜400]		5 3 60%	4 3 75%	3 2 67%	2 2 100%	1 1 100%	1 1 100%	2 2 100%	1 1 100%	2 2 100%	1 1 100%	1 1 100%	1 1 100%	-	1 1 100%	-	-	-	-	-	-	-		

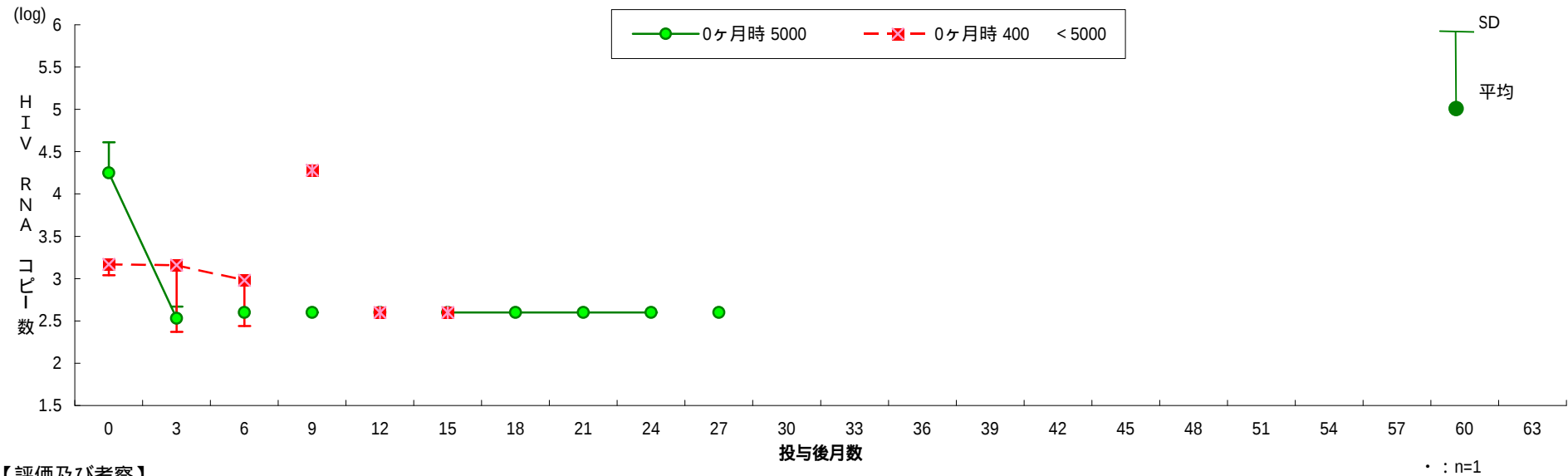


【評価及び考察】
核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤 2 剤の併用療法である。
CD4数、 HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図16

レトロビル+エピビル+ピラミューン

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月			
C D 4 陽性リンパ球数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	1 150.0 -	1 234.0 -	- - -	1 272.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -			
		< 200	n Mean S.D.	2 125.8 78.1	- - -	1 250.0 -	1 163.0 -	2 220.0 76.4	1 176.0 -	1 199.0 -	2 237.0 58.0	1 176.0 -	1 169.0 -	- - -	- - -	- - -	1 237.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -		
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	3 344.8 122.7	3 414.0 69.6	1 275.0 -	1 524.0 -	1 677.0 -	2 562.5 156.3	3 672.7 106.4	2 551.5 89.8	2 656.5 198.7	1 728.0 -	1 629.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -		
		有	n Mean S.D.	4 321.0 116.4	4 434.5 129.0	1 455.0 -	2 462.5 115.3	2 417.5 82.7	- - -	1 577.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	0ヶ月時 500	無	n Mean S.D.	2 1019.5 433.5	2 1017.5 211.4	1 1102.0 -	1 1064.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -		
		有	n Mean S.D.	4 321.0 116.4	4 434.5 129.0	1 455.0 -	2 462.5 115.3	2 417.5 82.7	- - -	1 577.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	血漿中HIV RNA コピー数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	4 4.3 0.4	4 2.5 0.1	1 2.6 -	2 2.6 0.0	1 2.6 -	2 2.6 0.0	3 2.6 0.0	2 2.6 0.0	2 2.6 0.0	1 2.6 -	1 0.7 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
			有	n Mean S.D.	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
			計	n Mean S.D.	4 4.3 0.4	4 2.5 0.1	1 2.6 -	2 2.6 0.0	1 2.6 -	2 2.6 0.0	3 2.6 0.0	2 2.6 0.0	2 2.6 0.0	1 2.6 -	1 0.7 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
			0ヶ月時 400 < 5000	n Mean S.D.	2 3.2 0.1	2 3.2 0.8	2 3.0 0.5	1 4.3 -	1 2.6 -	1 2.6 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]			7 4 57%	6 5 83%	3 2 67%	4 3 75%	3 3 100%	4 4 100%	4 4 100%	3 3 100%	3 3 100%	2 2 100%	1 1 100%	- - -	- - -	1 1 100%	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -			



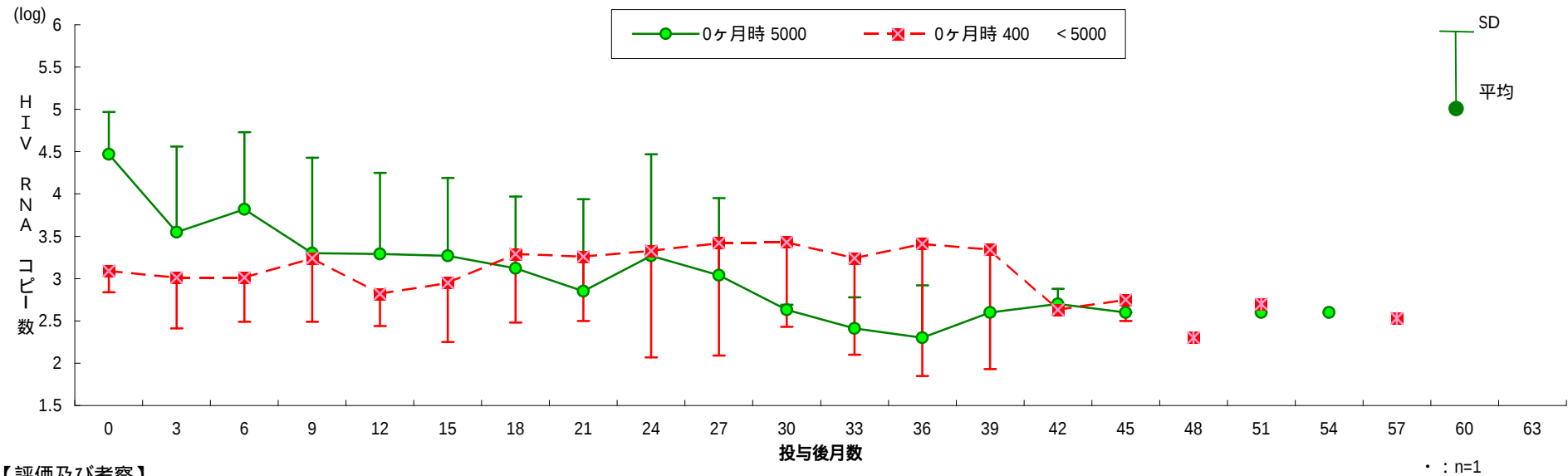
【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤 1 剤の併用療法である。
CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図17

ヴァイデックス+ゼリット+ピラセプト

治療経験			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽性 リン パ 球 数	0ヶ月時	無	n 4 Mean 119.9 S.D. 79.4	3 188.7 -	- -	- -	- -	2 231.0 207.9	1 274.0 -	1 302.0 -	1 284.0 -	- -	1 285.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		< 200	n 20 Mean 116.7 S.D. 65.8	12 140.7 77.8	9 118.4 100.6	10 222.4 116.1	9 236.0 77.3	6 295.8 114.8	6 263.2 83.3	6 282.9 98.9	5 248.2 86.9	2 237.5 3.5	1 174.0 -	3 300.3 120.2	3 196.7 49.0	3 267.7 153.8	3 346.7 199.3	3 289.0 37.4	- -	1 388.0 -	1 350.0 -	1 479.0 -	- -	- -
	0ヶ月時 200 < 500	無	n 6 Mean 297.5 S.D. 48.0	5 364.9 82.8	4 389.9 134.0	3 518.3 310.3	2 570.0 496.4	2 336.5 297.7	1 178.0 -	2 517.5 412.2	1 831.0 -	- -	- -	1 852.0 -	1 878.0 -	- -	- -	1 775.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		有	n 23 Mean 312.1 S.D. 101.3	19 332.5 126.2	18 398.3 181.7	8 494.9 214.5	9 470.6 163.3	8 454.3 270.8	8 507.5 265.7	7 422.7 222.6	7 422.7 264.2	4 522.8 155.1	4 468.3 109.9	4 648.5 234.4	2 596.5 181.7	3 708.7 236.9	3 531.0 197.1	1 526.0 -	1 505.0 -	1 432.0 -	- -	- -	- -	- -
	0ヶ月時 500	無	n 9 Mean 650.6 S.D. 136.3	4 584.0 -	7 686.8 -	4 709.5 -	5 793.0 -	4 829.8 -	3 573.0 -	2 521.5 -	5 471.9 -	3 499.0 105.1	1 369.0 -	- -	1 361.5 -	1 346.0 -	1 410.0 -	1 274.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		有	n 26 Mean 4.4 S.D. 0.4	18 3.6 1.0	16 3.8 0.8	9 3.2 1.1	13 3.4 1.0	8 3.3 0.9	7 3.2 0.9	5 3.2 1.3	9 3.5 1.3	4 3.2 1.0	2 2.6 0.0	4 2.3 0.3	1 1.9 -	2 2.6 0.0	3 2.7 0.2	1 2.6 -	- -	1 2.6 -	1 2.6 -	- -	- -	- -
	0ヶ月時 400 < 5000	無	n 16 Mean 3.1 S.D. 0.3	11 3.0 0.6	9 3.0 0.5	6 3.2 0.8	5 2.8 0.4	3 3.0 0.7	6 3.3 0.8	7 3.3 0.8	5 3.3 1.3	4 3.4 1.3	4 3.4 1.0	3 3.2 1.1	4 3.4 1.6	4 3.3 1.4	3 2.6 0.1	3 2.8 0.3	1 2.3 -	1 2.7 -	- -	1 2.5 -	- -	- -
		有	n 26 Mean 4.4 S.D. 0.4	18 3.6 1.0	16 3.8 0.8	9 3.2 1.1	13 3.4 1.0	8 3.3 0.9	7 3.2 0.9	5 3.2 1.3	9 3.5 1.3	4 3.2 1.0	2 2.6 0.0	4 2.3 0.3	1 1.9 -	2 2.6 0.0	3 2.7 0.2	1 2.6 -	- -	1 2.6 -	1 2.6 -	- -	- -	- -
	血漿中 H I V I R N A コ ピ ー 数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n 7 Mean 4.9 S.D. 0.7	5 3.5 1.2	3 4.1 1.4	2 3.8 1.8	2 2.8 0.2	4 3.2 1.1	1 2.6 -	3 2.3 0.5	3 2.6 0.0	1 2.6 -	1 2.7 -	1 2.8 -	1 2.7 -	- -	- -	1 2.6 -	- -	- -	- -	- -	- -
			有	n 26 Mean 4.4 S.D. 0.4	18 3.6 1.0	16 3.8 0.8	9 3.2 1.1	13 3.4 1.0	8 3.3 0.9	7 3.2 0.9	5 3.2 1.3	9 3.5 1.3	4 3.2 1.0	2 2.6 0.0	4 2.3 0.3	1 1.9 -	2 2.6 0.0	3 2.7 0.2	1 2.6 -	- -	1 2.6 -	1 2.6 -	- -	- -
0ヶ月時 400 < 5000	無	n 16 Mean 3.1 S.D. 0.3	11 3.0 0.6	9 3.0 0.5	6 3.2 0.8	5 2.8 0.4	3 3.0 0.7	6 3.3 0.8	7 3.3 0.8	5 3.3 1.3	4 3.4 1.3	4 3.4 1.0	3 3.2 1.1	4 3.4 1.6	4 3.3 1.4	3 2.6 0.1	3 2.8 0.3	1 2.3 -	1 2.7 -	- -	1 2.5 -	- -	- -	
	有	n 26 Mean 4.4 S.D. 0.4	18 3.6 1.0	16 3.8 0.8	9 3.2 1.1	13 3.4 1.0	8 3.3 0.9	7 3.2 0.9	5 3.2 1.3	9 3.5 1.3	4 3.2 1.0	2 2.6 0.0	4 2.3 0.3	1 1.9 -	2 2.6 0.0	3 2.7 0.2	1 2.6 -	- -	1 2.6 -	1 2.6 -	- -	- -	- -	
検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	0ヶ月時	無	n 60 Mean 3.1 S.D. 0.3	39 3.0 0.6	32 3.0 0.5	20 3.2 0.8	21 2.8 0.4	19 3.0 0.7	17 3.3 0.8	18 3.3 0.8	19 3.3 1.3	9 3.4 1.3	7 3.4 1.0	8 3.2 1.1	7 3.4 1.6	7 3.3 1.4	7 2.6 0.1	6 2.8 0.3	1 2.3 -	2 2.7 -	1 -	1 -	1 -	- -
		有	n 9 Mean 3.1 S.D. 0.3	18 3.0 0.6	11 3.0 0.5	14 3.2 0.8	12 2.8 0.4	12 3.0 0.7	9 3.3 0.8	11 3.3 0.8	10 3.3 1.3	5 3.4 1.3	3 3.4 1.0	5 3.2 1.1	3 3.4 1.6	4 3.3 1.4	4 2.6 0.1	4 2.8 0.3	1 2.3 -	1 -	1 -	1 -	- -	- -



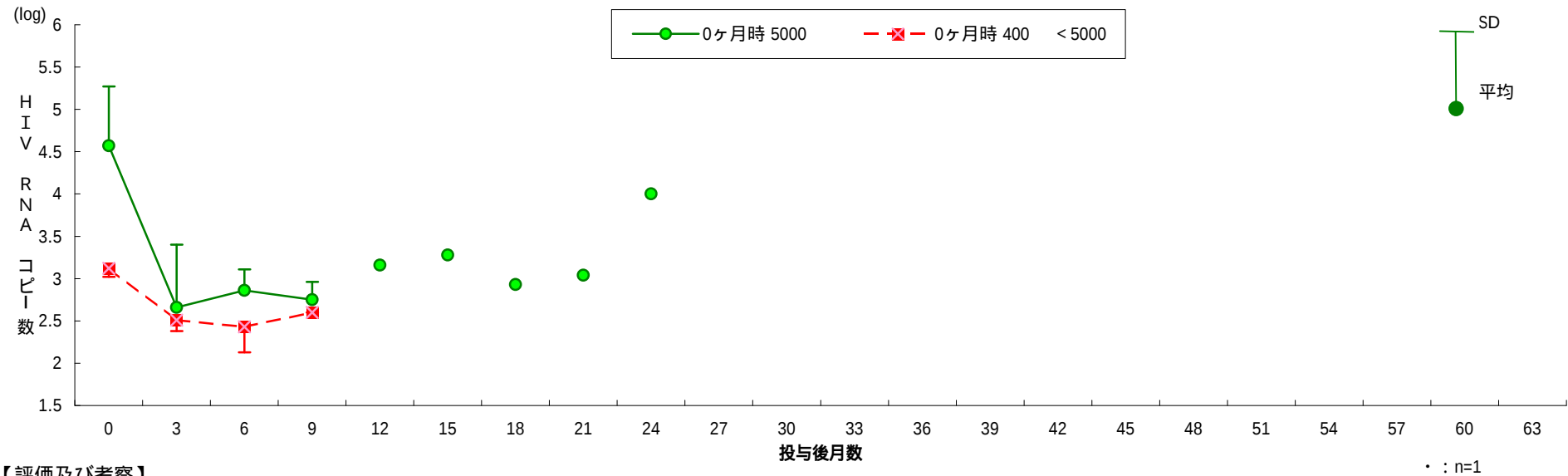
【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤とプロテアーゼ阻害剤 1 剤の併用療法である。
治療開始3ヶ月で、約4割以上の症例においてHIV-RNAコピー数が検出限界以下になり、治療効果が認められる。また、効果は約 2 年維持されている。
CD4: 投与前CD4数500未満の症例において、治療経験の有無に関わらず治療開始後CD4数は増加傾向を示し、その後も維持している。また、投与前CD4数500以上でも、減少傾向は認められていない。
RNA: 投与前HIV-RNAコピー数に関わらず、効果が認められる。特に、投与前HIV-RNAコピー数が5000以上で、投与初期に減少傾向が認められた。

表図18

レトロビル+ヴァイデックス+ストックリン

治療経緯				0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽性リンパ球数	0ヶ月時 ＜ 200	無	n Mean S.D.	2 91.5 91.2	1 220.0 -	- - -	1 221.0 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
		有	n Mean S.D.	2 185.5 3.5	1 241.0 -	- 159.0 -	1 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	0ヶ月時 200 ＜ 500	無	n Mean S.D.	8 331.5 94.6	8 390.2 64.6	3 342.3 86.3	2 284.5 105.4	1 247.5 -	1 244.0 -	1 172.0 -	1 473.0 -	1 300.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
		有	n Mean S.D.	5 335.0 94.5	2 325.0 24.0	3 382.3 135.7	2 326.0 65.1	1 243.0 -	1 295.0 -	1 473.0 -	- -	- -	1 482.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	0ヶ月時 500		n Mean S.D.	3 707.7 70.1	- -	2 688.0 87.7	2 649.0 215.0	1 617.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	血漿中H E I V I R N A コピー数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	9 4.6 0.7	8 2.7 0.7	2 2.9 0.3	2 2.8 0.2	1 3.2 -	1 3.3 -	1 2.9 -	1 3.0 -	1 4.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
有			n Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
計			n Mean S.D.	9 4.6 0.7	8 2.7 0.7	2 2.9 0.3	2 2.8 0.2	1 3.2 -	1 3.3 -	1 2.9 -	1 3.0 -	1 4.0 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -			
0ヶ月時 400 ＜ 5000		n Mean S.D.	4 3.1 0.1	2 2.5 0.1	3 2.4 0.3	2 2.6 0.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -				
検査有(n) 検出限界以下(n) [＜400]			13 1 8%	10 6 60%	5 3 60%	4 3 75%	1 0 0%	1 0 0%	1 0 0%	1 0 0%	1 0 0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -				

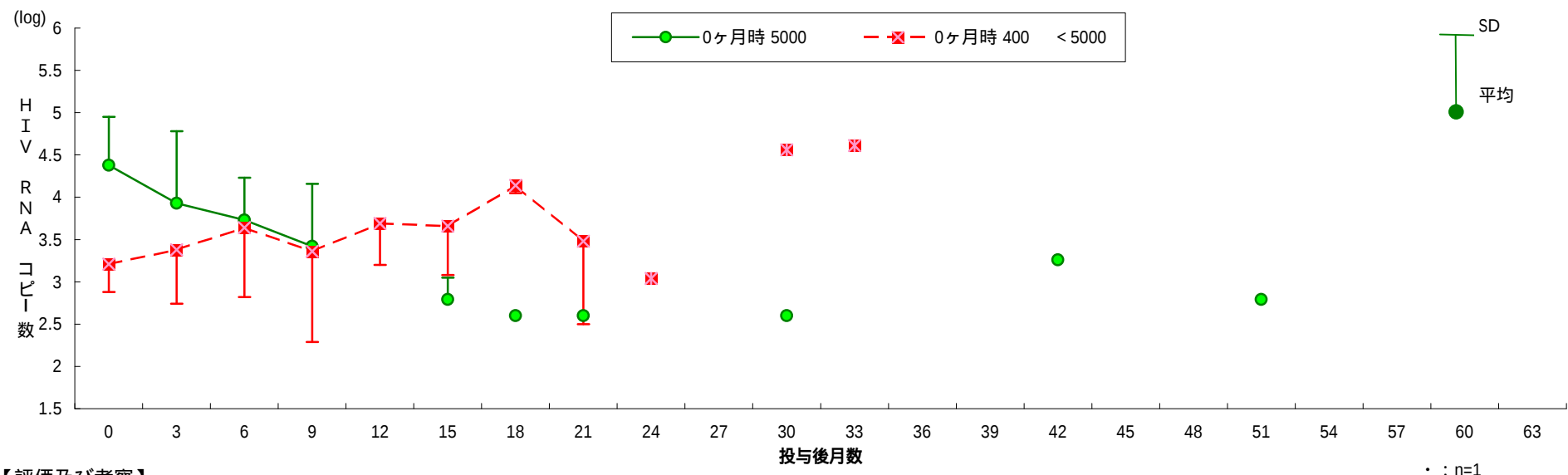


【評価及び考察】
核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤 1 剤の併用療法である。
CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

表図19

エビビル+ゼリット

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽性リンパ球数	0ヶ月時	無	n 2	2	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	Mean S.D.	74.5 30.4	90.5 92.6	113.5 126.6	238.0 -	293.0 -	355.5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	<200	無	n 18	15	7	5	2	2	-	2	1	-	1	-	1	1	1	1	-	1	-	-	-	-
		有	Mean S.D.	80.2 59.1	99.7 81.0	133.7 106.5	178.8 150.7	153.0 103.2	241.8 169.5	-	227.5 96.9	173.0 -	-	273.0 -	176.0 -	210.0 -	317.0 -	196.0 -	-	401.0 -	-	-	-	-
	0ヶ月時 200 <500	無	n 3	2	2	2	1	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		有	Mean S.D.	353.8 80.0	290.5 133.6	416.5 108.2	338.0 77.8	375.0 -	-	-	478.0 -	420.0 -	521.0 -	457.0 -	519.0 -	528.0 -	538.0 -	-	-	-	-	-	-	-
	0ヶ月時 500	無	n 23	16	13	10	6	7	3	3	3	2	3	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-
		有	Mean S.D.	316.2 77.7	369.4 154.6	359.8 113.9	361.8 119.5	303.3 27.1	341.1 72.6	306.7 91.2	392.3 158.3	340.0 74.9	339.0 29.7	317.2 136.5	189.3 4.6	312.0 -	229.0 -	-	345.0 -	329.0 -	-	-	-	-
	0ヶ月時 500	無	n 5	3	2	1	4	2	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	Mean S.D.	845.5 584.4	1057.3 973.5	550.5 23.3	571.0 -	962.3 597.5	408.0 158.4	606.5 38.9	509.5 188.8	375.0 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
血漿中HIV-RNAコピー数 (log)	0ヶ月時 5000	無	n 2	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	Mean S.D.	4.6 0.2	3.8 1.6	2.6 -	2.6 -	2.6 -	2.6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		計	n 22	20	11	6	-	2	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
		Mean S.D.	4.4 0.6	3.9 0.9	3.7 0.5	3.4 0.7	-	2.8 0.3	2.6 -	2.6 -	-	-	2.6 -	-	-	-	3.3 -	-	-	2.8 -	-	-	-	-
	0ヶ月時 400 <5000	無	n 8	5	3	2	5	3	2	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有	Mean S.D.	3.2 0.3	3.4 0.6	3.6 0.8	3.4 1.1	3.7 0.5	3.7 0.6	4.1 0.1	3.5 1.0	3.0 -	4.6 -	4.6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	検査有(n)	43	31	19	14	9	8	4	5	4	2	4	3	2	3	2	1	-	1	-	-	-	-
		検出限界以下(n) [<400]	12 28%	4 13%	3 16%	3 43%	1 11%	3 38%	1 25%	2 40%	2 50%	2 100%	2 50%	0 0%	1 50%	1 33%	1 50%	0 0%	-	0 0%	-	-	-	-
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]	検査有(n)	43	31	19	14	9	8	4	5	4	2	4	3	2	3	2	1	-	1	-	-	-	-
		検出限界以下(n) [<400]	12 28%	4 13%	3 16%	3 43%	1 11%	3 38%	1 25%	2 40%	2 50%	2 100%	2 50%	0 0%	1 50%	1 33%	1 50%	0 0%	-	0 0%	-	-	-	-



【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤の併用療法である。

CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難であるが、他の併用療法に比しHIV-RNAコピー数が検出限界以下になった症例は少ない。

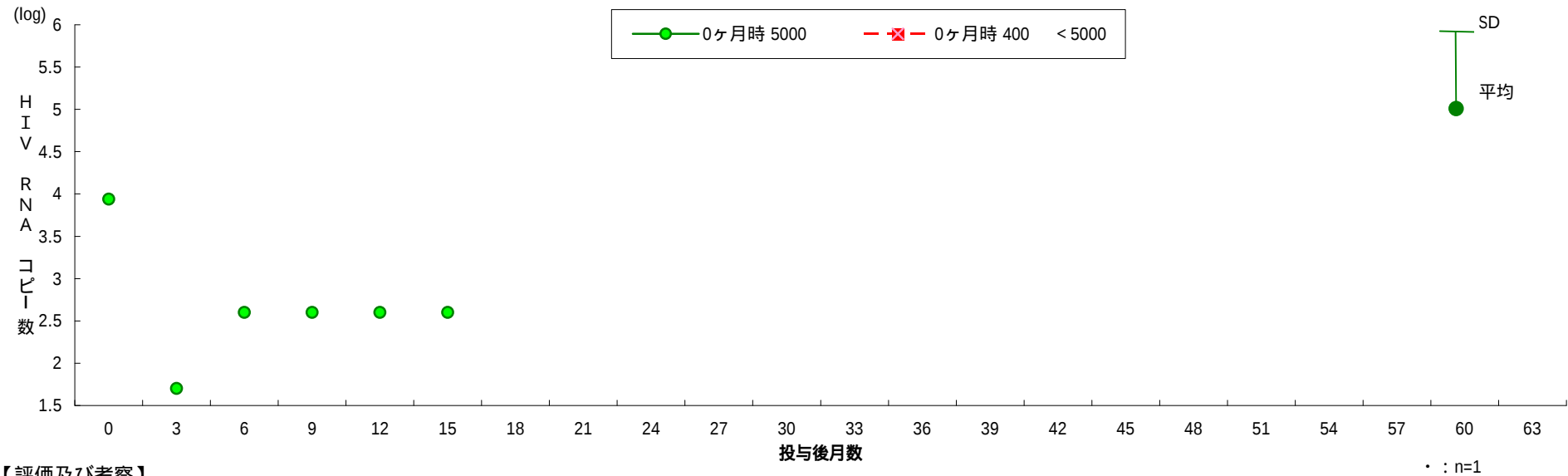
CD4: 本併用例において、症例が少なく評価は困難である。

RNA: 投与前HIV-RNAコピー数5000以上において、若干減少傾向が見られるが、症例が少なく評価は困難である。

表図20

コンピビル+ ピラミューン

治療経緯			0ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月	15ヶ月	18ヶ月	21ヶ月	24ヶ月	27ヶ月	30ヶ月	33ヶ月	36ヶ月	39ヶ月	42ヶ月	45ヶ月	48ヶ月	51ヶ月	54ヶ月	57ヶ月	60ヶ月	63ヶ月
C D 4 陽 性 リ ン パ 球 数	0ヶ月時	無	n Mean S.D.	1 153.5	1 183.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		< 200	有	n Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	0ヶ月時 200 < 500	無	n Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		有	n Mean S.D.	4 367.1 115.4	3 399.0 81.5	3 448.0 87.9	2 467.5 136.5	3 450.0 227.0	2 506.5 323.2	1 287.0	1 279.0	1 283.5	1 277.0	1 301.0	1 251.0	1 251.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	0ヶ月時 500		n Mean S.D.	1 750.0	1 745.5	- -	1 1026.0	1 993.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	0ヶ月時 5000	無	n Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		有	n Mean S.D.	1 3.9	1 1.7	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		計	n Mean S.D.	1 3.9	1 1.7	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	0ヶ月時 400 < 5000		n Mean S.D.	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	検査有(n) 検出限界以下(n) [<400]			2 2 100%	1 1 100%	2 1 50%	1 1 100%	1 1 100%	1 1 100%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -



【評価及び考察】
2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。
CD4数、HIV-RNAコピー数共に症例が少なく評価は困難である。

H R D 共同調査協議会

アストラゼネカ株式会社

アボットジャパン株式会社

キッセイ薬品工業株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

セローノ・ジャパン株式会社

大正製薬株式会社（大正富山医薬品株式会社）

田辺製薬株式会社

中外製薬株式会社

日本たばこ産業株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

萬有製薬株式会社

ファイザー株式会社

ブリistol製薬有限公司（ブリistol・マイヤーズ株式会社）